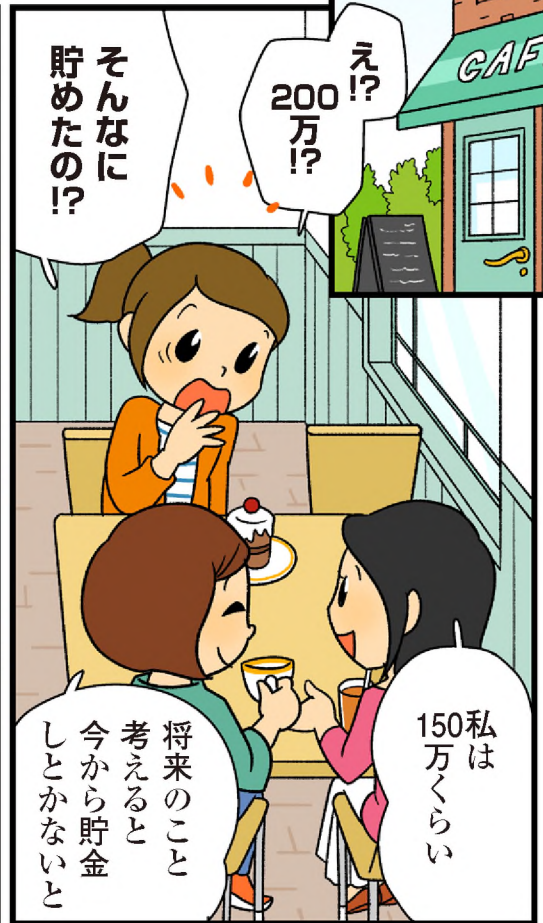


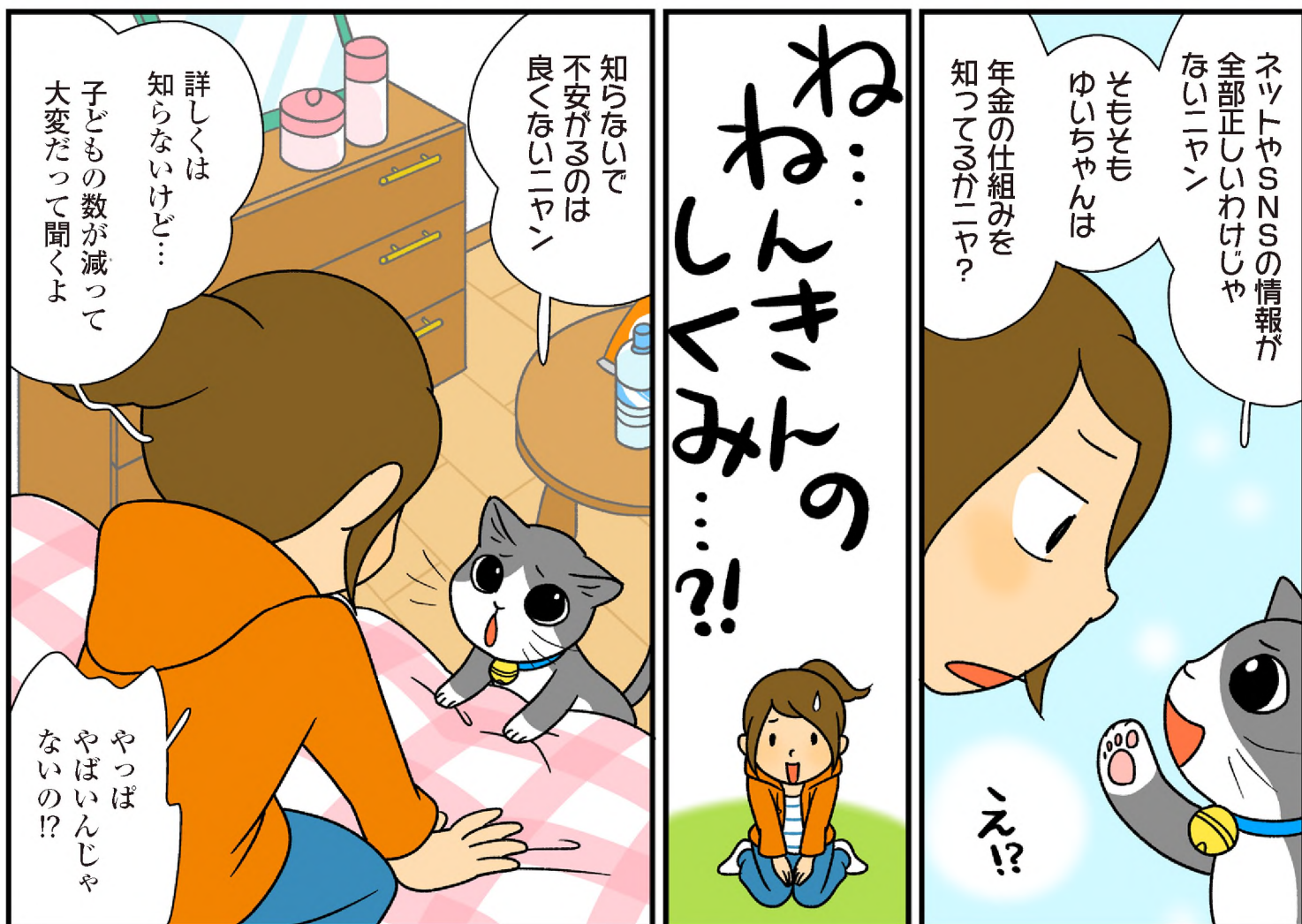
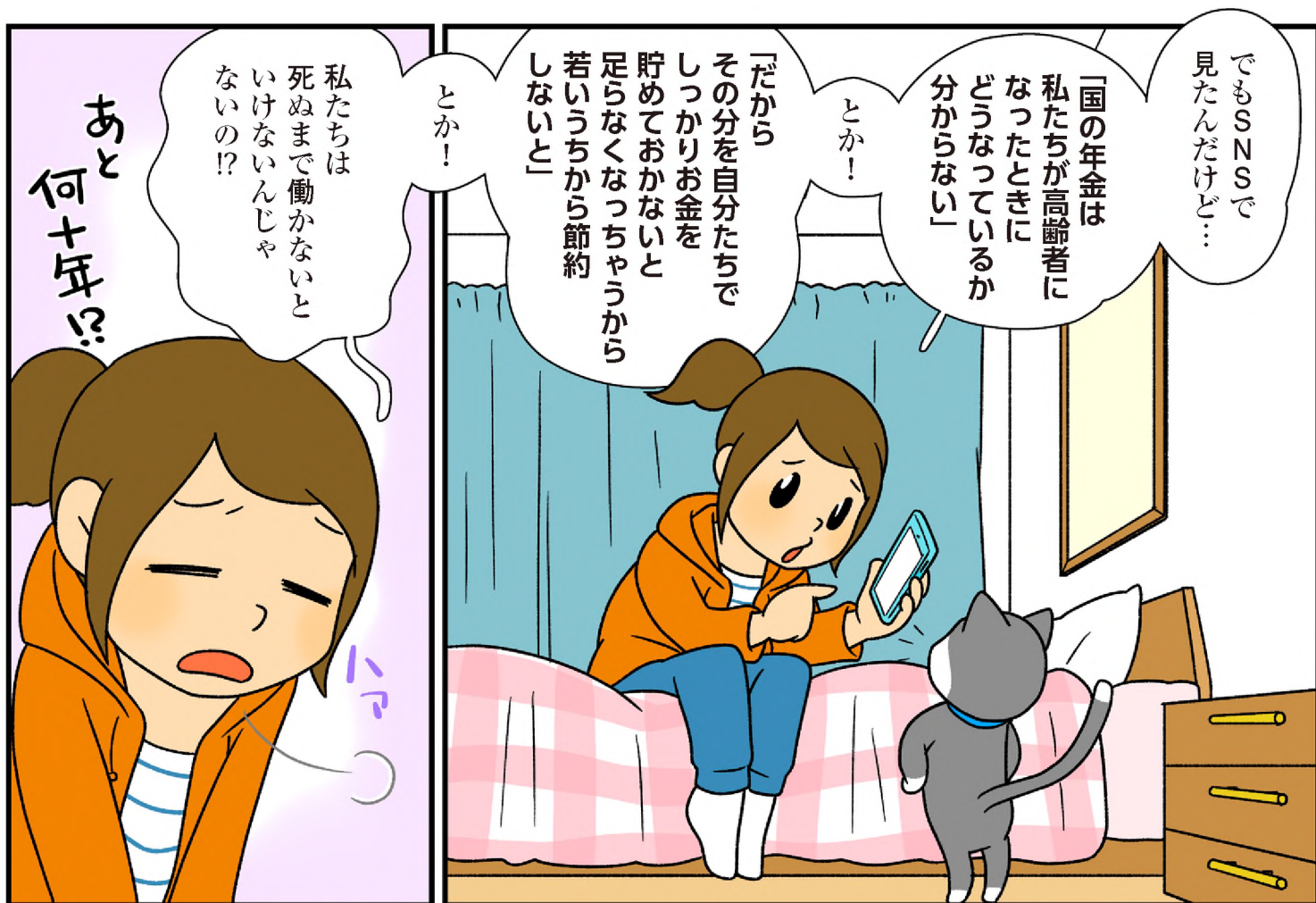


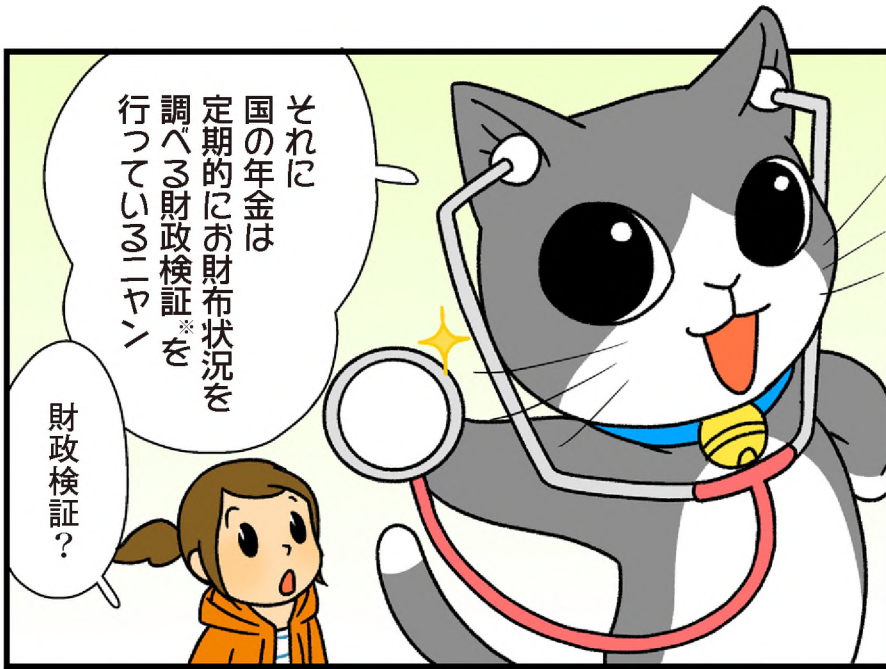
Q.01

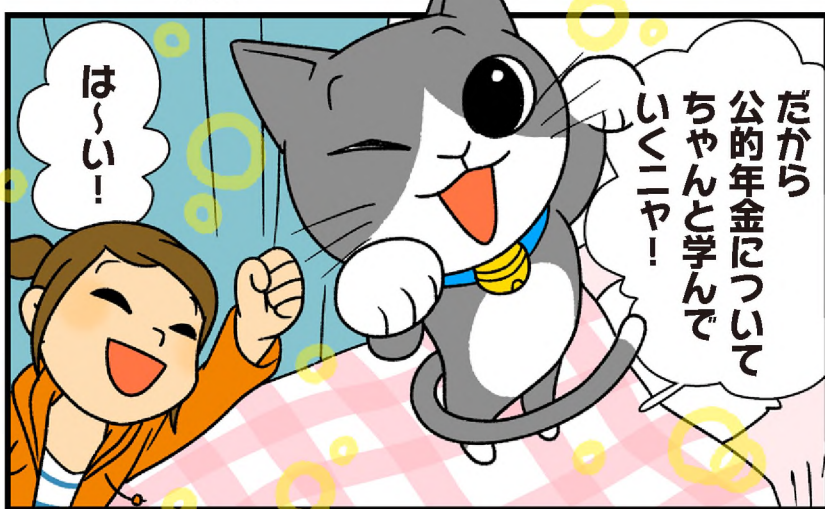
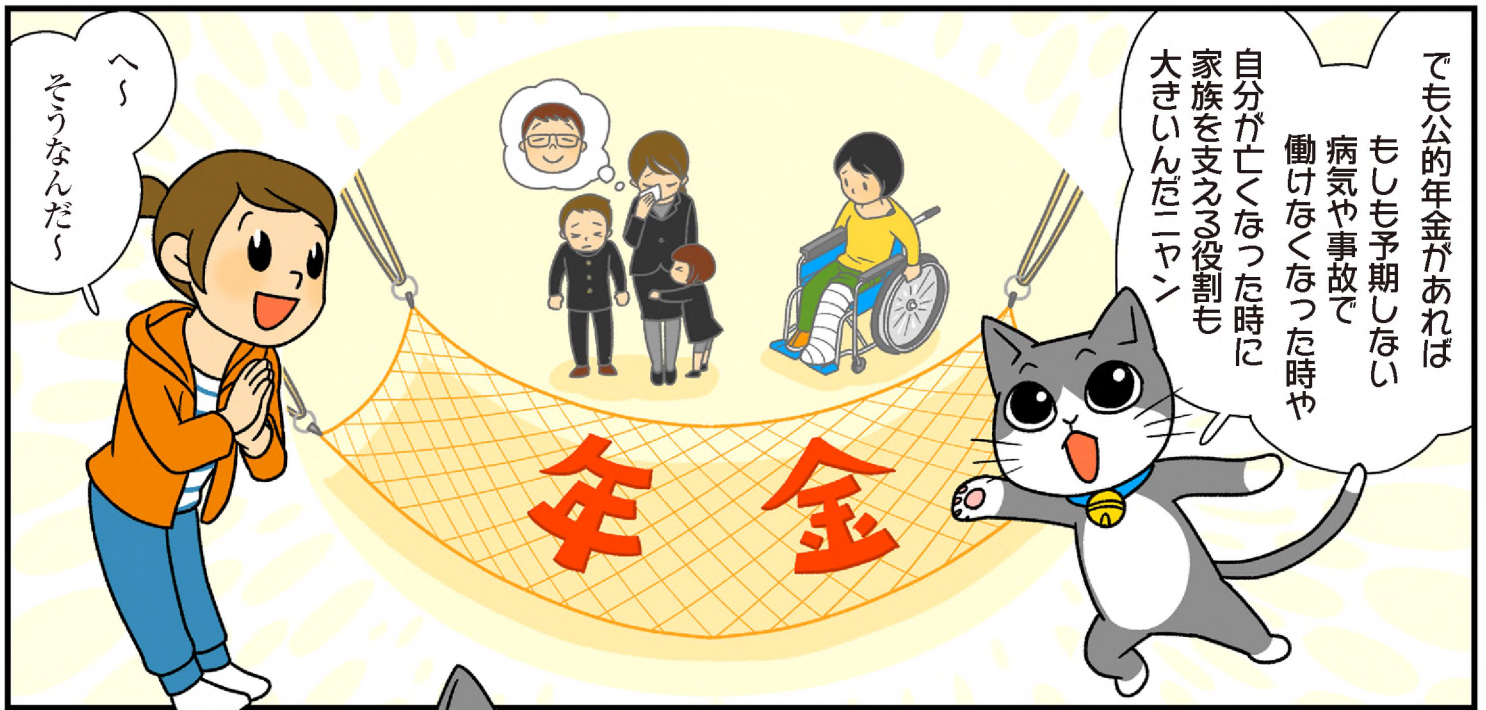
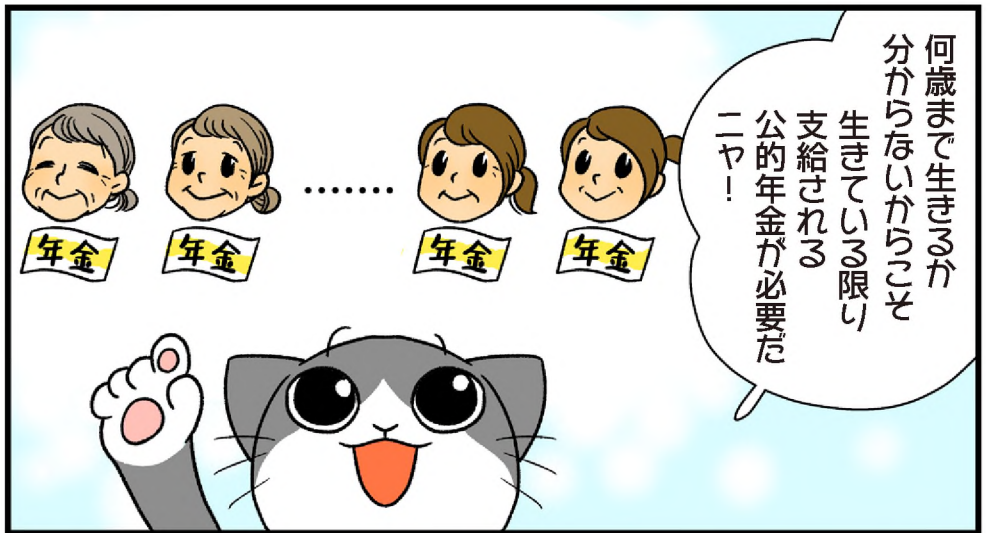
老後は、すべて自分で備えなければいけないの？











A.01

「公的年金」があることをまず意識しよう。「公的年金」なら予測できない将来のリスクに対して、社会全体であらかじめ備えて保障してくれる。

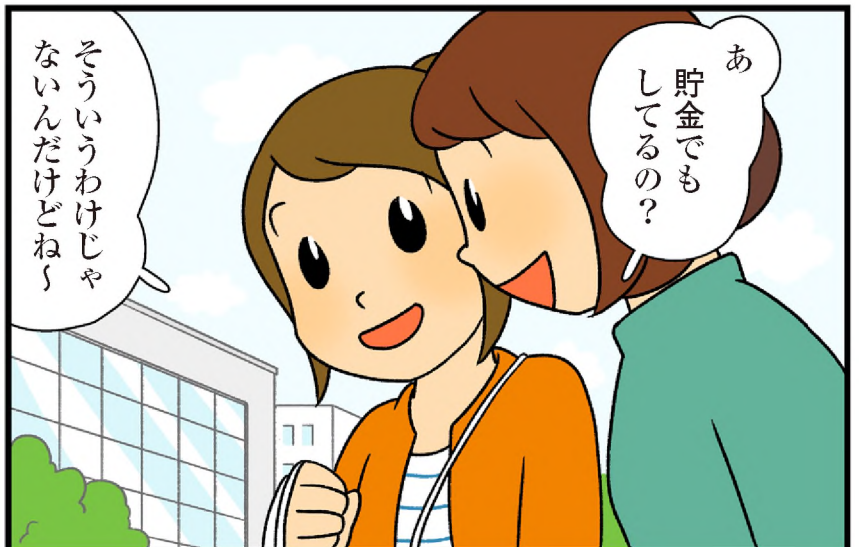


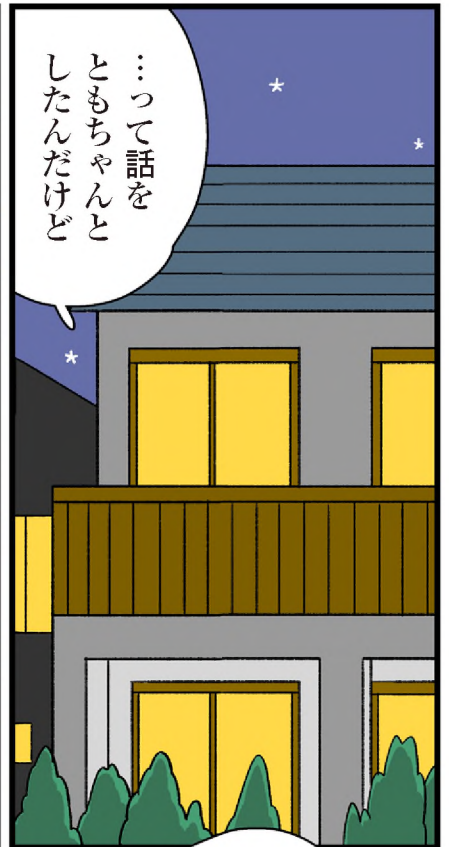
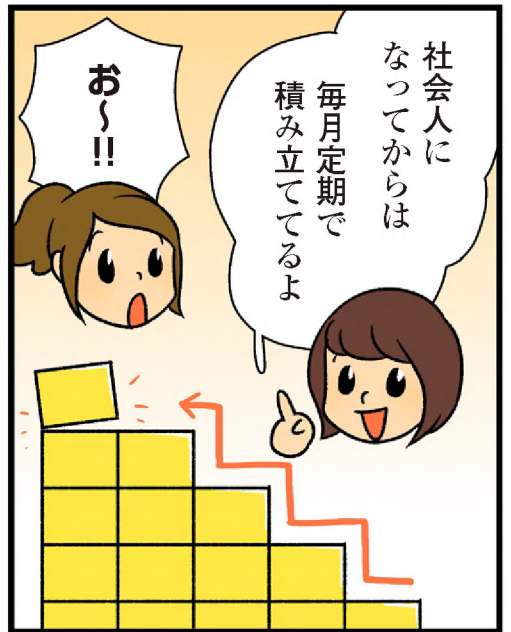
※詳しくはこの話を参照

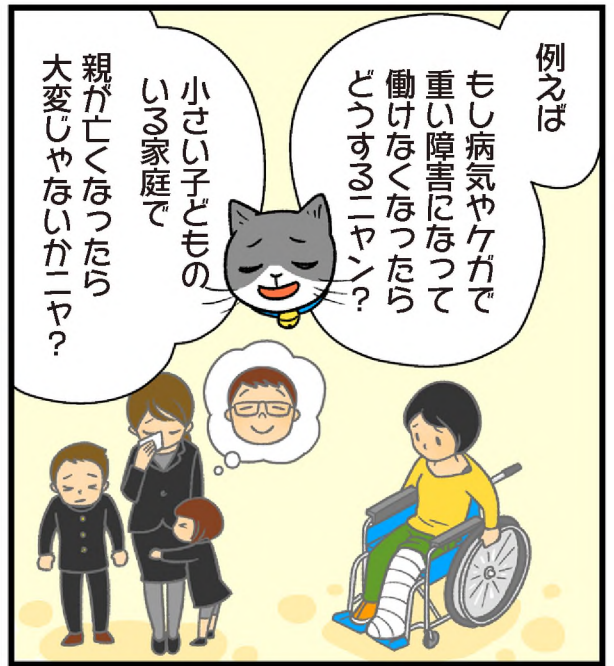


Q.02

年金は老後のためっていうけど、貯金しておけばいいよね？







へえー
年金って3種類
あるんだね!

公的年金には
大きく3つの
種類があるニヤン

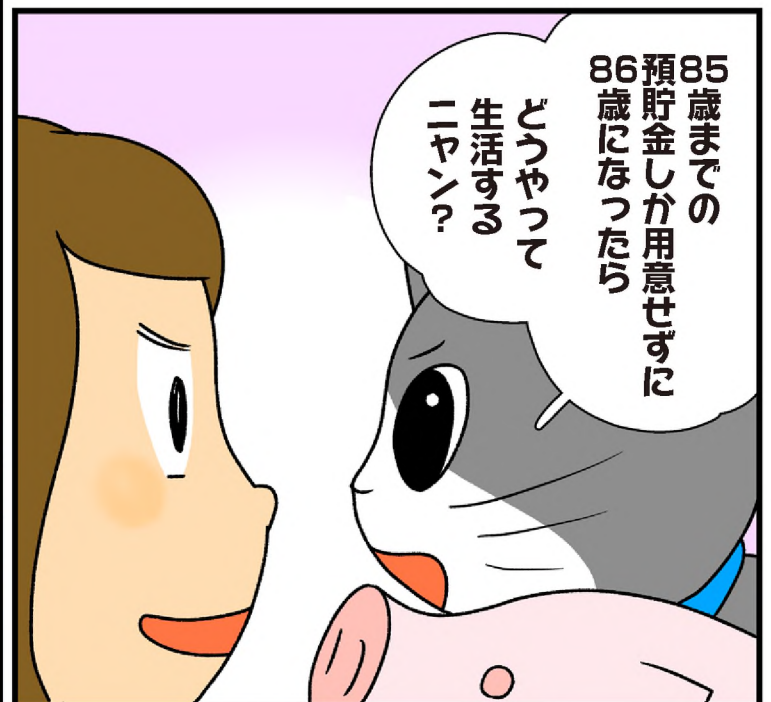
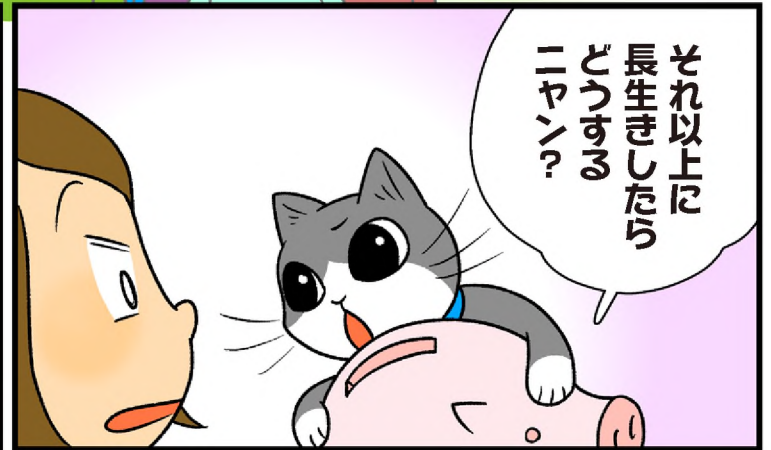
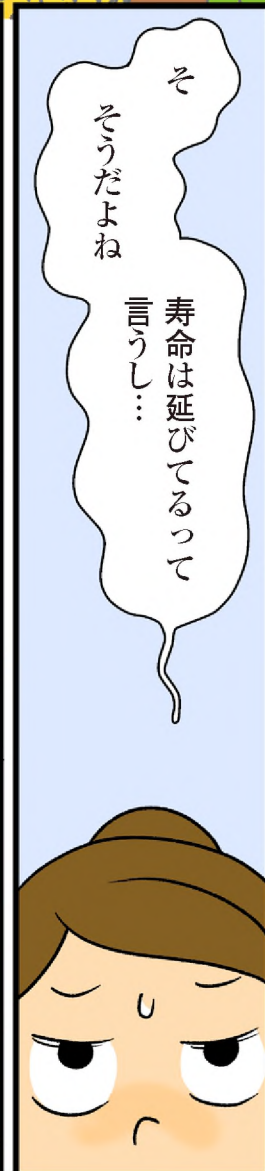
高齢者だけに
支払われるもの
じゃないニヤン

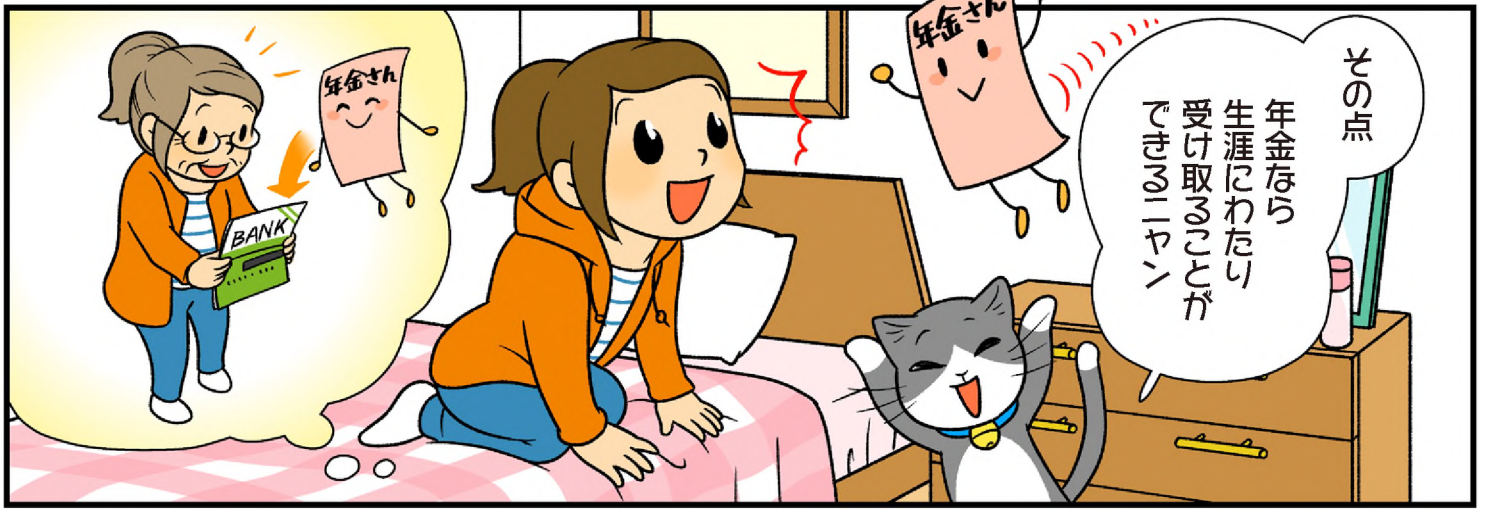
老齢年金
65歳から亡くなるまで受給できる
年金。「年金」というと、この老齢
年金のことを指す場合が多い。

障害年金
加入中に病気やケガなどで
一定の障害を負った場合に
受給できる年金。

遺族年金
年金受給者や被保険者が
亡くなった場合、その
遺族が受給できる年金。

※制度の詳細は日本年金機構のホームページを参照





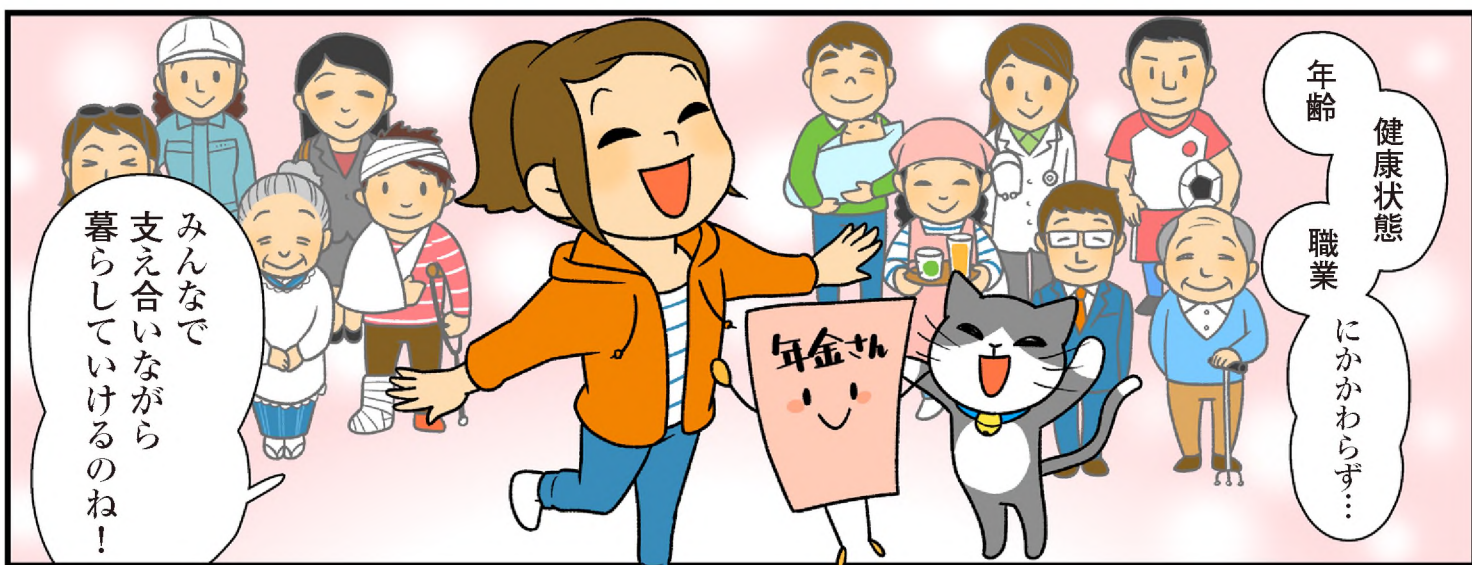
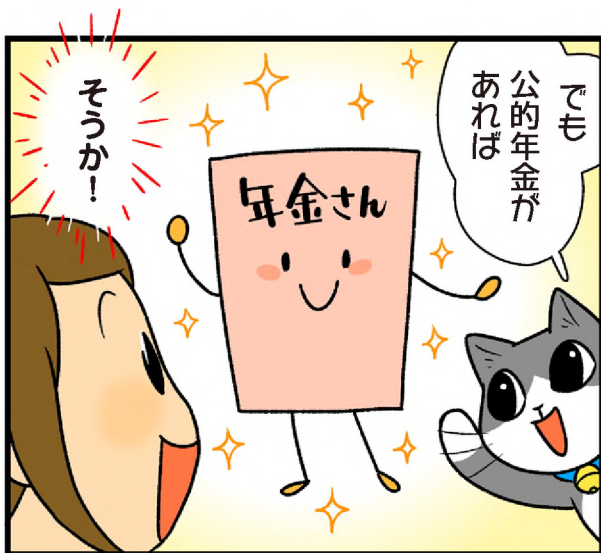
公的年金の主な特徴

- 年齢にかかわらず、生涯にわたって受け取ることができる。
- 賃金や物価の伸びに応じて年金額が改定されるため、経済変化に比較的強い仕組み。
- 重度の障害を負った時や家計の担い手が亡くなった遺族も受給できる。
※受給には一定の要件が必要

なるほど…！
公的年金
ならではの
大きな役割が
あるのね！

これが
公的年金の
特徴ニヤン！





A.02

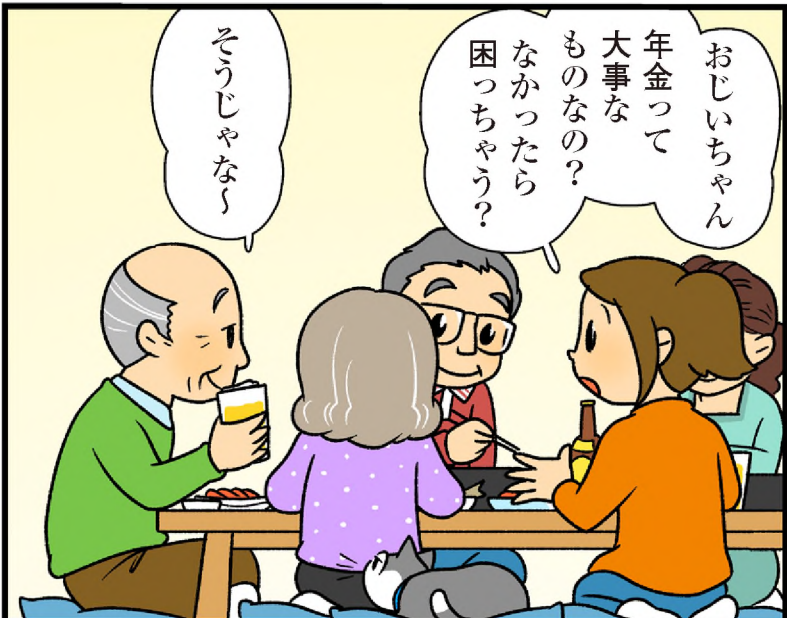
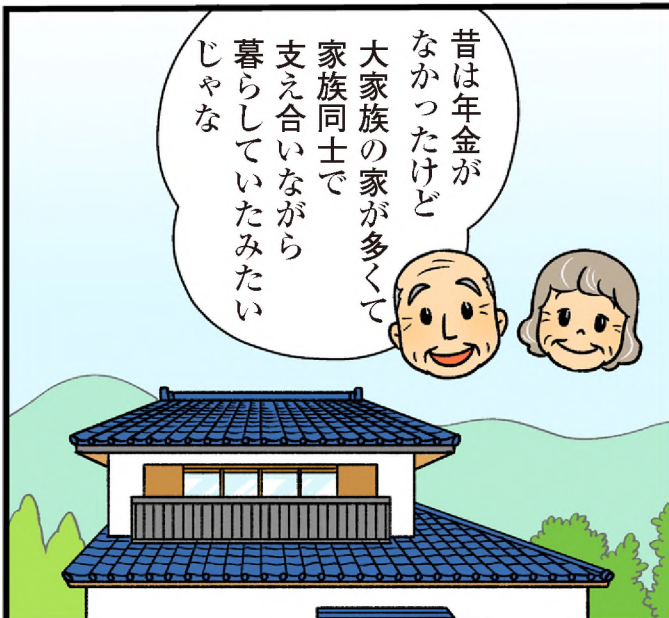
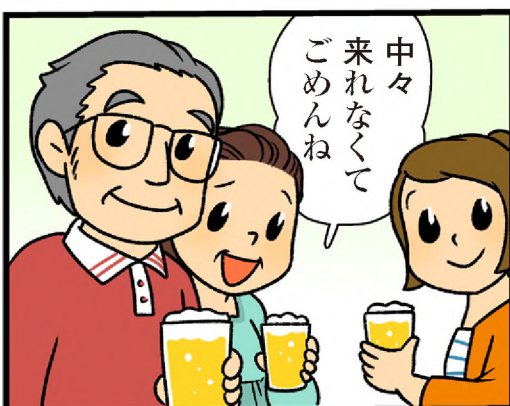
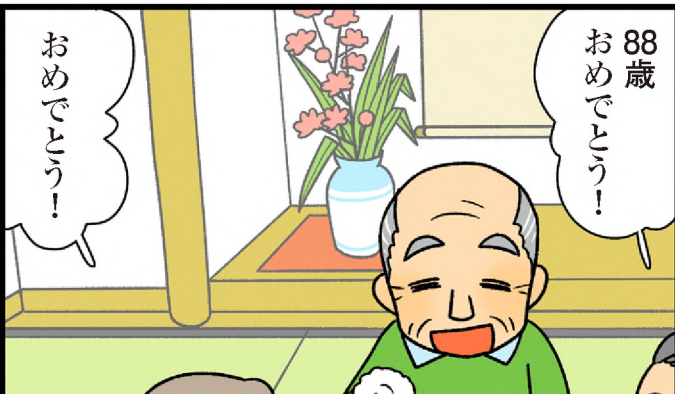
公的年金は預貯金ではなく、リスク（不確実性）に備えるための保険。預貯金だけでは想定外の出来事に対応するのは難しい。

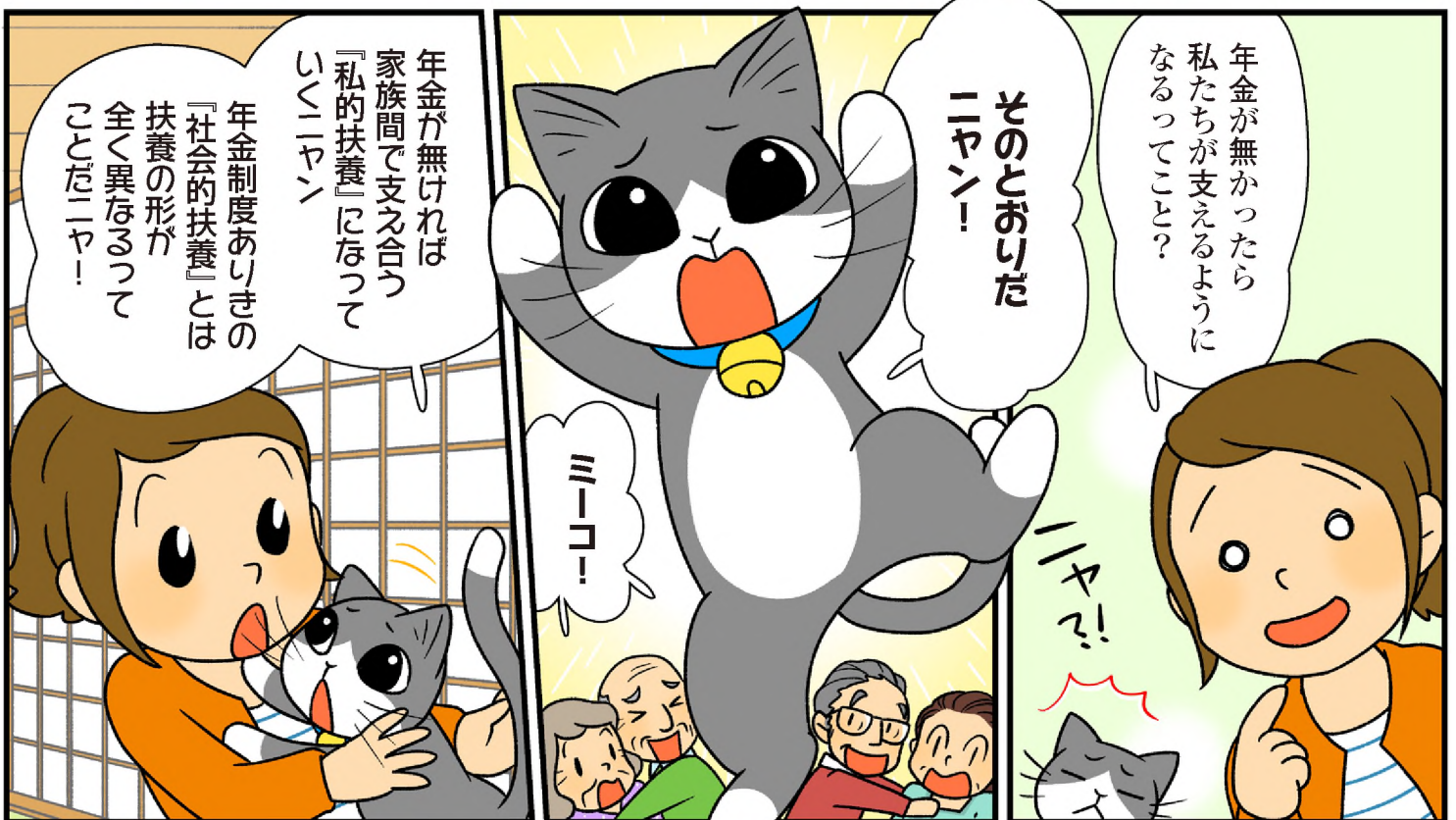
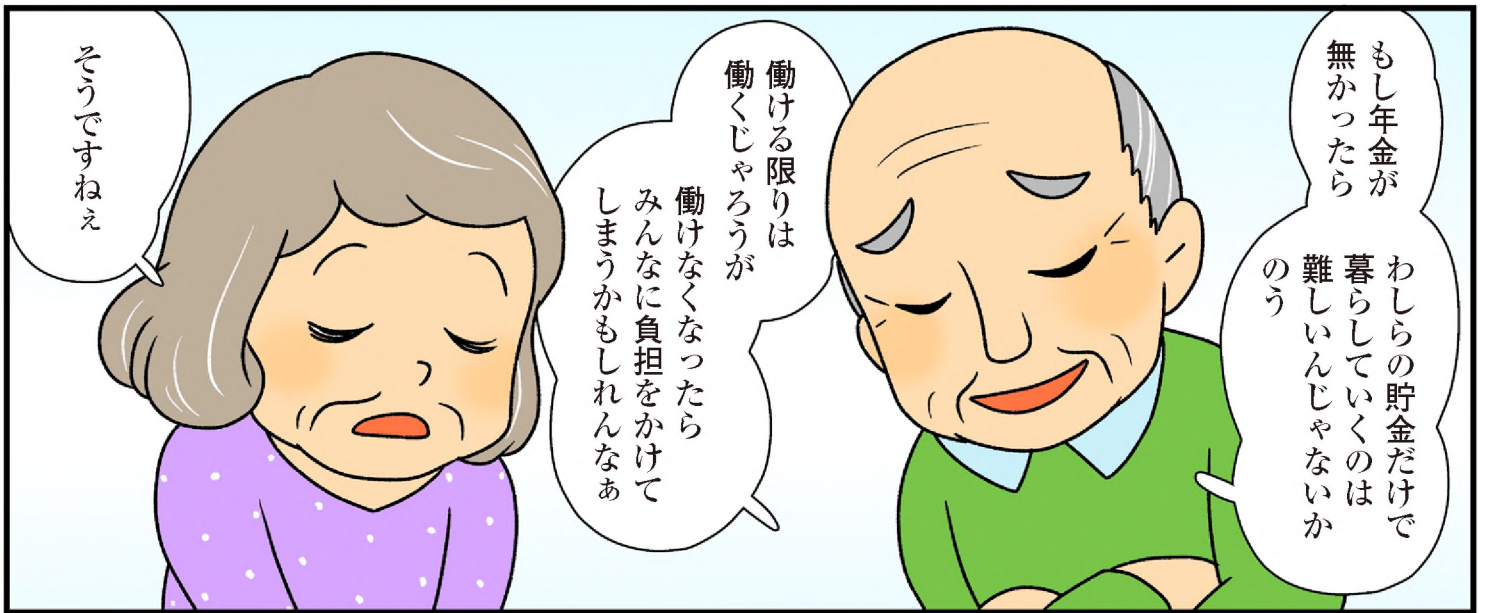


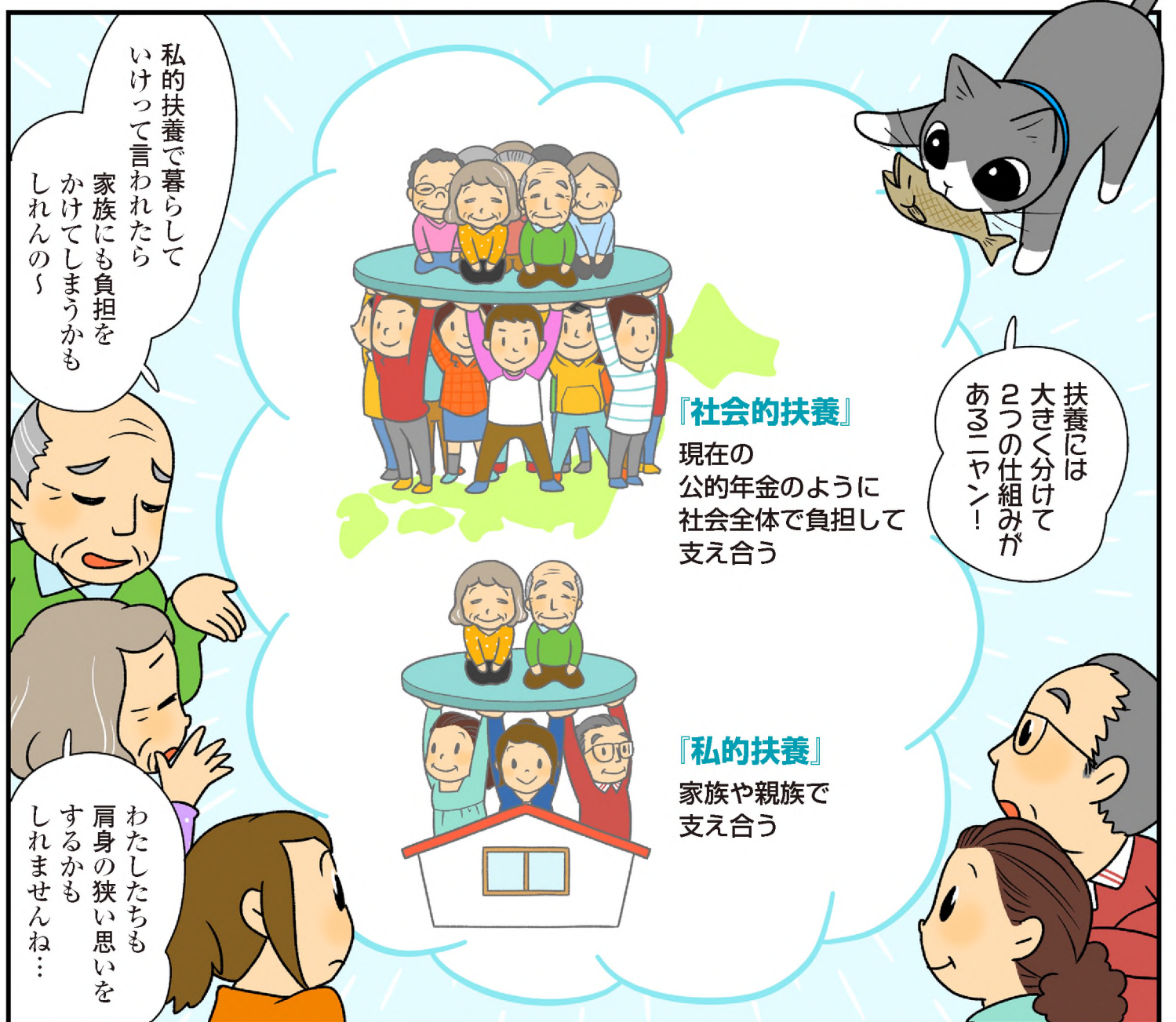
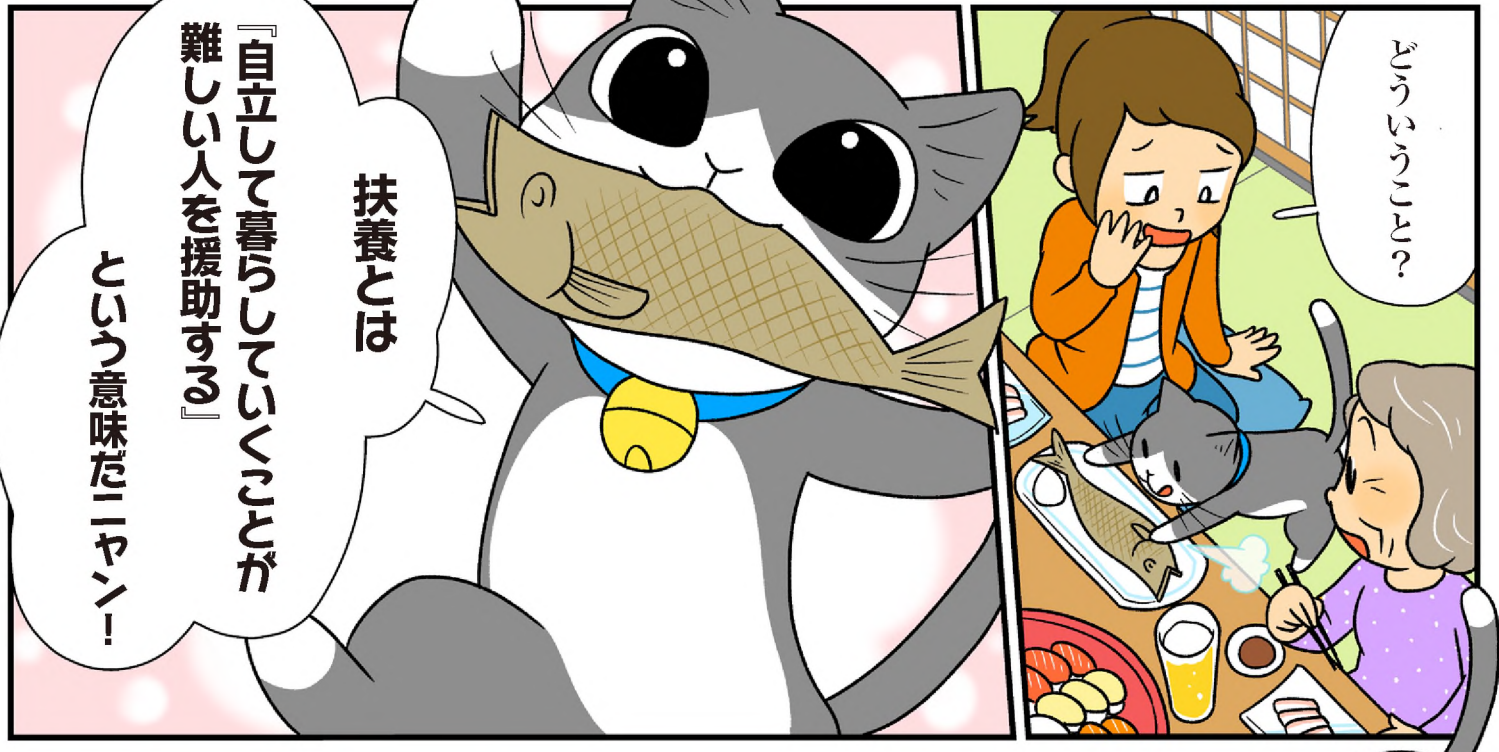


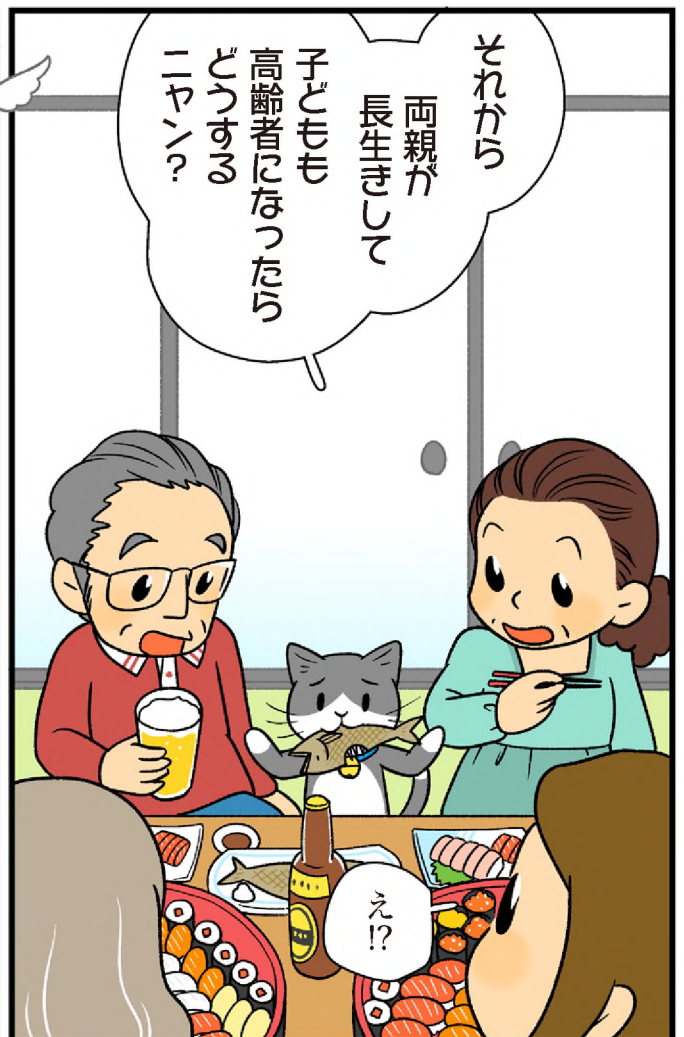
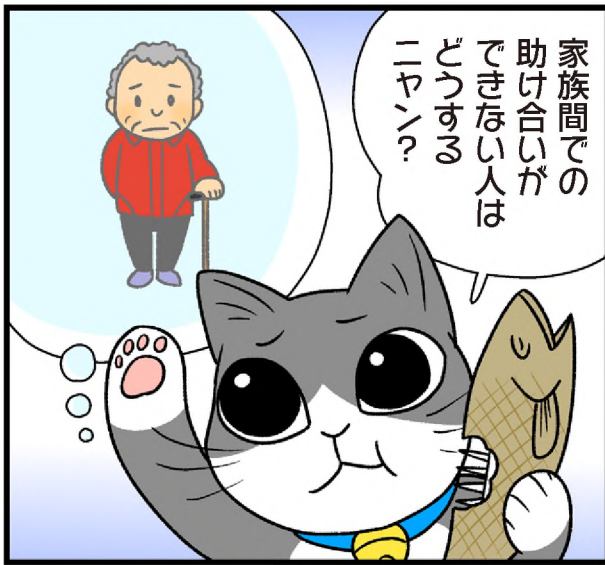
Q.03

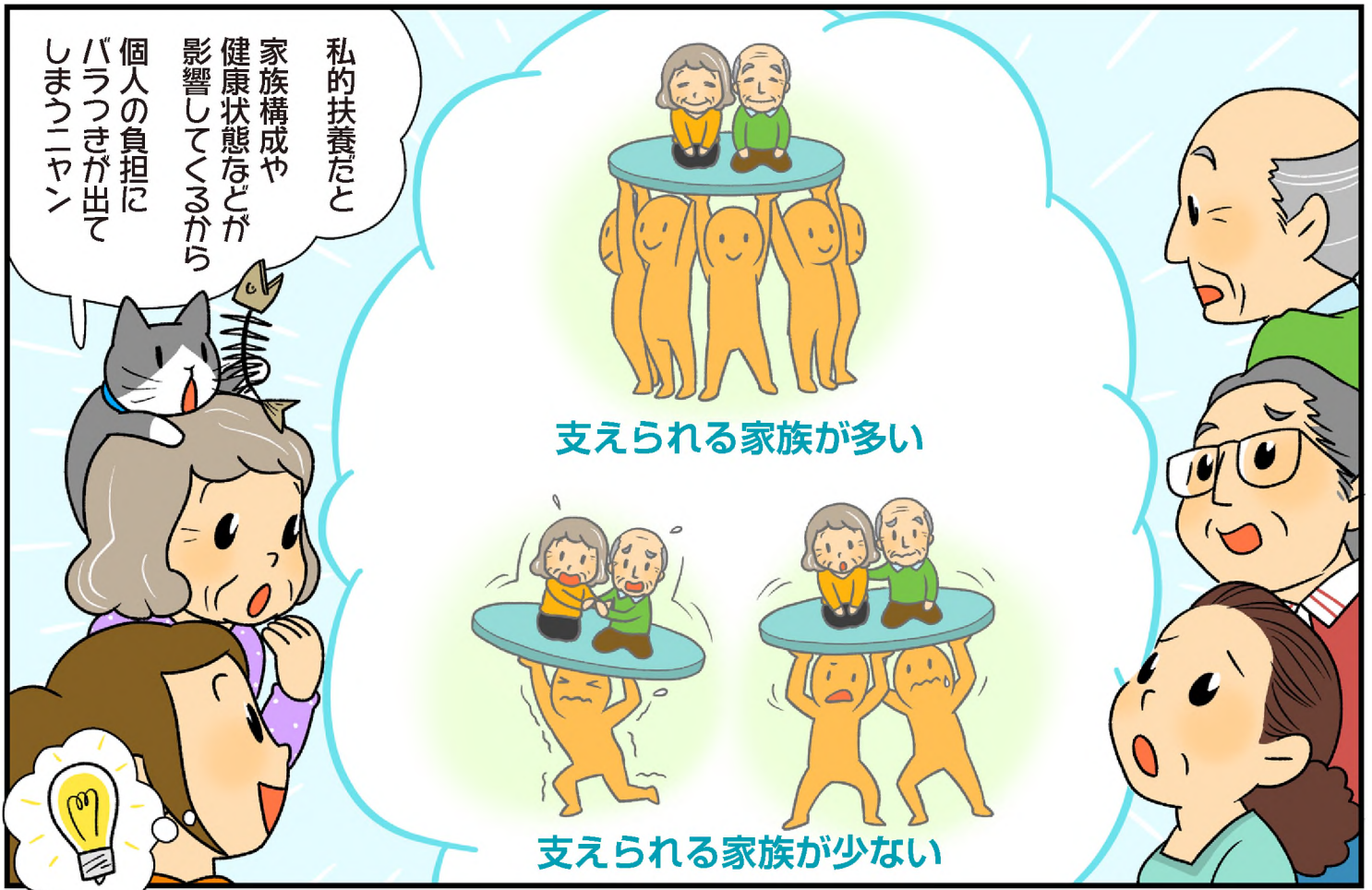
もし年金がなかったら どうなるんだろう？











A.03

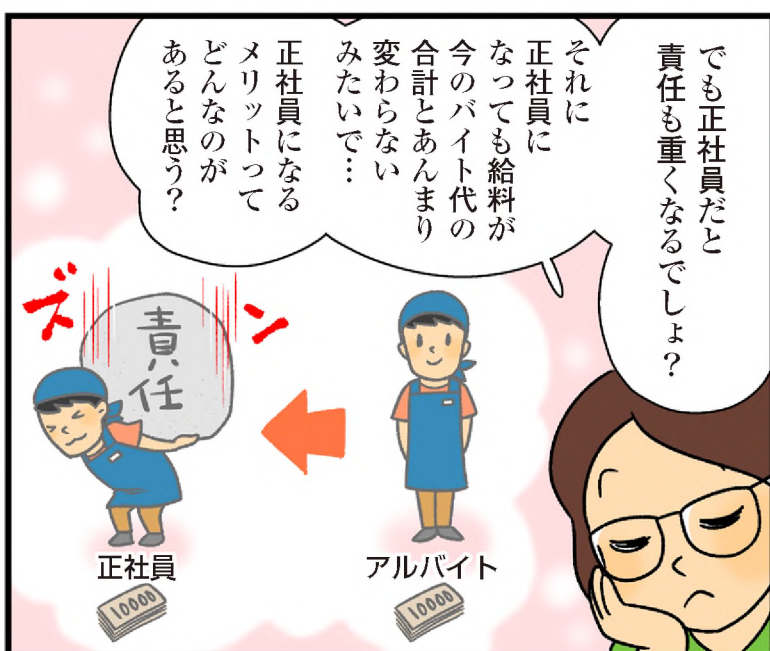
公的年金がなければ、家族構成や健康状態によっては家族にとって大きな負担となる場合がある。

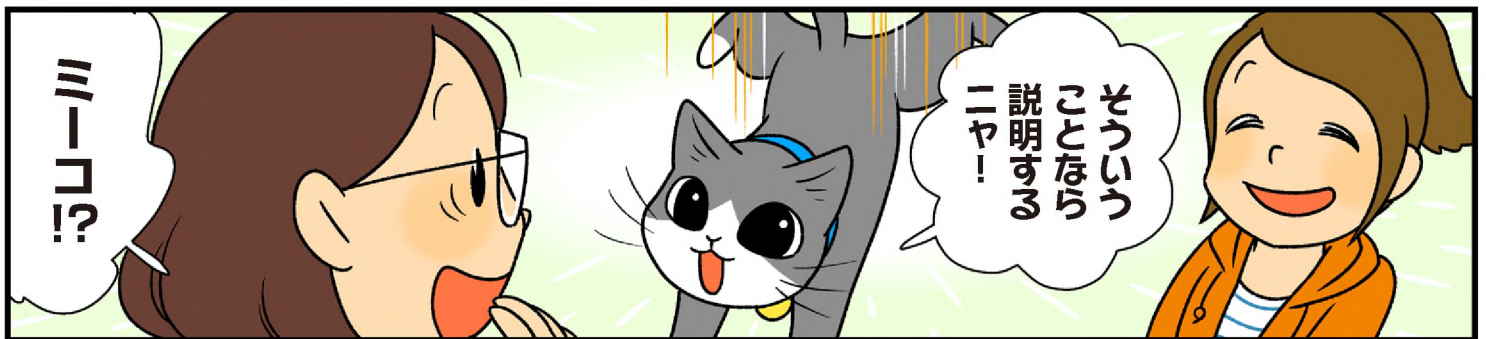
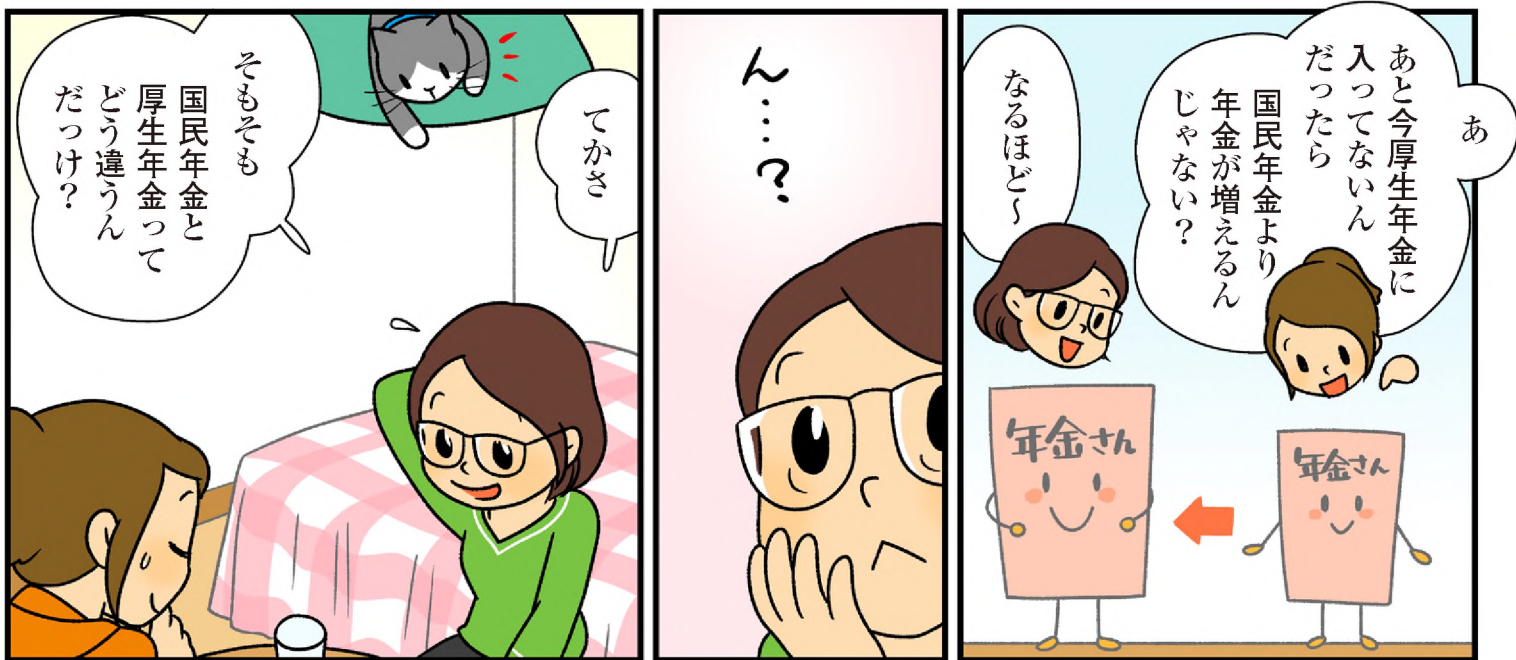




Q.04

公的年金ってどんな制度なんだっけ？





日本の年金制度は
国民年金と厚生年金の
2階建てになってる
ニヤン！

国民年金！
1階部分は
日本に住む
20歳以上の人
全員が加入する

厚生年金！
2階部分は
企業などに
勤務している
人が加入する

2階部分の
厚生年金に加入
している人は
同時に1階部分の
国民年金にも加入
しているから
給付が厚く
なるんだニヤ！

厚生年金

国民年金 (基礎年金)

2階部分

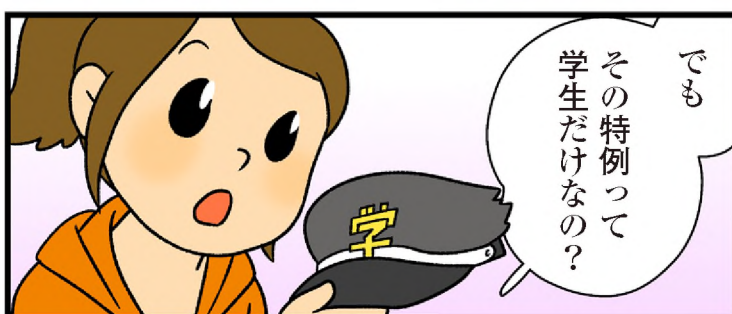
1階部分

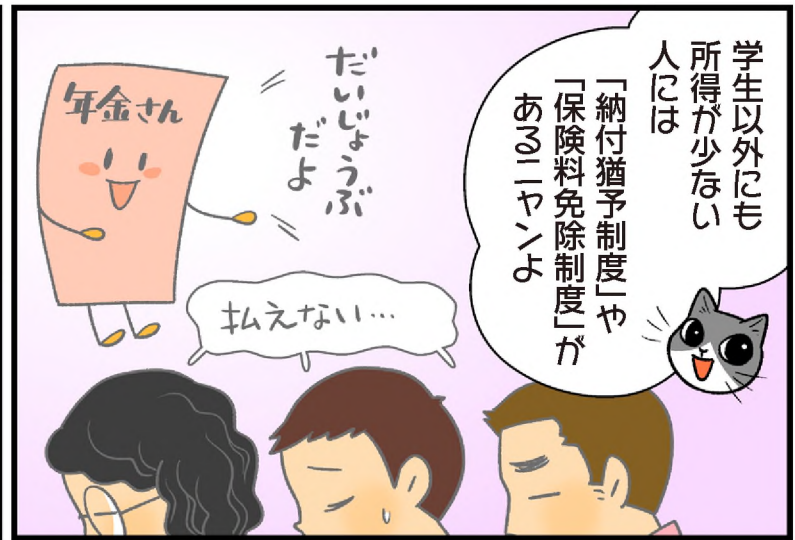
そう
そう

自営業者、学生など

公務員、会社員など

専業主婦(夫)など
(会社員などの配偶者)



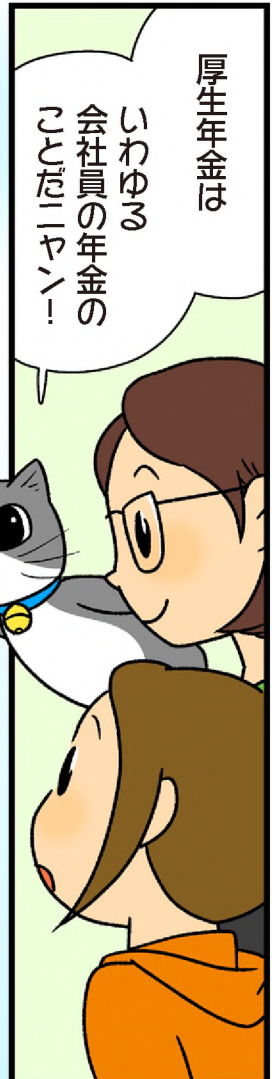


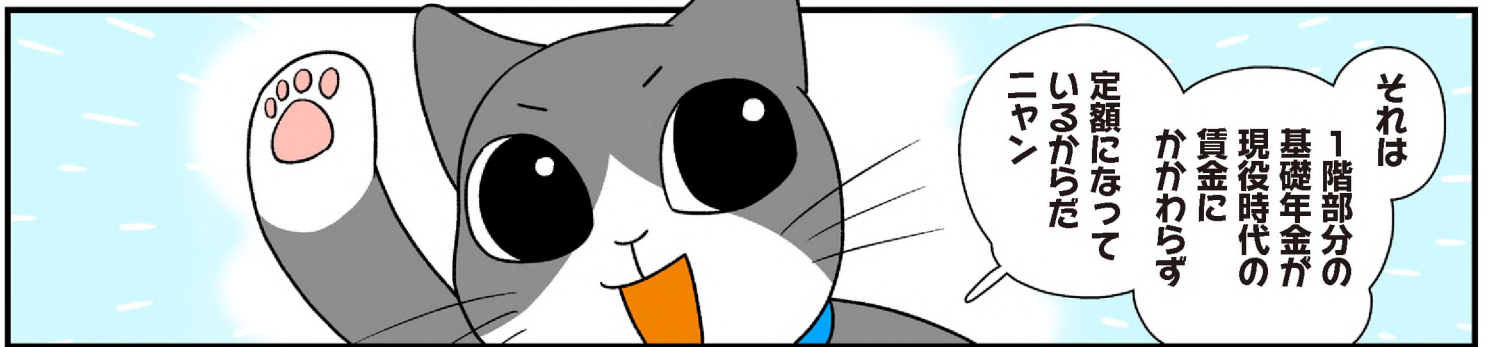
厚生年金

- 企業などに勤務している
人が対象
- 勤務時間等の要件を満たせば
自動的に加入(正社員に限らない)
- 保険料は賃金に対する定率(18.3%)
国民年金(基礎年金)分も含まれる
(保険料の半分は会社が負担)

厚生年金の
保険料の半額は
会社が負担して
いるニヤン

厚生年金って
毎月の賃金に対して
保険料率が
決まってるんだね





給付 = 厚生年金 (賃金に比例) + 基礎年金 (定額)

月収 A/2 月収 A

保険料 = 賃金に比例

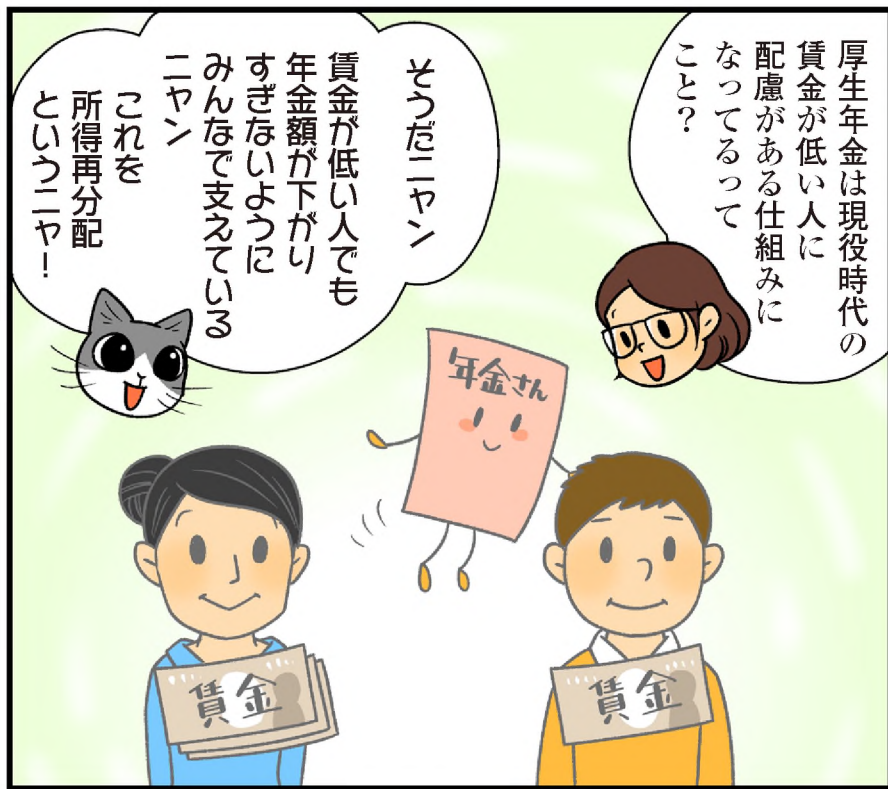
月収 A/2 月収 A

例

例えば賃金が 半分になると 保険料は 半分になるけど 受け取る 年金額は 半分よりも 多くなる ニヤン



それに
正社員じゃなくても
条件によっては
厚生年金に
加入できるから
どういふ働き方を
したいかも含めて
考えてみるこ
うじゃー!



厚生年金は現役時代の
賃金が低い人に
配慮がある仕組みに
なってるって
こと?

そっだニヤン
賃金が低い人でも
年金額が下がり
すぎないように
みんなを支えている
ニヤン
これを
所得再分配
というニヤ!
というニヤ!



厚生年金に入れることも
ひとつのメリットだし
これを機に働き方を
変えてみるのも
いいんじゃないって
アドバイスして
みようかな!

がんばらって
言っておいて!



国民年金より
2階部分が
増える分
もらえる年金も
増えるし
その方が
いいと
思うニヤ



収入が
少なくても
厚生年金は
できるだけ
入った方が
いいのかな?

A.04 公的年金は「2階建て」。「1階」の国民年金(基礎年金)は納付した期間に応じた一定額を受け取る。会社員や公務員は、現役時代の賃金に比例した「2階」の厚生年金も受け取る。





Q.05

払った保険料はどう使われているの？



3. これまでの加入実績に応じた年金額

(1) 老齢基礎年金	○○○○○○ 円
(2) 老齢厚生年金	□□□□□ 円
	○ 円
	○ 円
(1) と (2) の合計	△△△△△ 円



自分が納付した
保険料をそのまま貯めて
その積み立てから
将来の年金を受け取る
わけではないニヤンよ

年金は
納めた保険料に
応じた額を受け取れる
仕組みだニヤン！

なんで？

年金って
貯金みたいに
老後のために
積み立てておくもの
じゃないの？

積立方式

将来 現在

現役時代に払った保険料を積み立て、
老後にそのお金を受け取る仕組み。

賦課方式

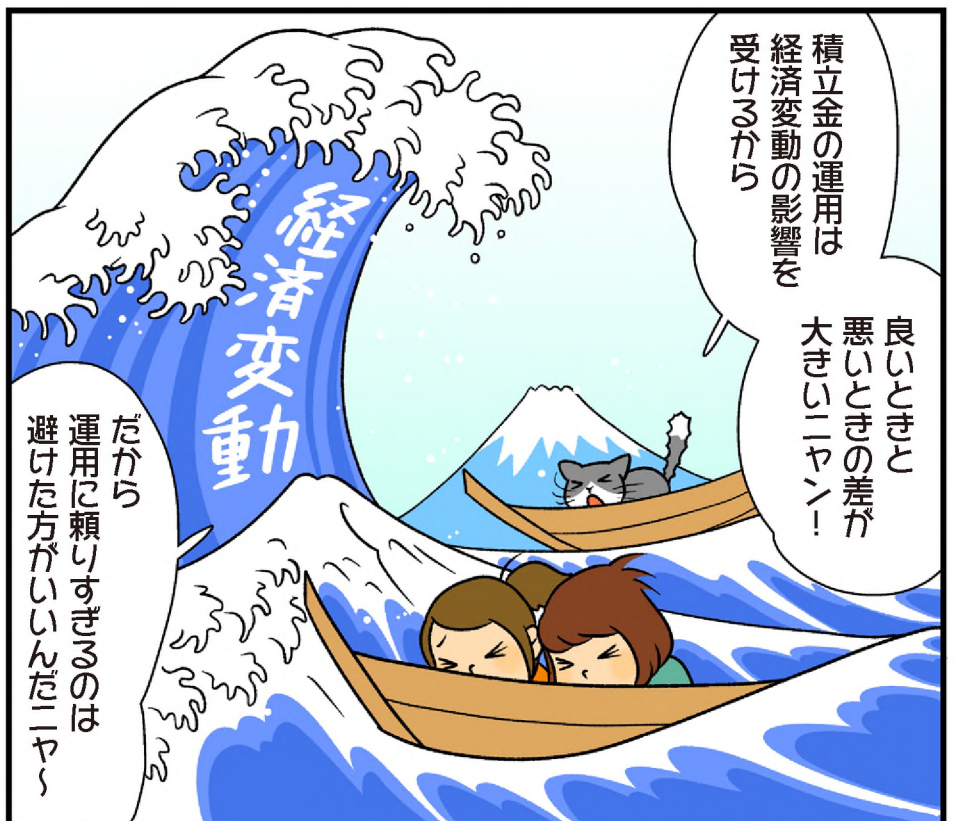
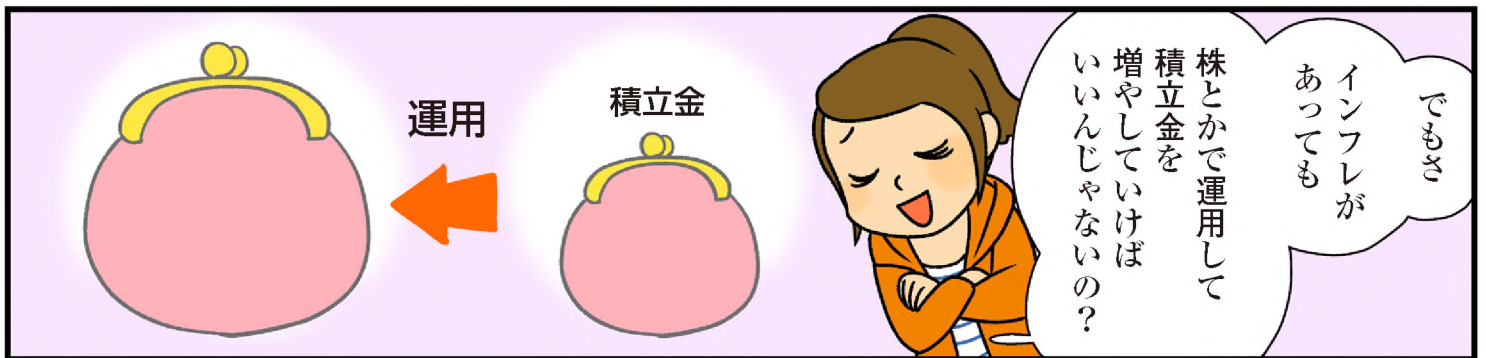
将来 現在

今の現役世代が払っている保険料は
今の年金受給者に給付される仕組み。
今の現役世代が年金を受け取るとき、
そのお金を払うのはもっと下の世代になる。

年金の財源を
準備する方法は
大きく分けて
2つあるニヤン！

日本の公的年金は
この『賦課方式』を
採用している
ニヤンよ

なんで
積立方式
じゃなくて
賦課方式
なの？





賦課方式は
その時の賃金が
保険料の基に
なっているから

その時の
現役世代の
生活水準に応じた
年金を受け取る
ことができるニヤ

賦課方式の特徴

- 景気変動に強いため、年金の価値が変わりにくい
- そのときの現役世代の賃金の一定割合が財源になっているため、急激なインフレがあっても、現役世代の賃金に応じた年金を受け取ることが可能

景気

ふか

年金たん

年金たん

インフレ

賦課方式なら
インフレがあっても
年金による生活を
安定させやすいニヤン

そうなんだ



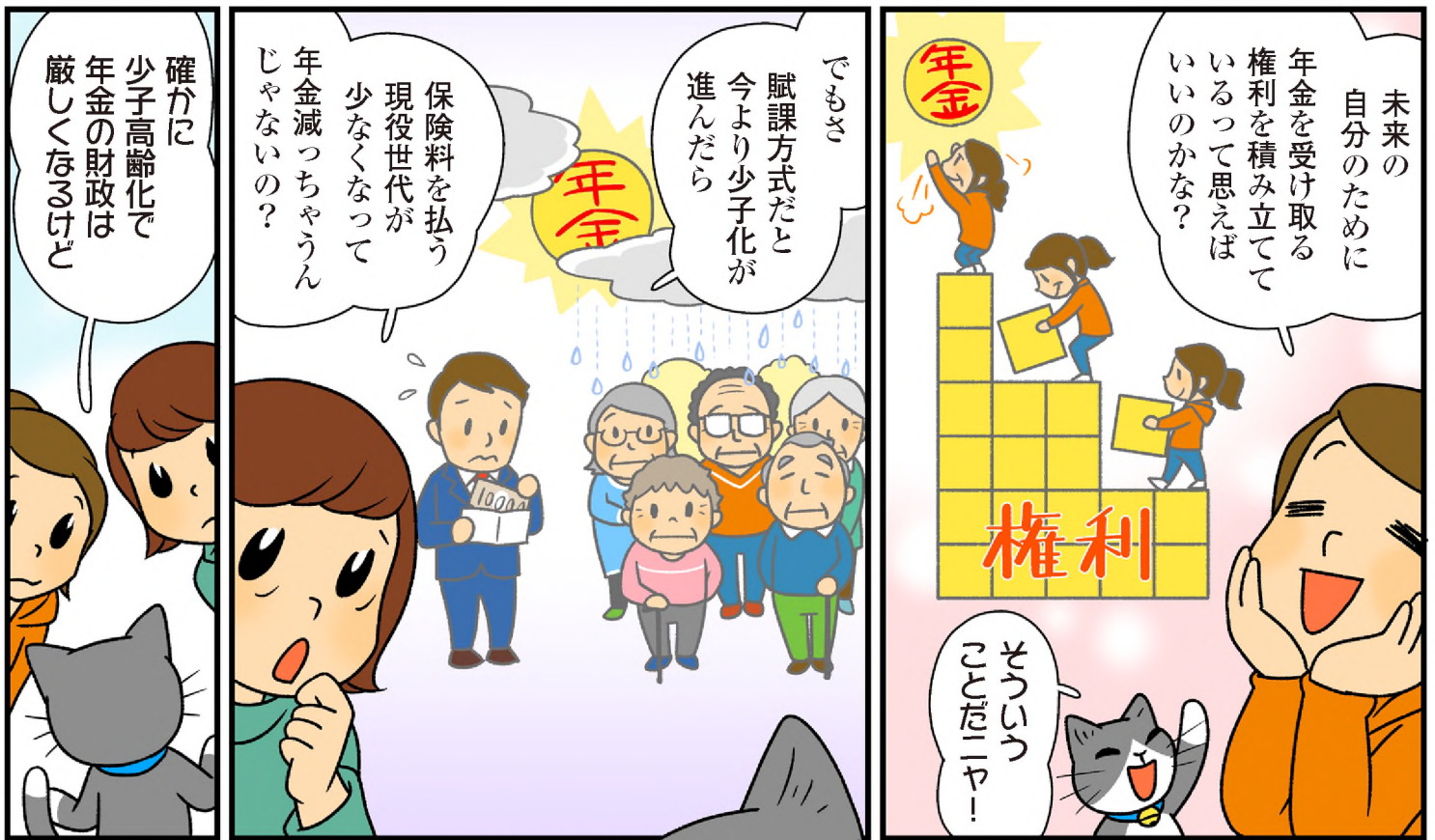
きちんと
保険料を払って
支え合いに貢献
したからこそ
将来年金を
受け取れるんじや
ないかな？

なるほど！



てっさり
自分の年金を
貯めてると
思ってたのに…

ゆいちゃん



A.05

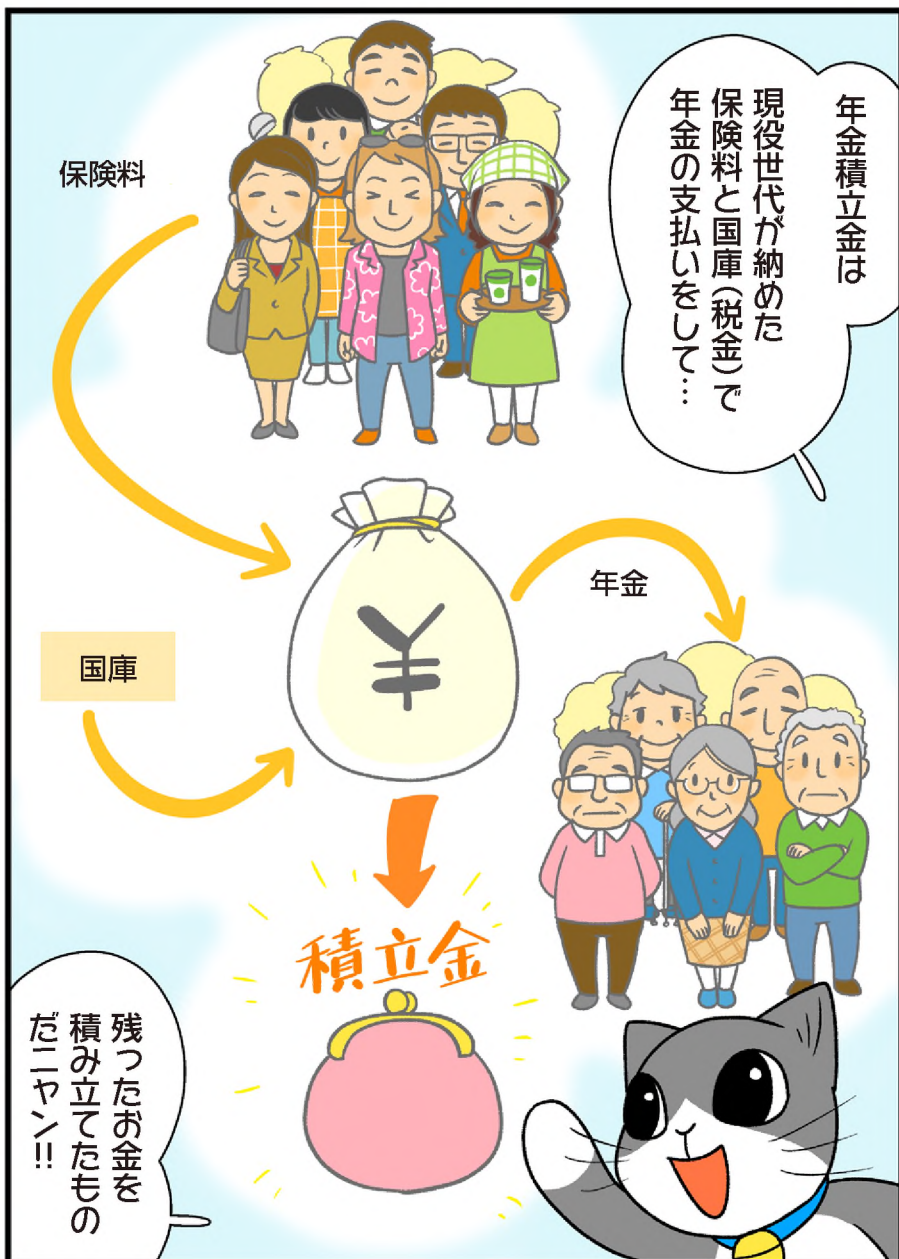
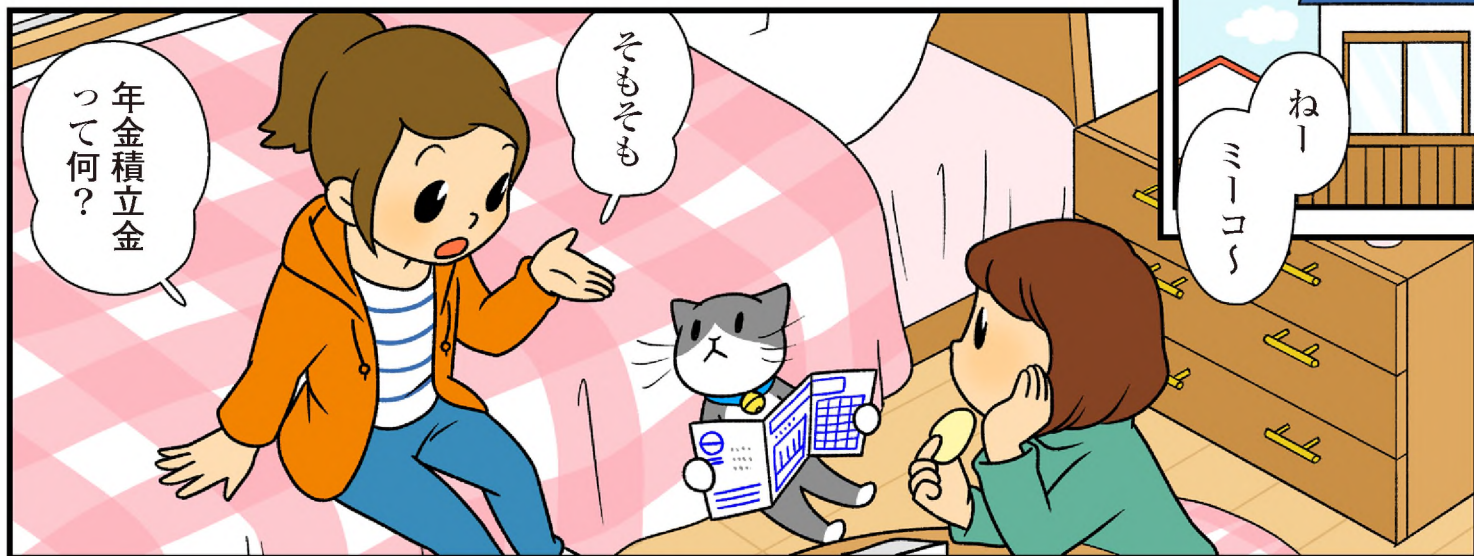
公的年金はその年の現役世代が納める保険料を同じ年の年金の給付に充てることで、現役世代の生活水準に合った給付を実現している。

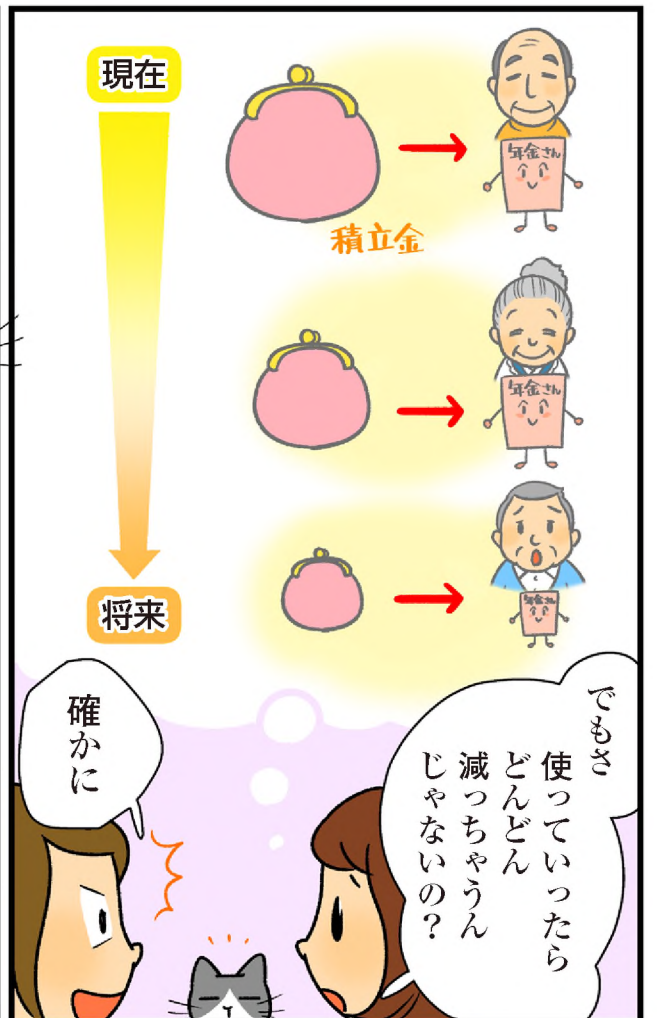
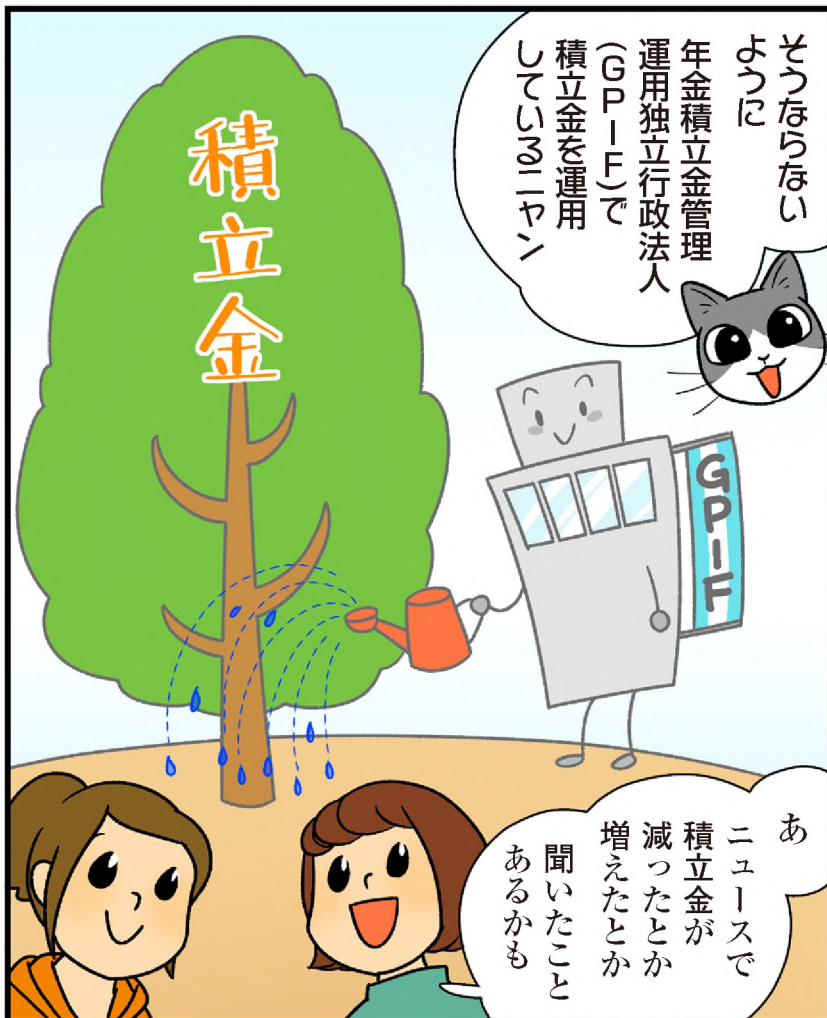
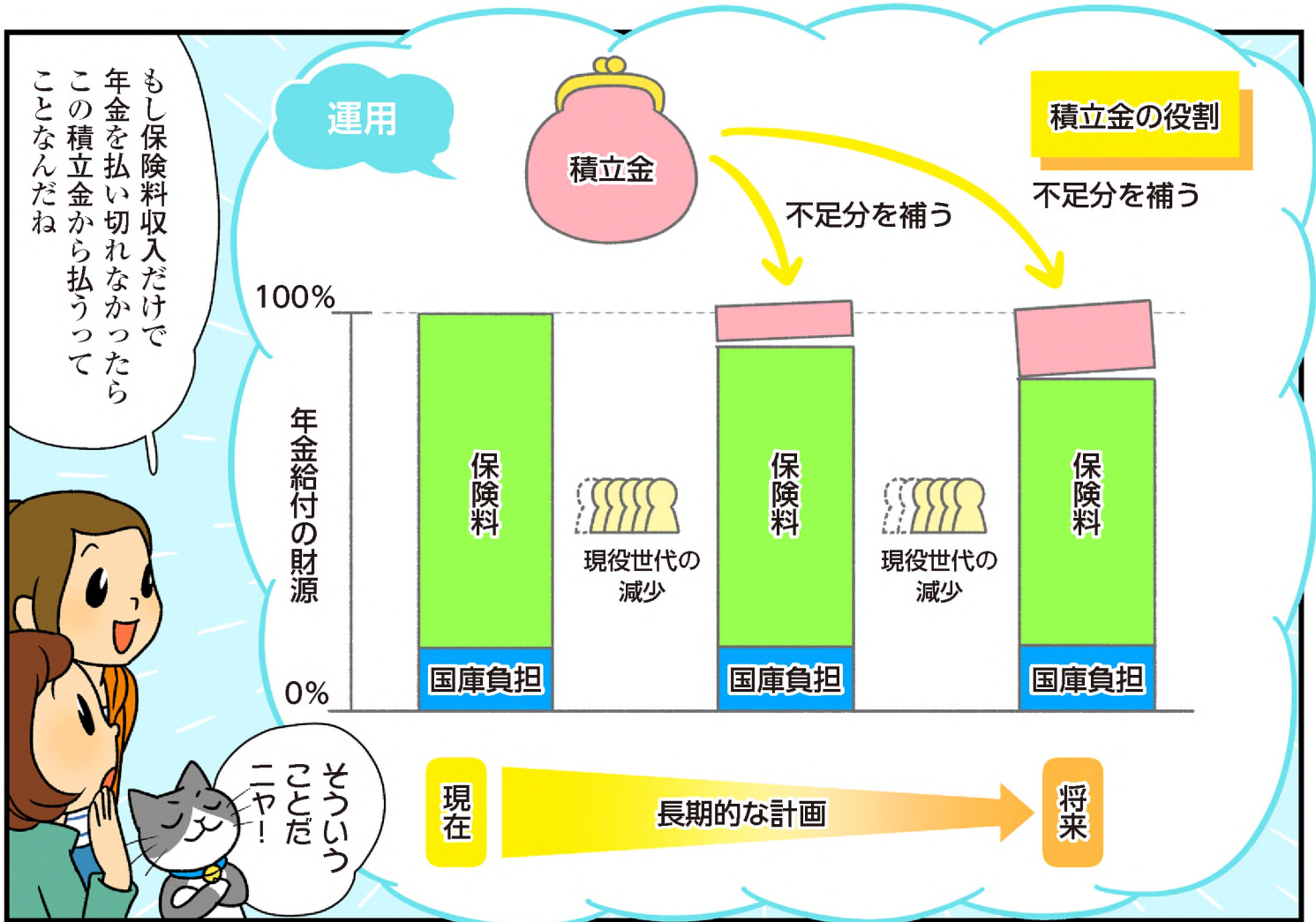




Q.06

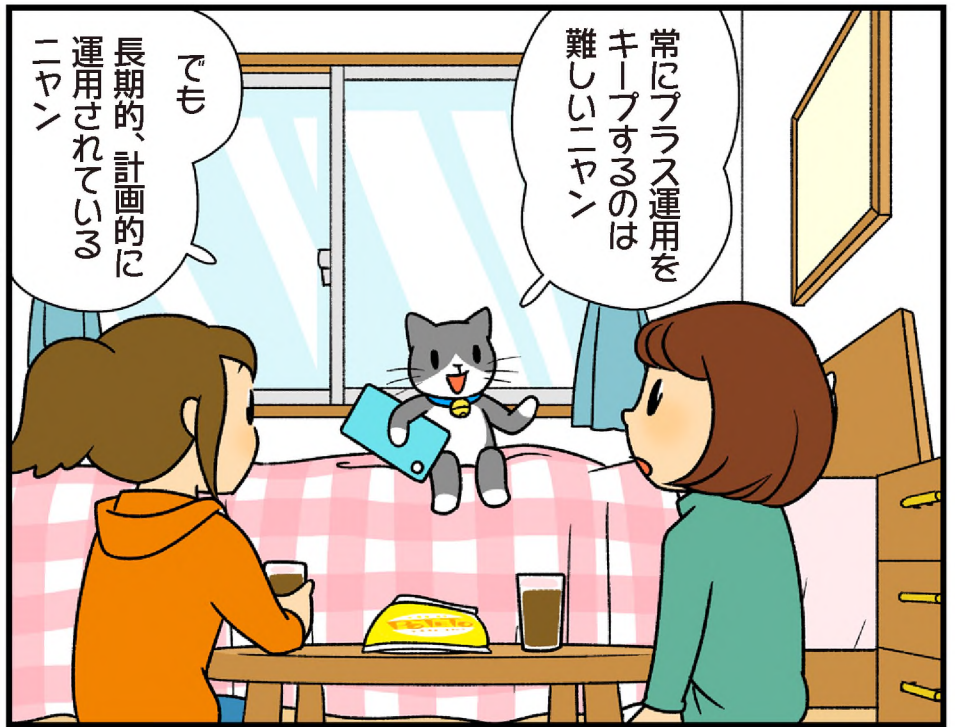
何のために積立金があるの？





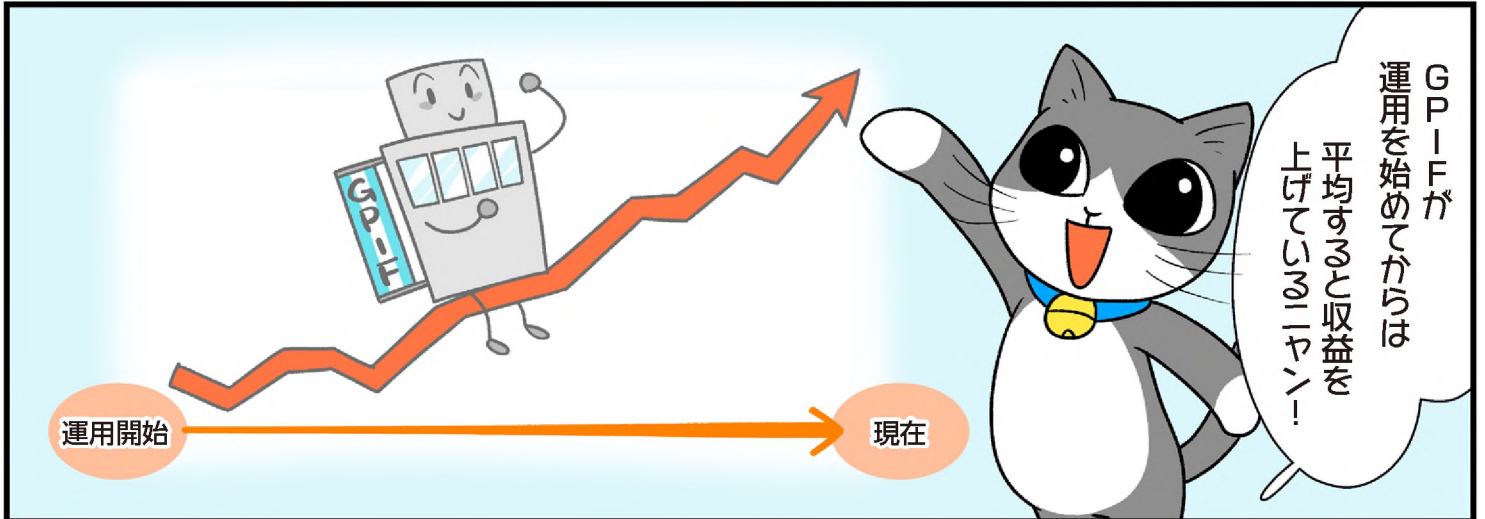


ほつ
GREEFの
ホームページを
見るニヤンが



でも
長期的、計画的に
運用されたら
ニヤン

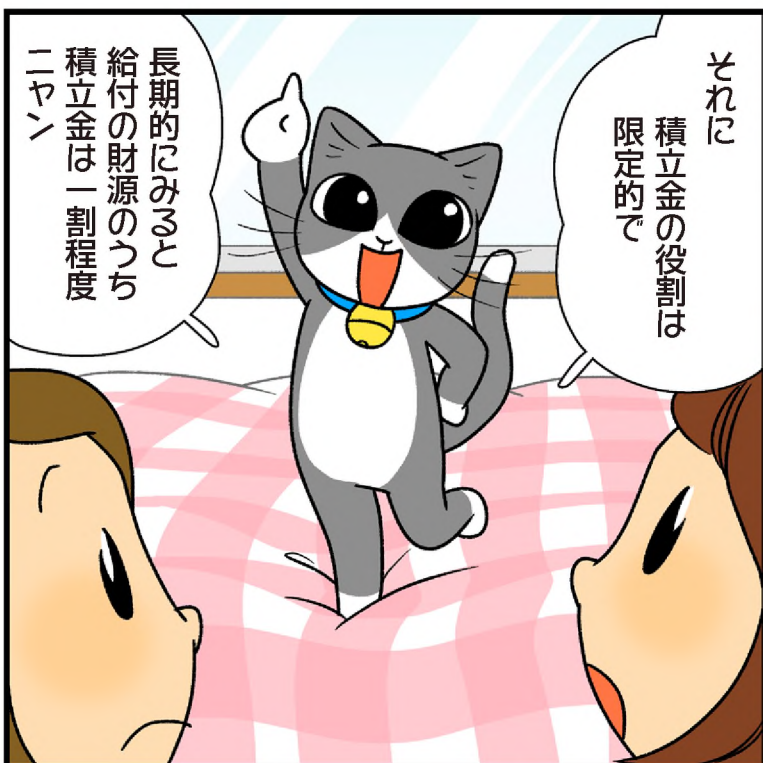
常にプラス運用を
キープするのは
難しいニヤン



運用開始

現在

GREEFが
運用を始めてからは
平均すると収益を
上げてニヤン！



長期的にみると
給付の財源のうち
積立金は一割程度
ニヤン

それに
積立金の役割は
限定的で



賦課方式だから
一時的に減っても
年金の支払いに
困ることはない
ニヤン

そうは
言っても
一時的でも
減ったら
困るんじゃないの？

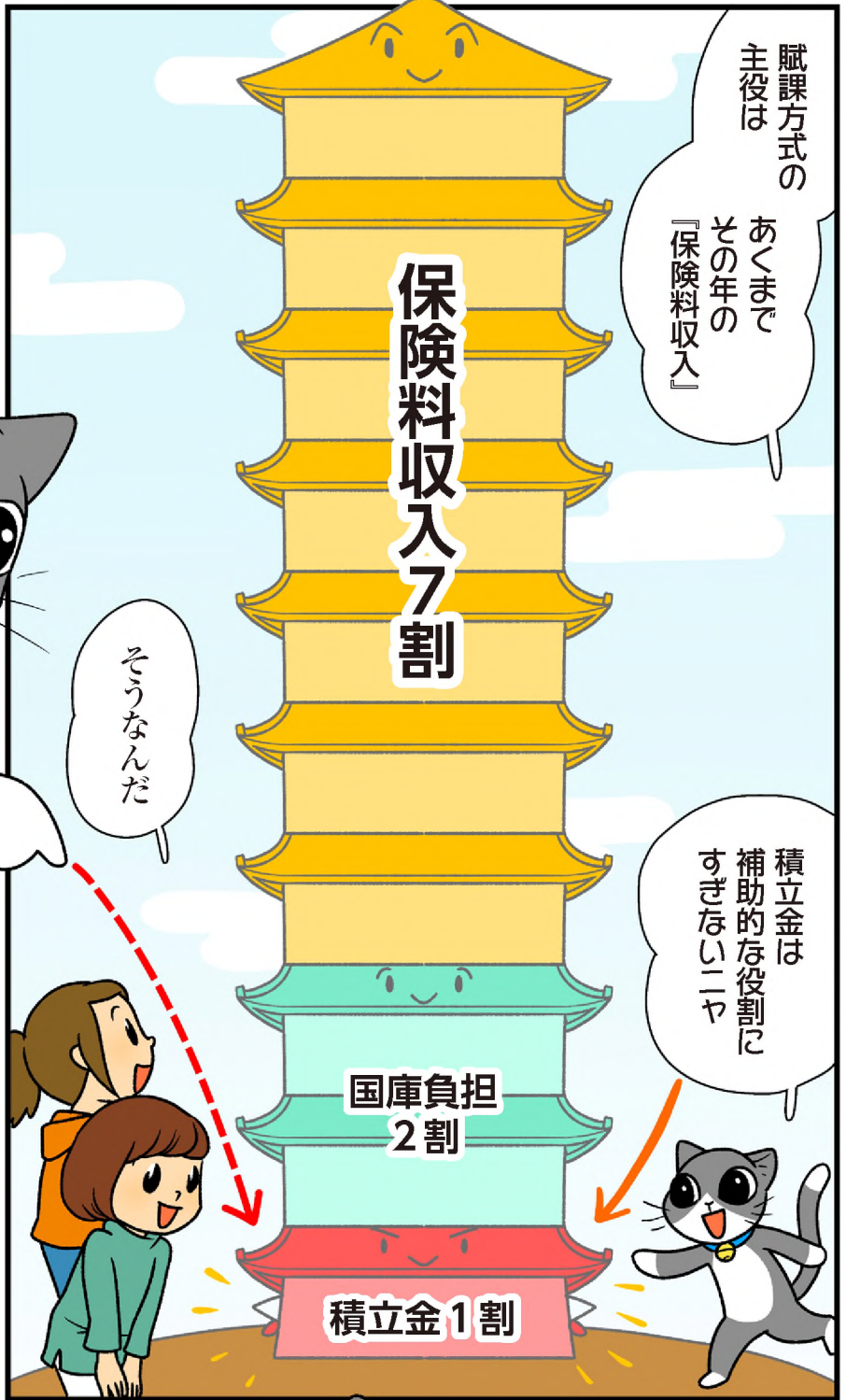


今より
少子高齢化が進む
将来の給付水準を
下支えすること
だニヤ

積立金の
目的は



でも
そうやって
使いだしたら
すぐに
なくなっちゃうん
じゃないの？



賦課方式の
主役は

あくまで
その年の
『保険料収入』

保険料収入
7割

そうなんだ

積立金は
補助的な役割に
すぎないニヤ

国庫負担
2割

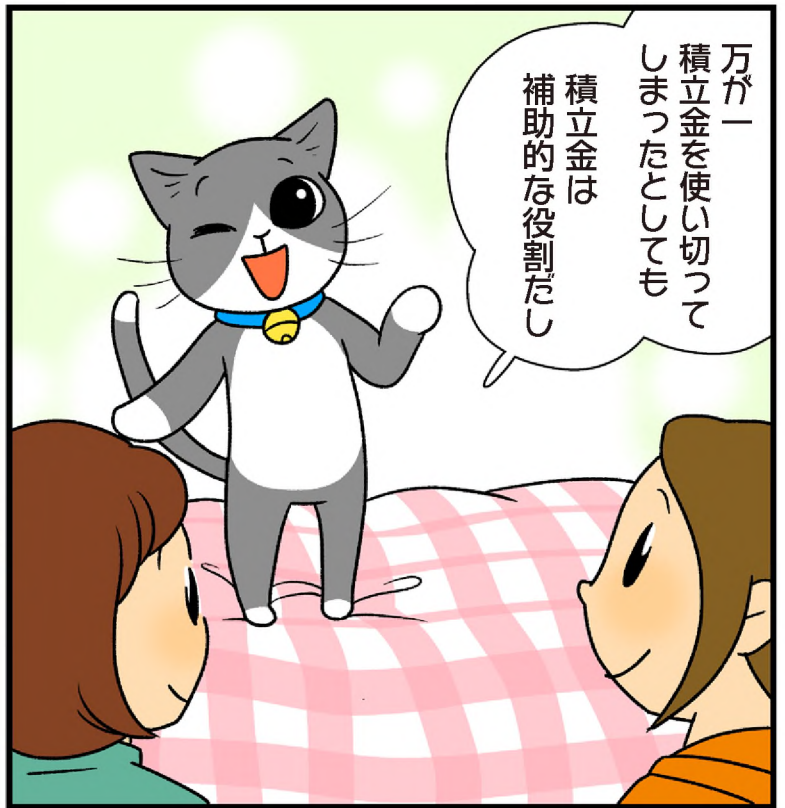
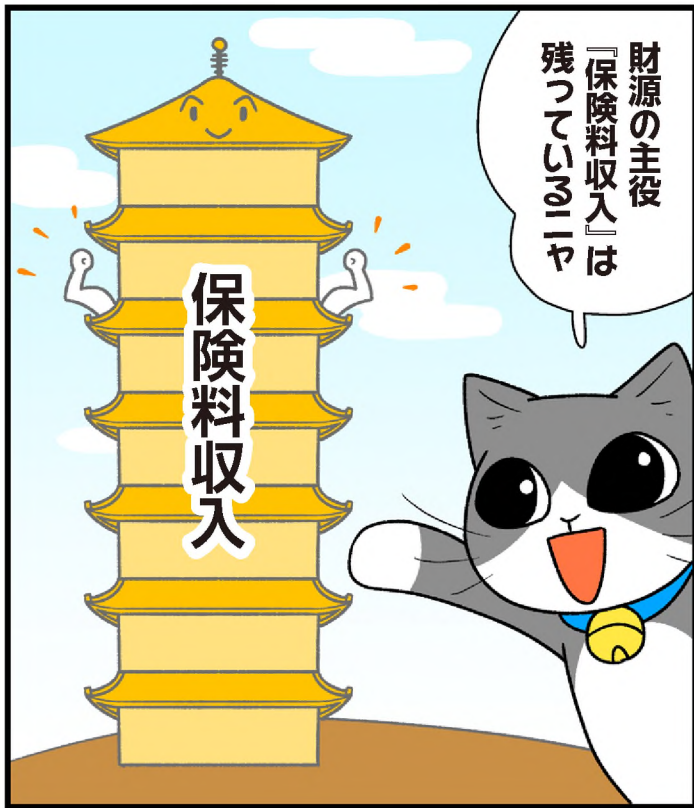
積立金
1割



そこまで心配する
ことはないニヤ
積立金の額は
約200兆円!!

すぐ無くなる
ような額では
ないニヤン

※割合は、今後約100年間の平均的なもの



A.06

積立金は今より少子高齢化が進む将来の給付水準を下支えする役割を担っている。





Q.07

少子高齢化が進むと保険料率をもっと上げないといけないの？



久しぶり〜！

あつくくん!?



今日も
疲れた〜

あれ？

ゆいちゃん？



あるある！

今から
時間ある？

あつくくん
こそ〜

ぜんぜん
変わって
ないね〜

ゆいちゃん

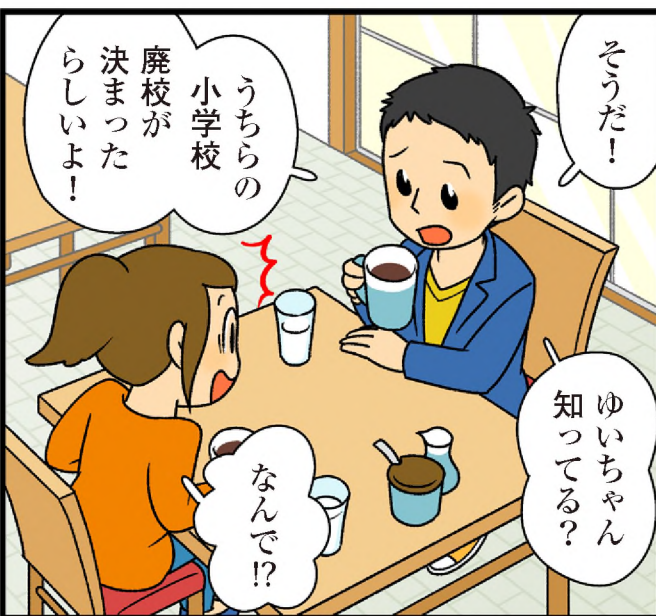


我が母校

学校に通う
子どもの数が
減っちゃった
みたい！

で

近くの
小学校に
統合される
とか！



そうだ！

うちの
小学校
廃校が
決まった
らしいよ！

なんで!?

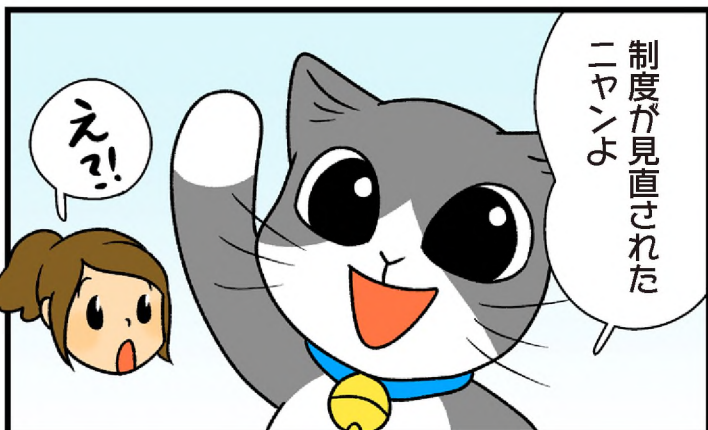
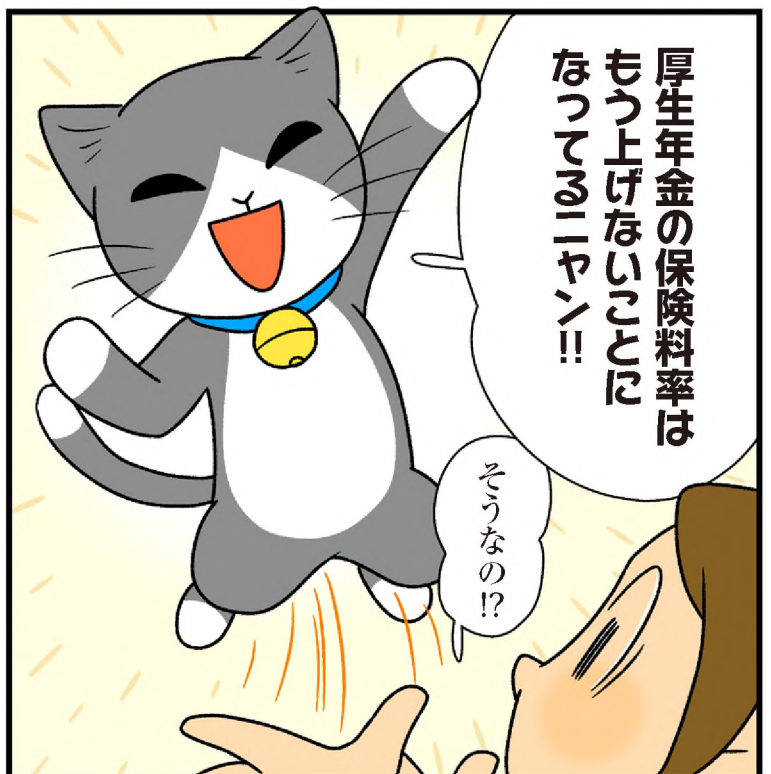
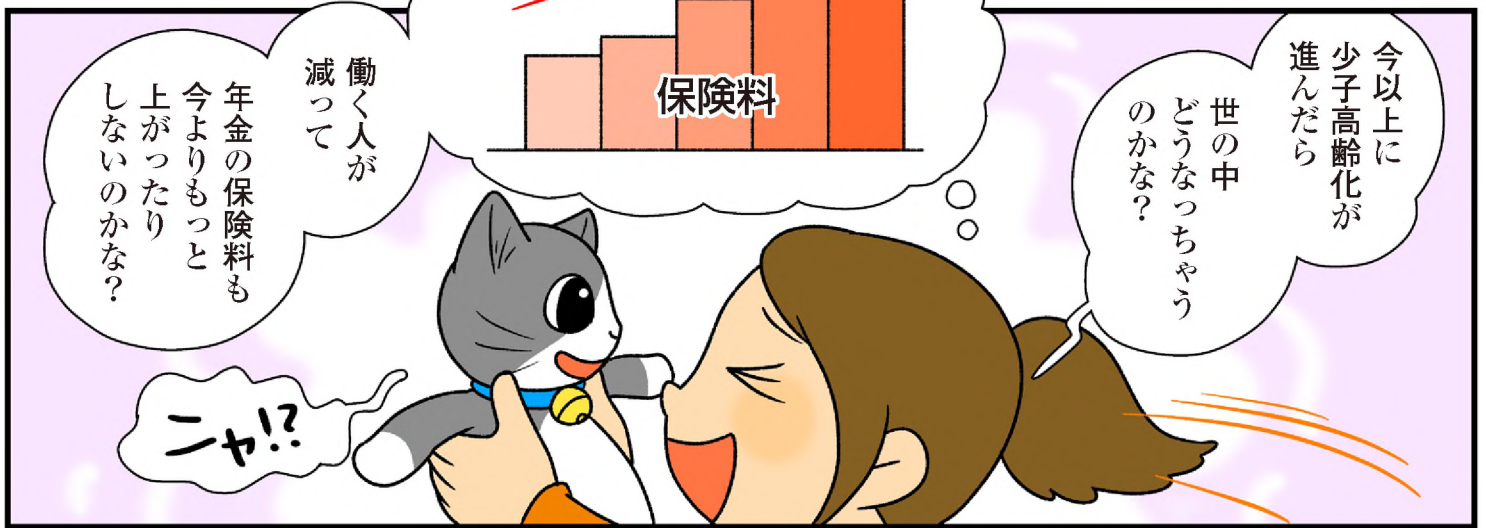
ゆいちゃん
知ってる？

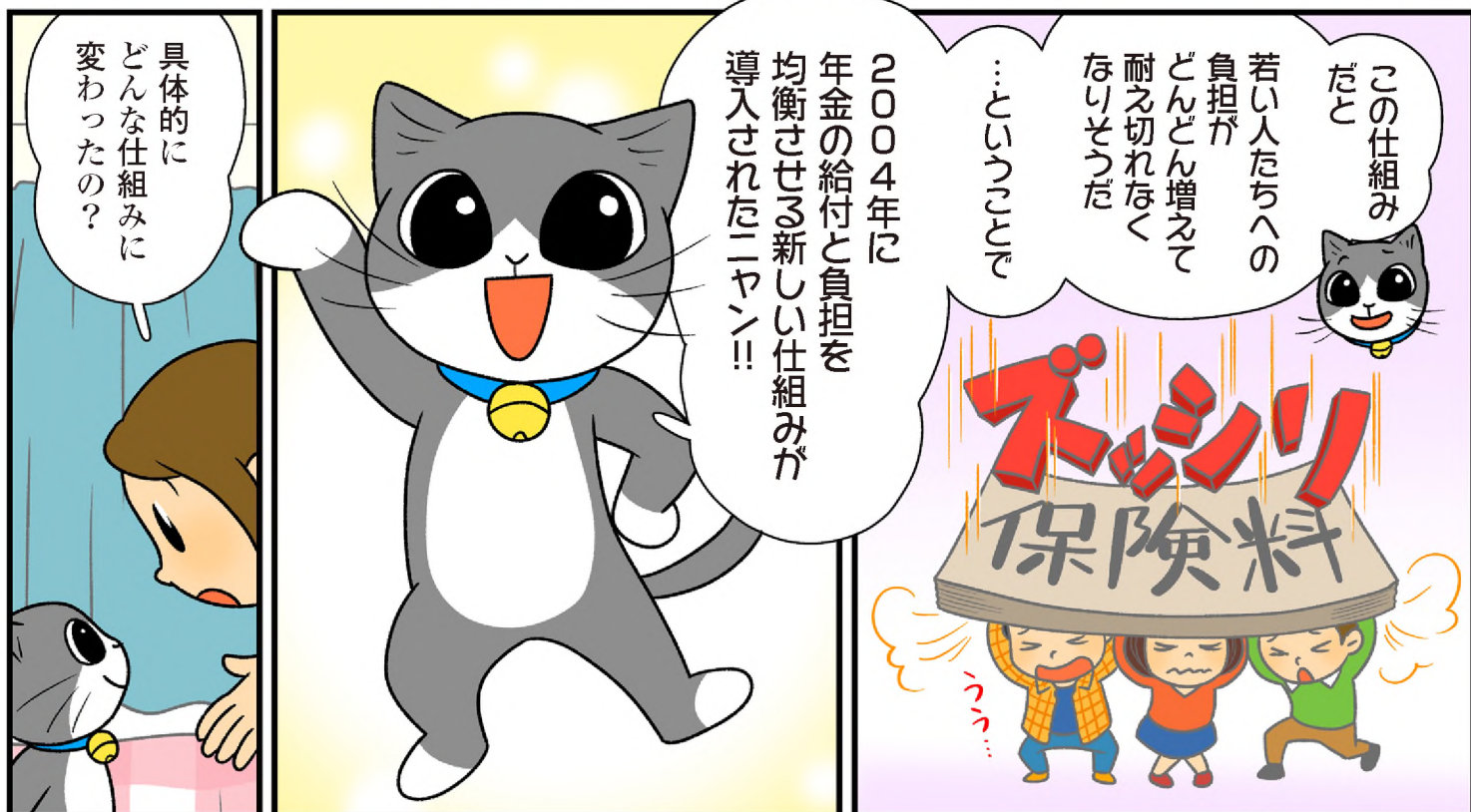
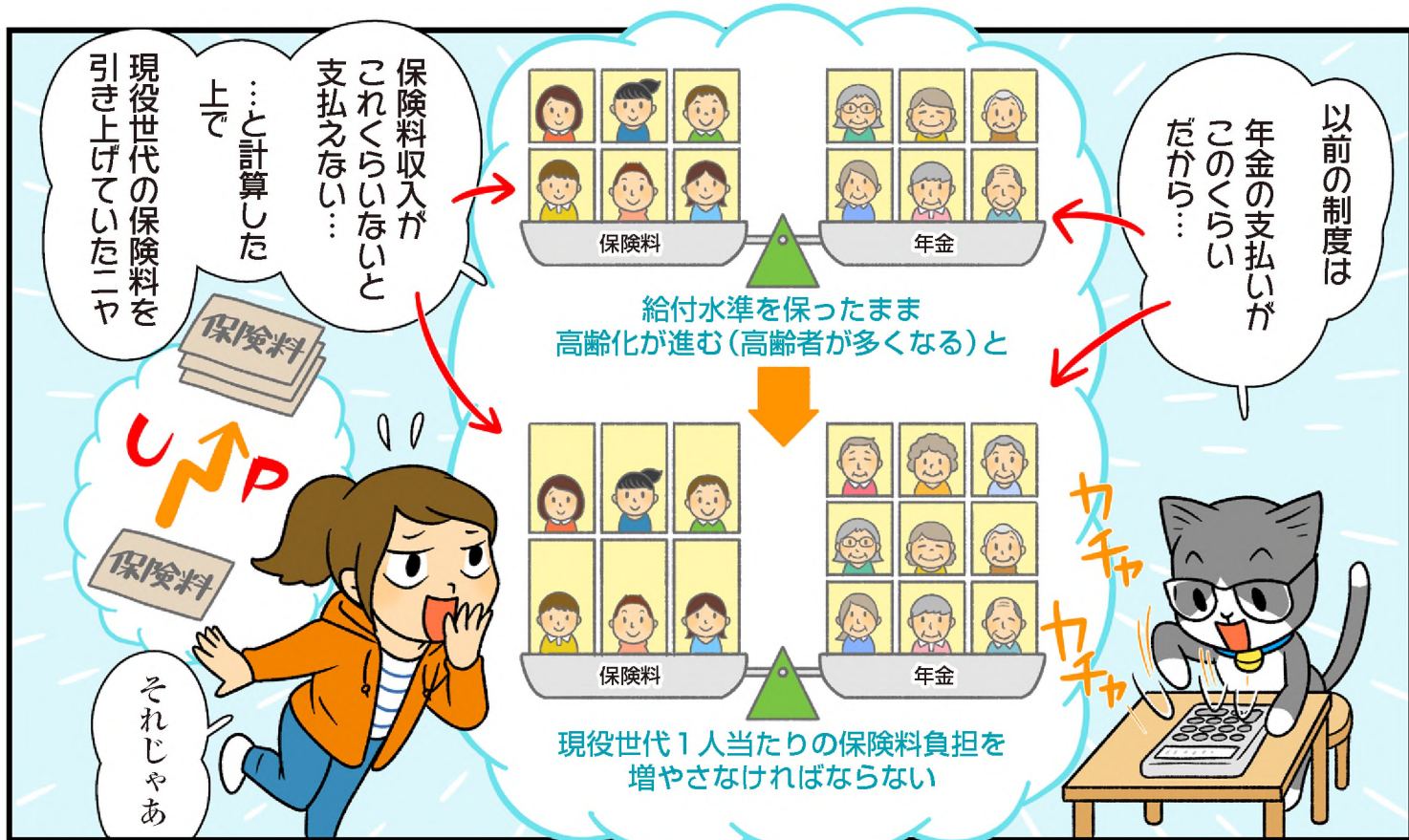


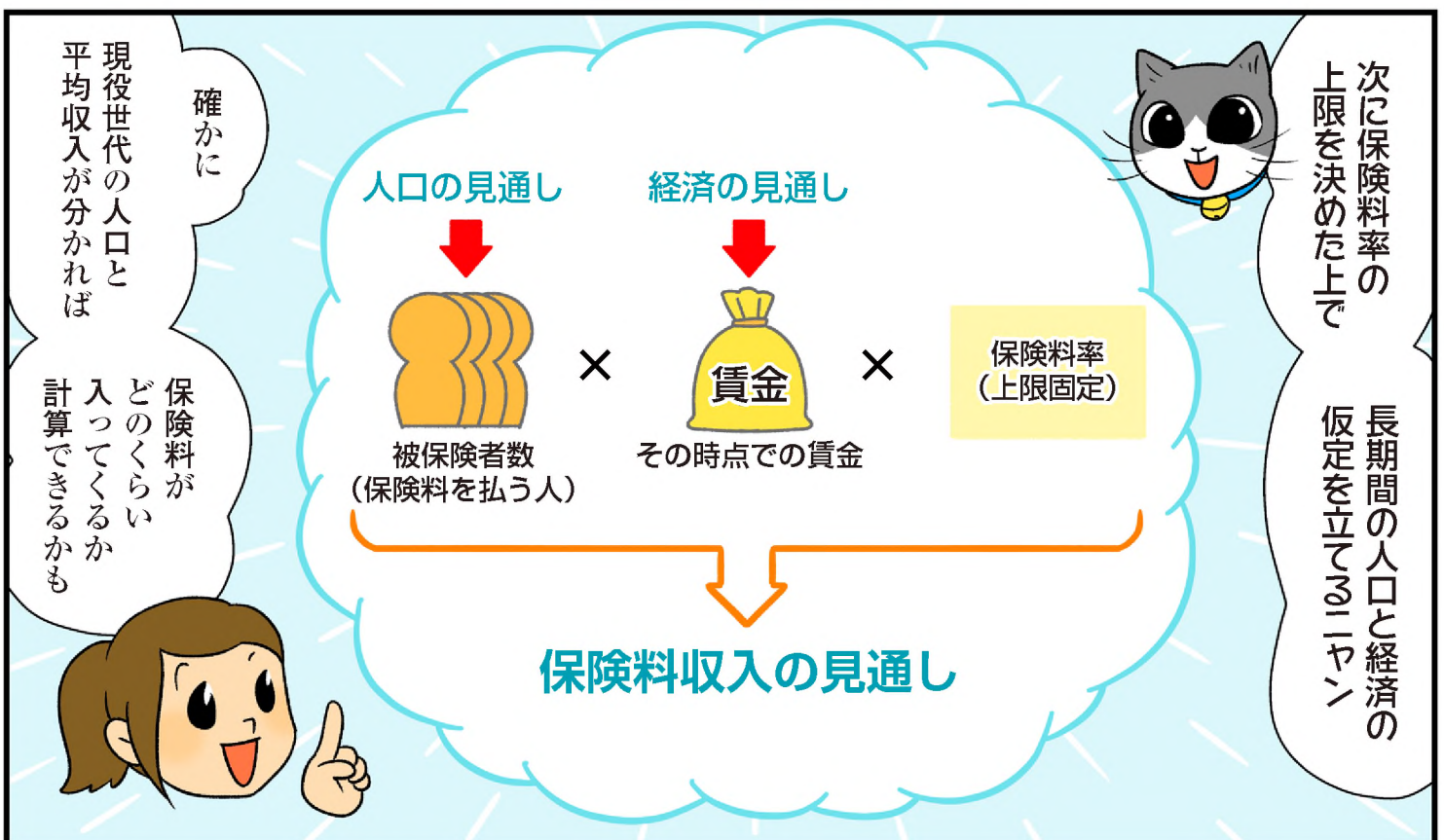
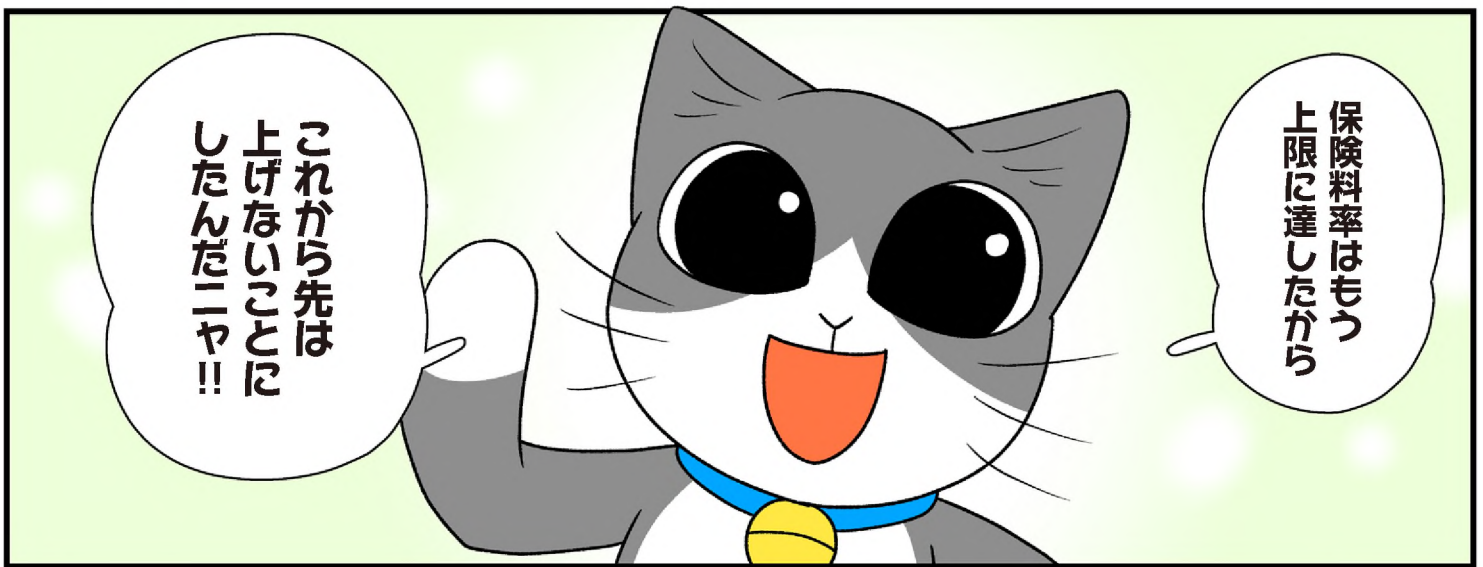
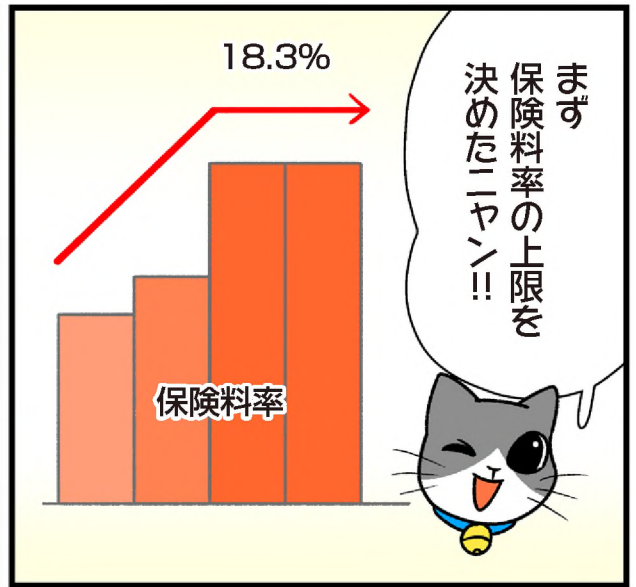
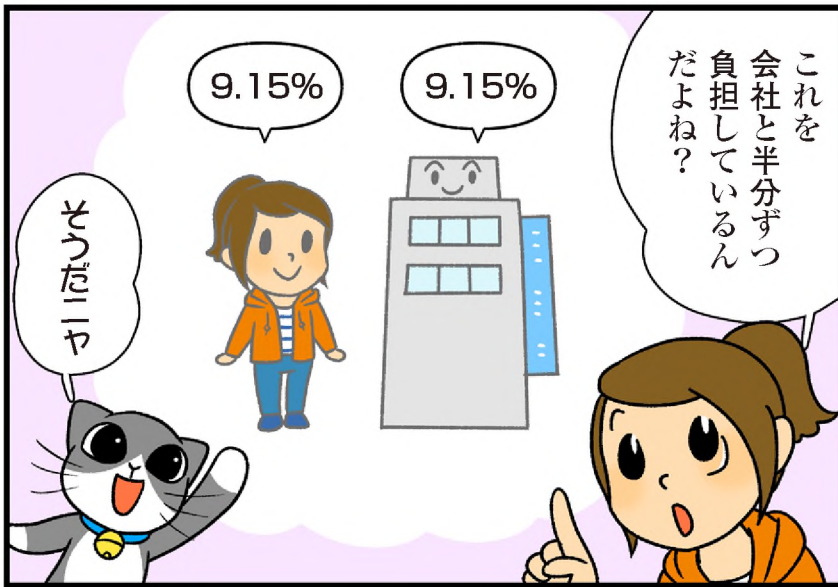
子どもの数は
減ってる
からな〜

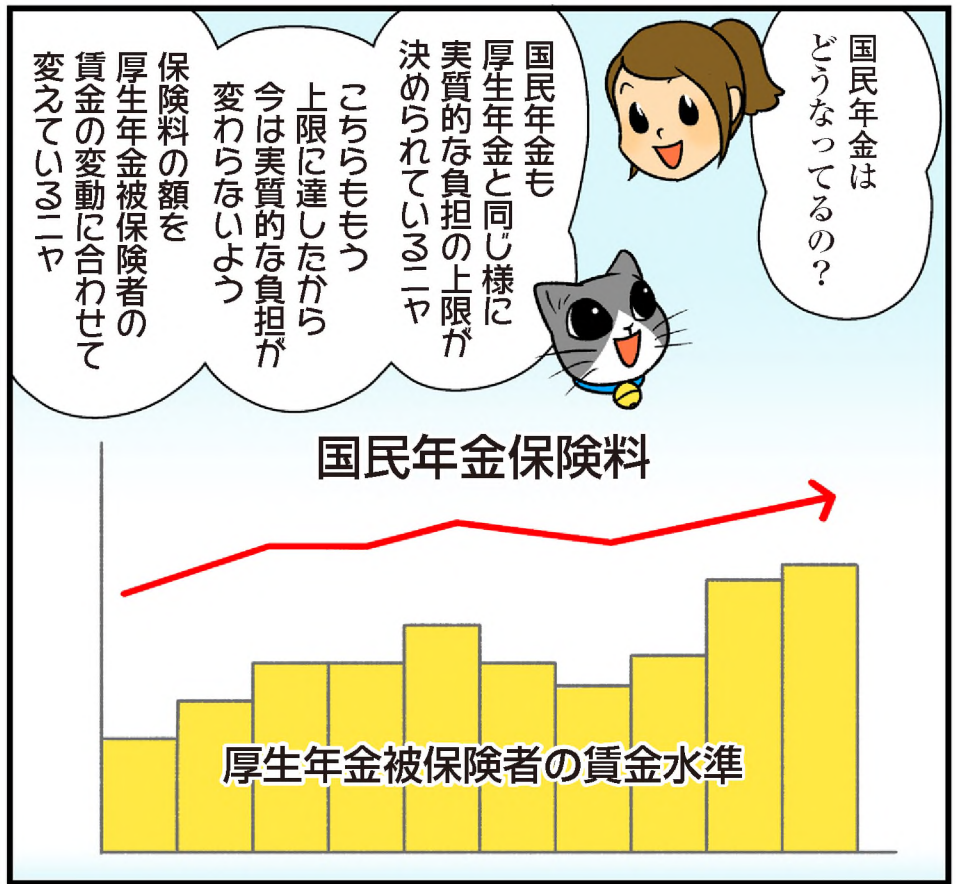
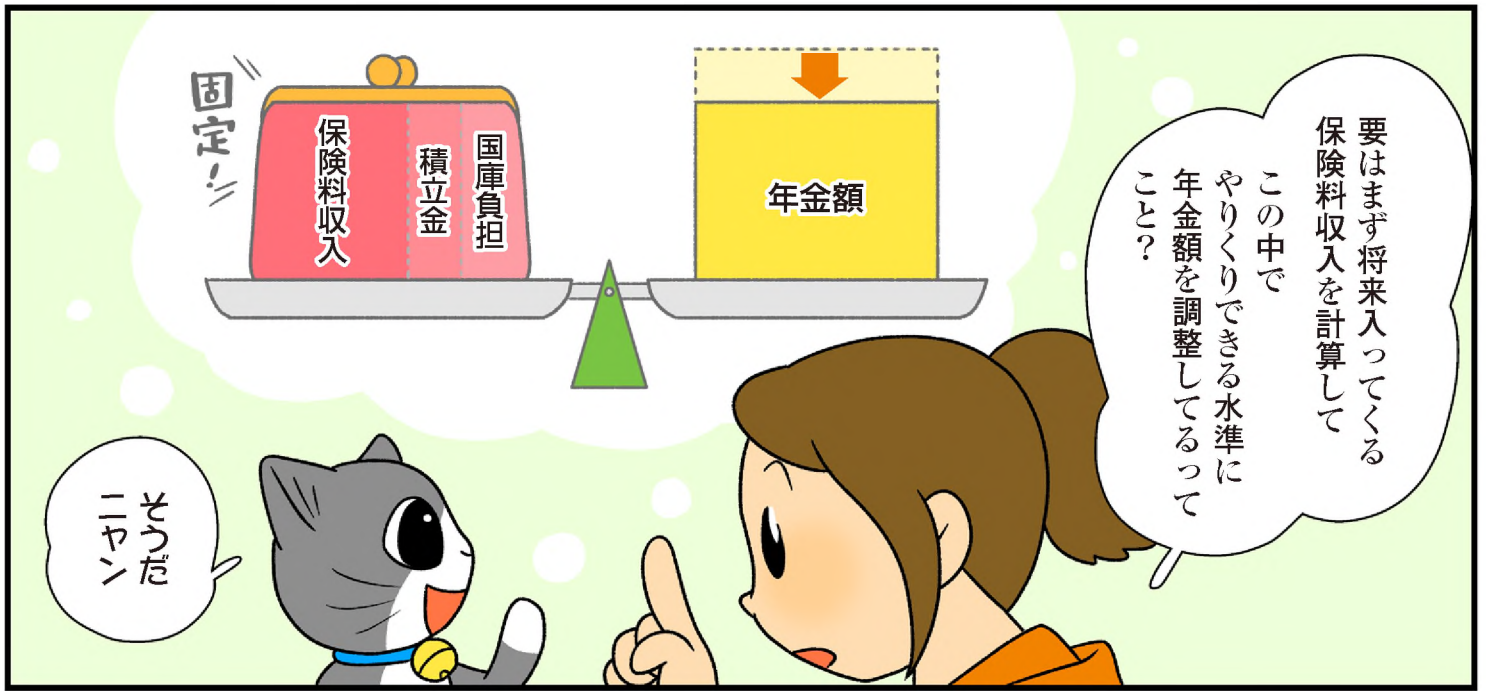
ズ...

確かに！









本来
年金は毎年

現役世代の賃金や
物価の変動をもとに
支給額を改定
するんじゃないけれど

年金額が
保険料収入で
やりくりできる
水準になるまでは

賃金や物価の
伸びよりも
少し低い伸びで
改定するようになっ
てるんだニヤ

賃金(物価)

スライド
調整率

年金改定率

だからこそ
将来の姿を一つに
決めつけずに

幅広い色々なケースを
想定した「見直し」を
考える必要があるニヤン

なるとほじ

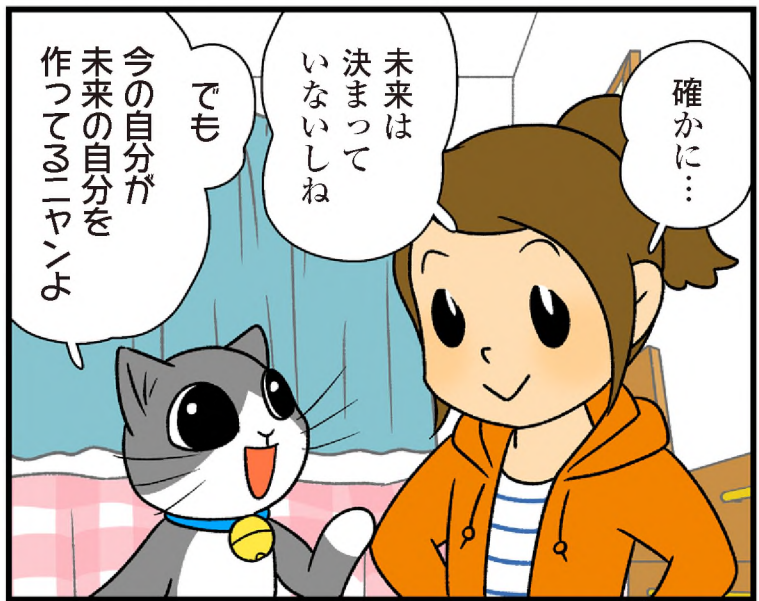
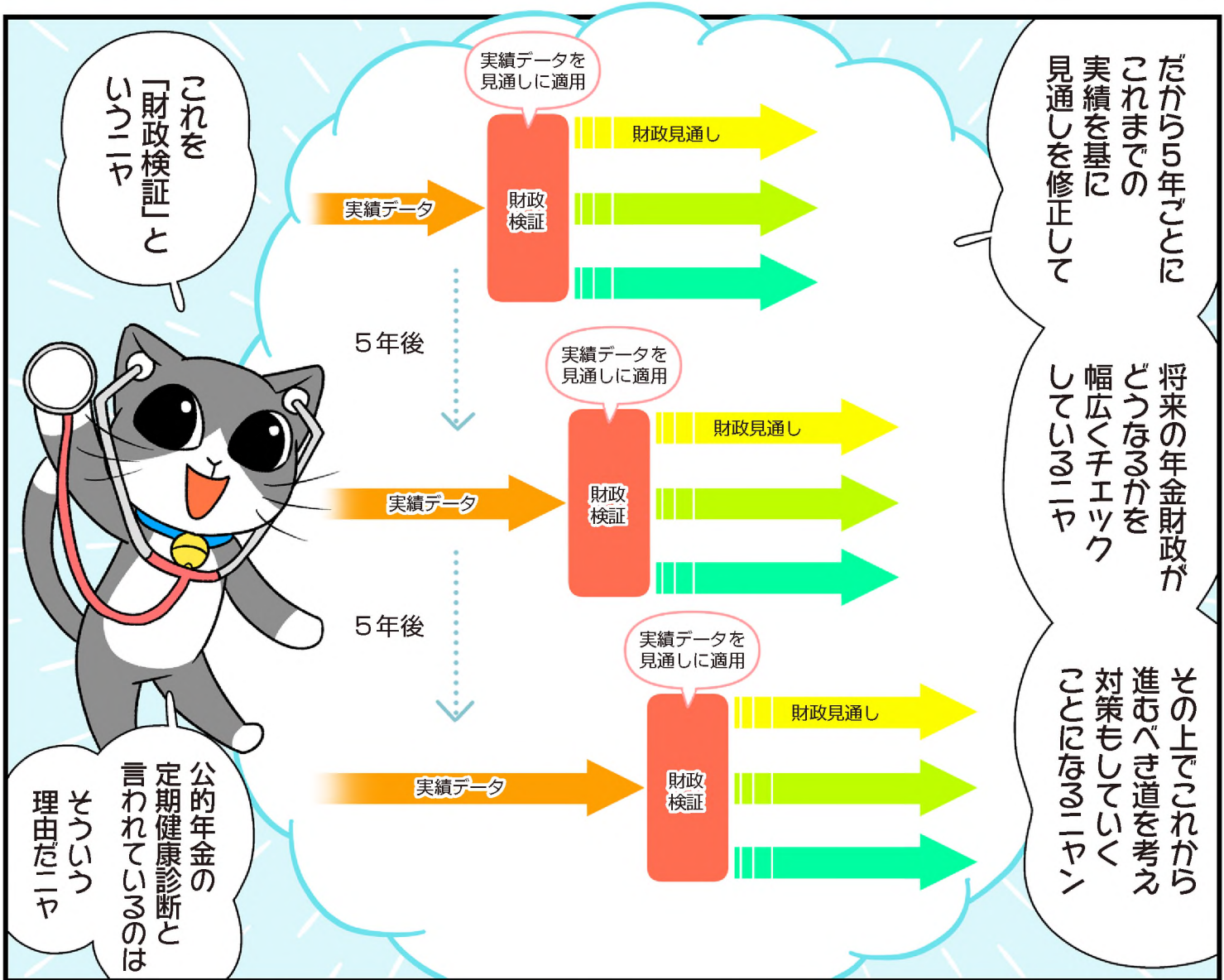
そもそも未来は
決まってないニヤン

しかも


長期間の仮定を
立てるって言うっても
そんな未来のことが
分かるものなの？

ふん

そして
その「見直し」も
定期的には作り直す
必要があるニヤン



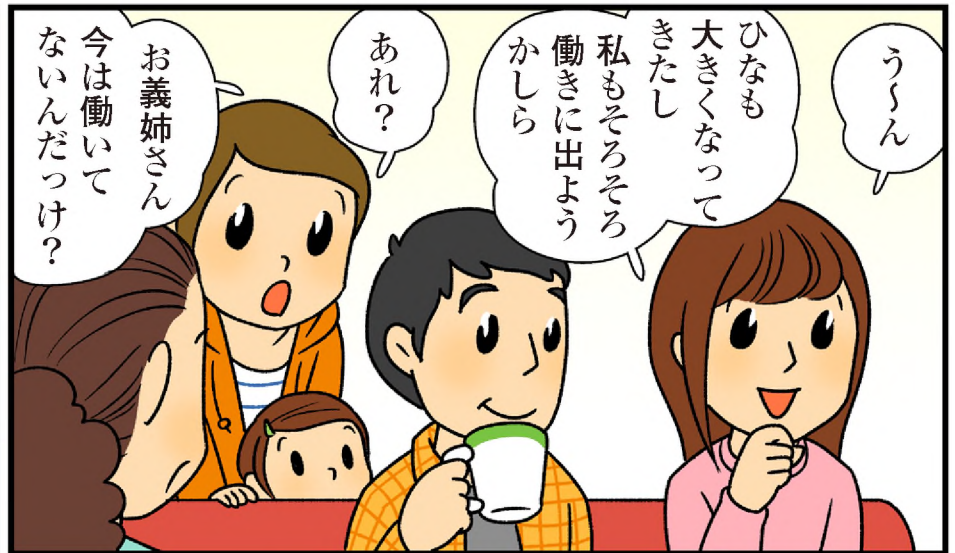
A.07 これ以上保険料水準は上げないことにしている。そのかわり、給付額の伸びを少しずつおさえる仕組みが導入された。収入(と積立金)の範囲でどれだけの年金を支払える見通しかを定期的に確認している。

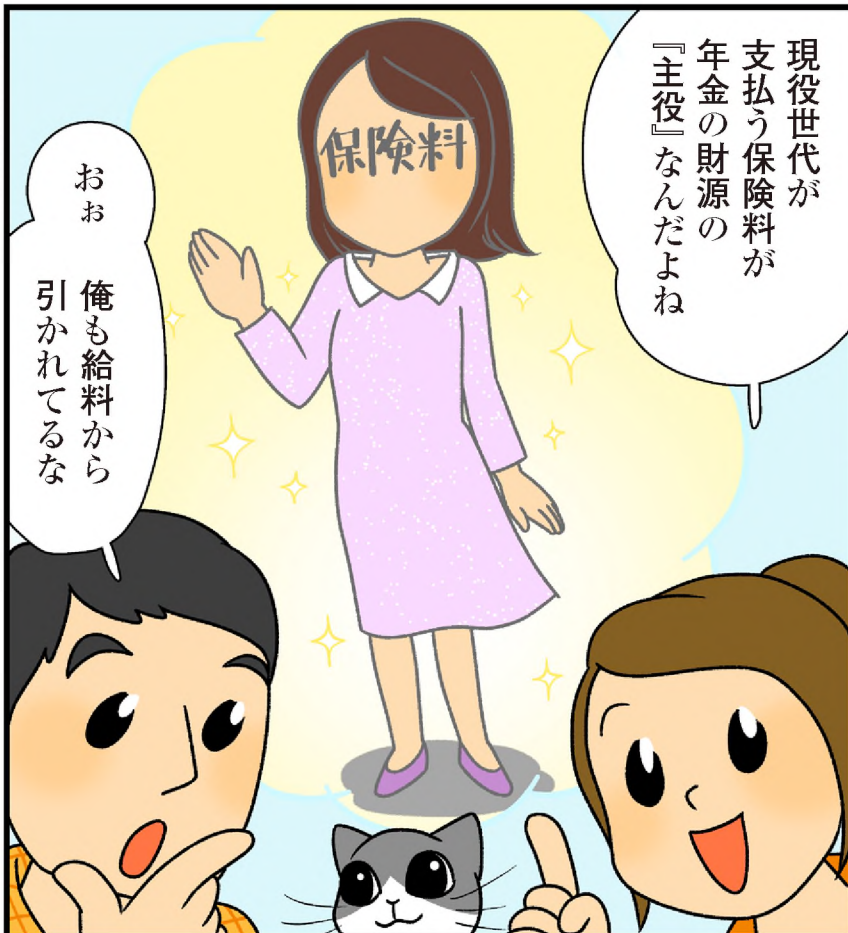
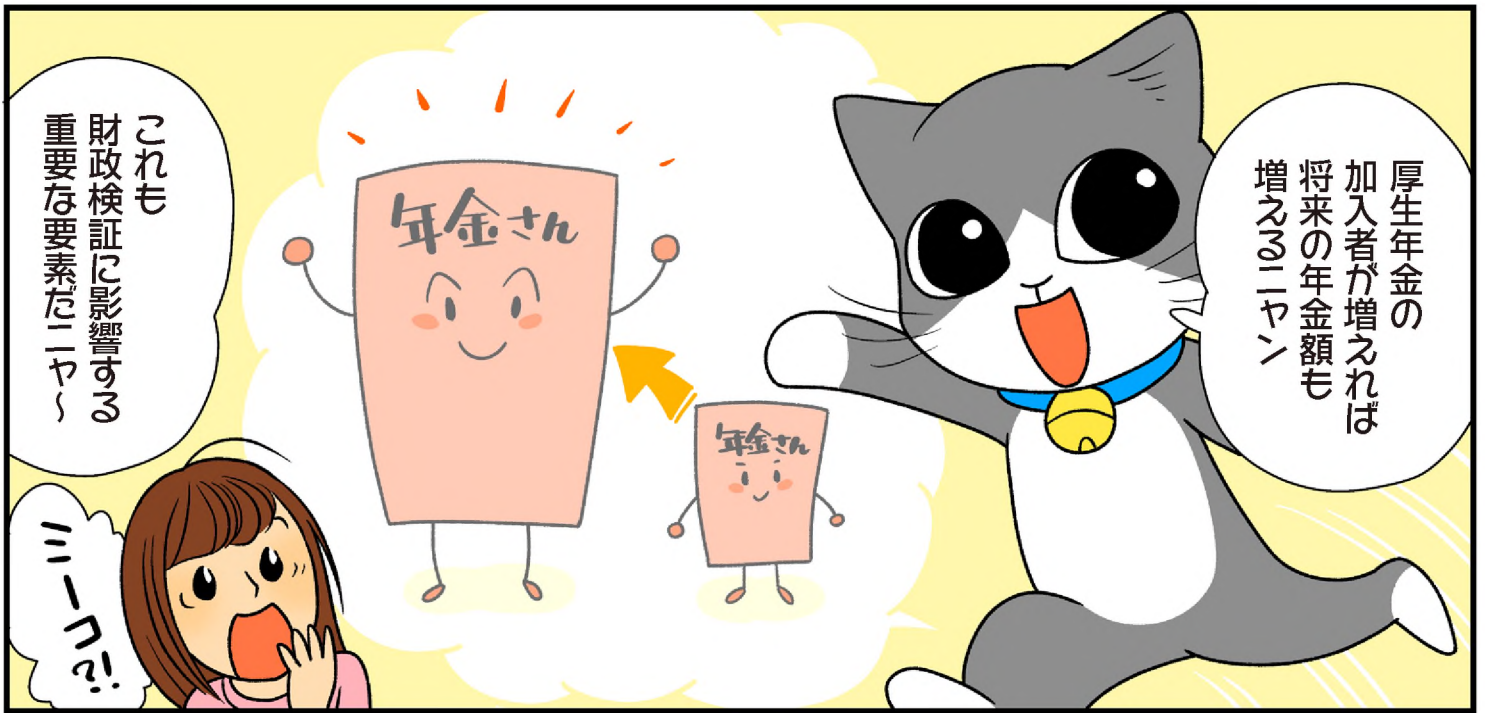




Q.08

どんな未来になれば、私たちが 受け取る年金はより充実するの？





※詳しくは別の話を参照

※イメージは厚生年金保険のもの。国民年金の保険料は、収入にかかわらず定額(賃金スライドあり)であるが、公的年金の保険料全体に占める割合は約3%程度(2020年度)である。

その『主役』の保険料がどれくらいにふるかは「人口」「労働力」「経済」の3つの要素で大きく変わってくるニヤ

※

人口の見通し × 経済の見通し × 保険料率(上限固定)

被保険者数(保険料を払う人) 労働力の見通し × その時点での賃金

保険料収入の見通し

「人口」は現役世代が増えれば保険料も増えるから年金の財政に影響するのはわかるんだけど「労働力」って何？

「労働力」というのは働く人の数のことだニヤ

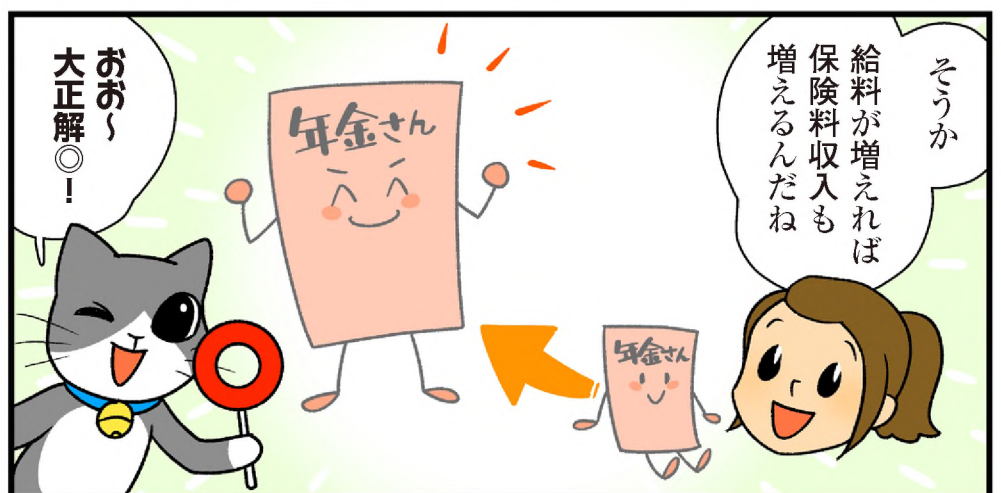
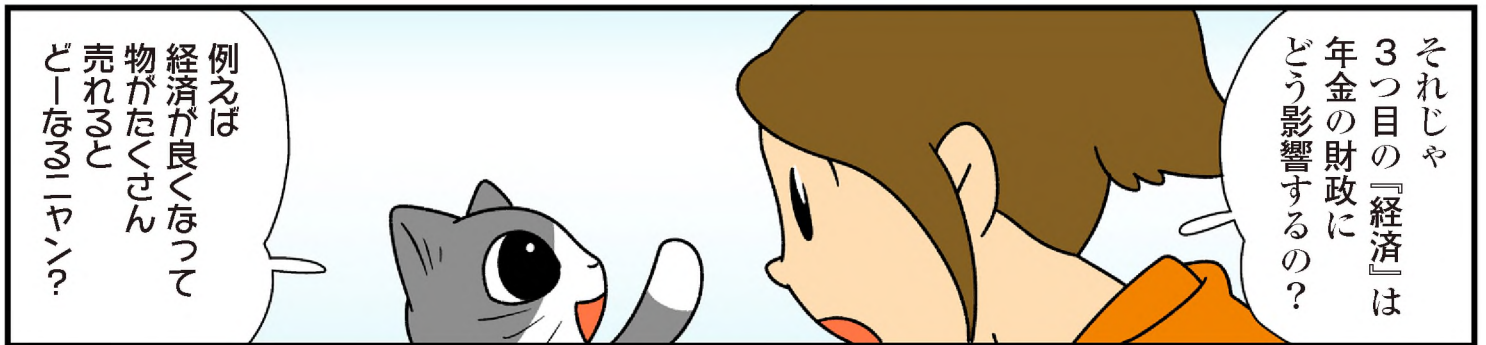
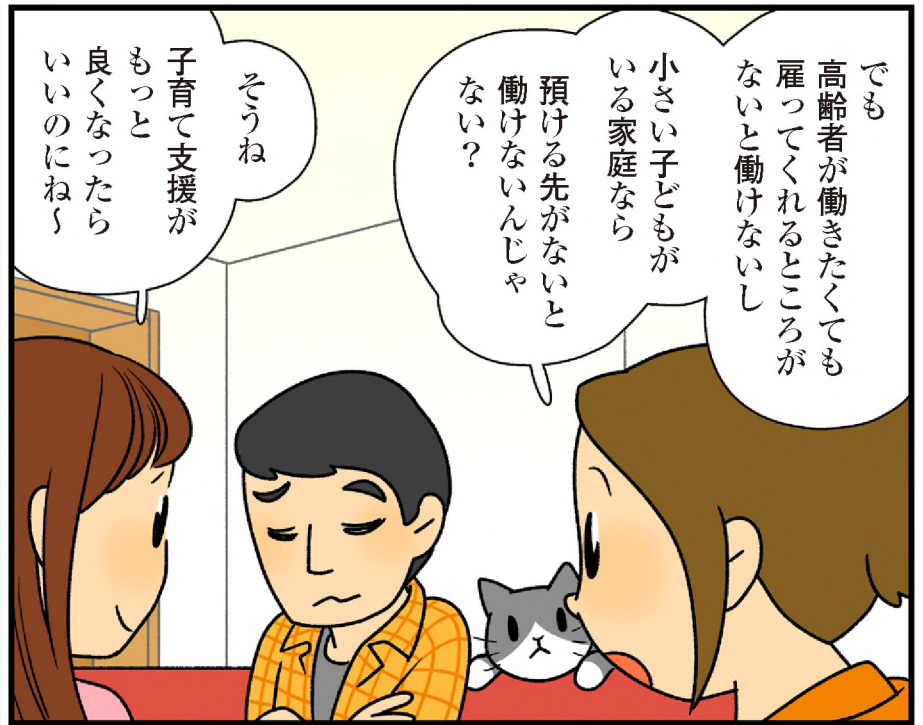
私の友達でも働いている人は多いかも

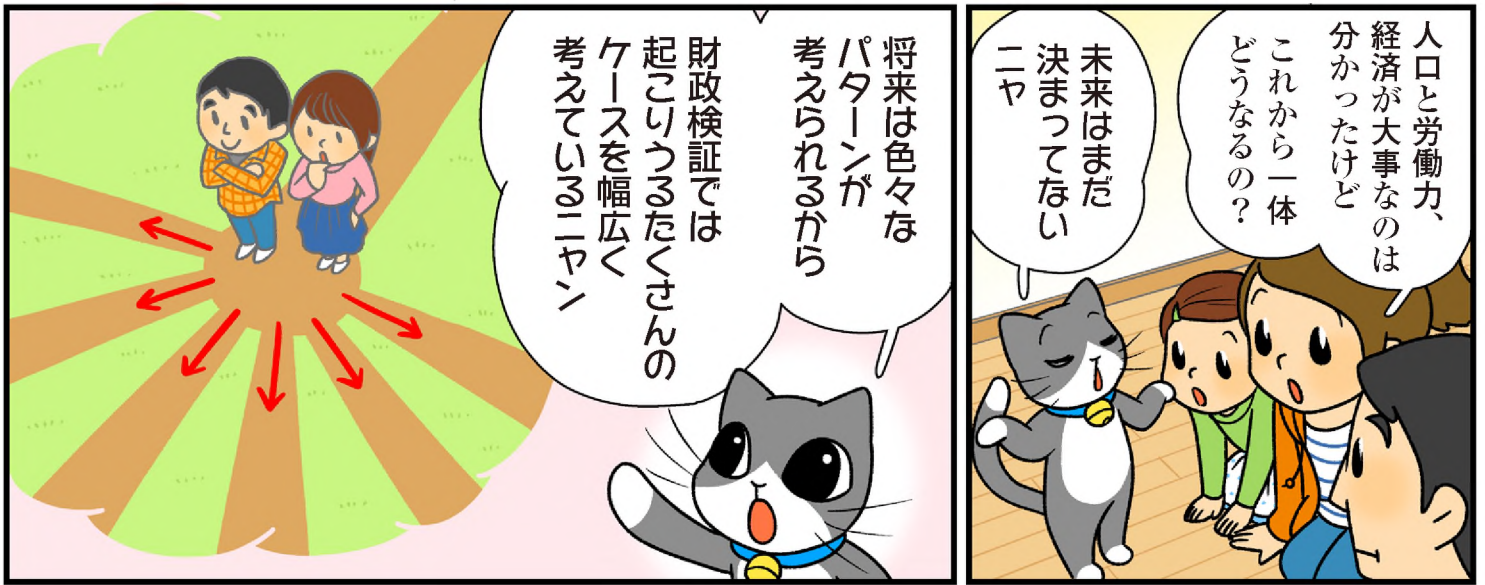
確かに昔に比べて働く高齢者や女性は増えたわよね

例えば現役世代が減ったとしても仕事をしていたなかった高齢者や女性が働くようになって働く人数が減らなければ保険料収入も維持できるニヤ

賃金

保険料



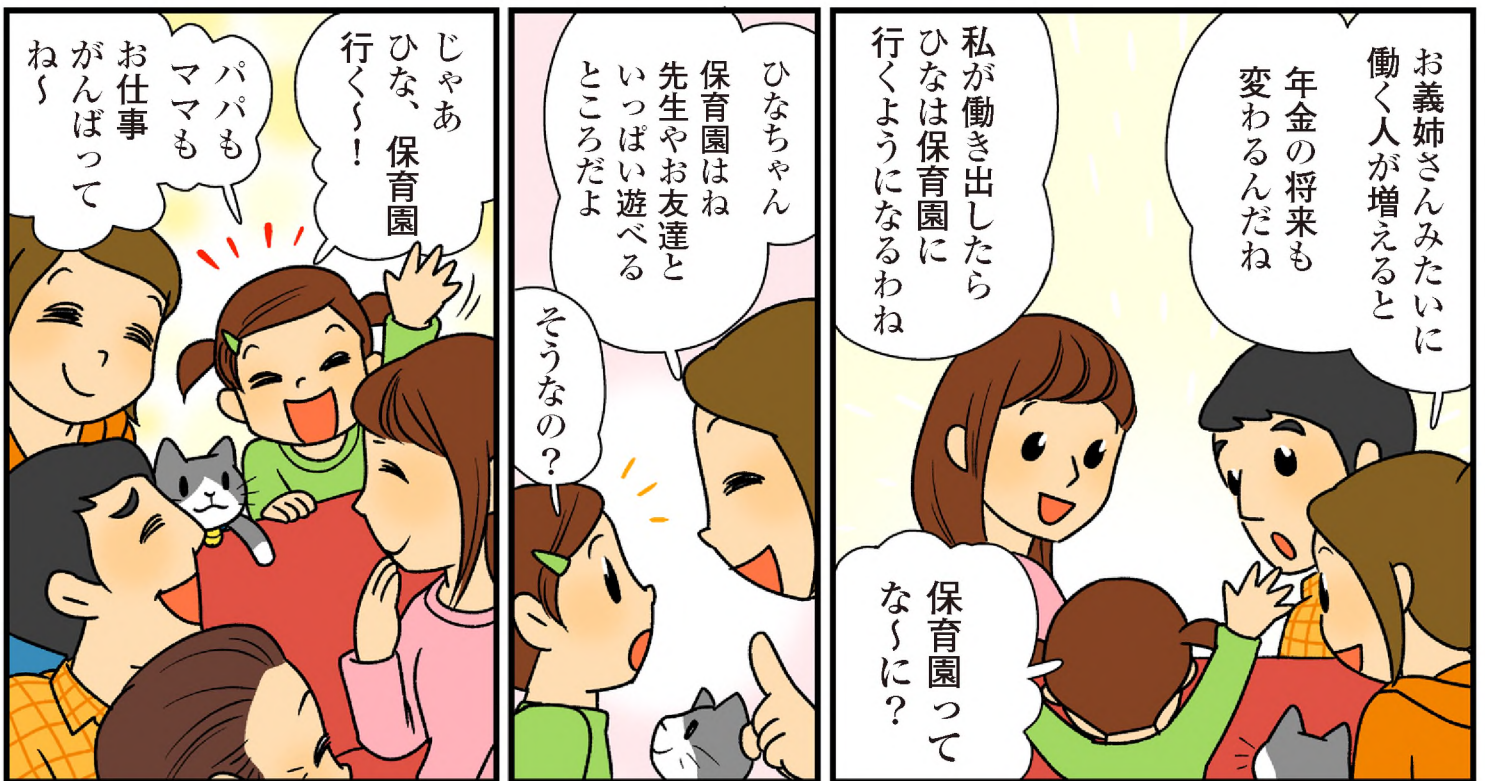


将来は色々なパターンが考えられるから
財政検証では起こりうるたくさんケースを幅広く考えているニヤニヤ

人口と労働力、経済が大事なものは分かったけどこれから一体どうなるの？
未来はまだ決まってないニヤ



だから結果も幅広くとらえる必要があるニヤニヤ
大切なのはどのパターンが当たったとかではニヤニヤ
今後どのような方向に進むべきか考えて必要な対策をとっていくことだニヤニヤ



お義姉さんみたいに働く人が増えると年金の将来も変わるんだね

私が働き出したらひなは保育園に行くようになるわね

ひなちゃん保育園はね先生やお友達といっぱい遊べるところだよ

じゃあひな、保育園行く〜！

パパもママもお仕事がんばってね〜

保育園ってな〜に？

そうなの？

A.08

より多くの人働き、経済を成長させれば、私たちが受け取る年金も増える。





Q.09

財政検証では、将来の年金の何をチェックしているの？



いろいろ調べてみると理解できるところもあってきたんだよね！



年金のことを何も知らなかったところは、ただ不安しかなかったけど



財政検証っていう定期健診をしているみたいだし！

厚生年金にも加入した方がいいんだってよ

すごいね ゆいちゃん



財政検証は個人がもらえる年金額を調べてるわけじゃないニヤ〜!!



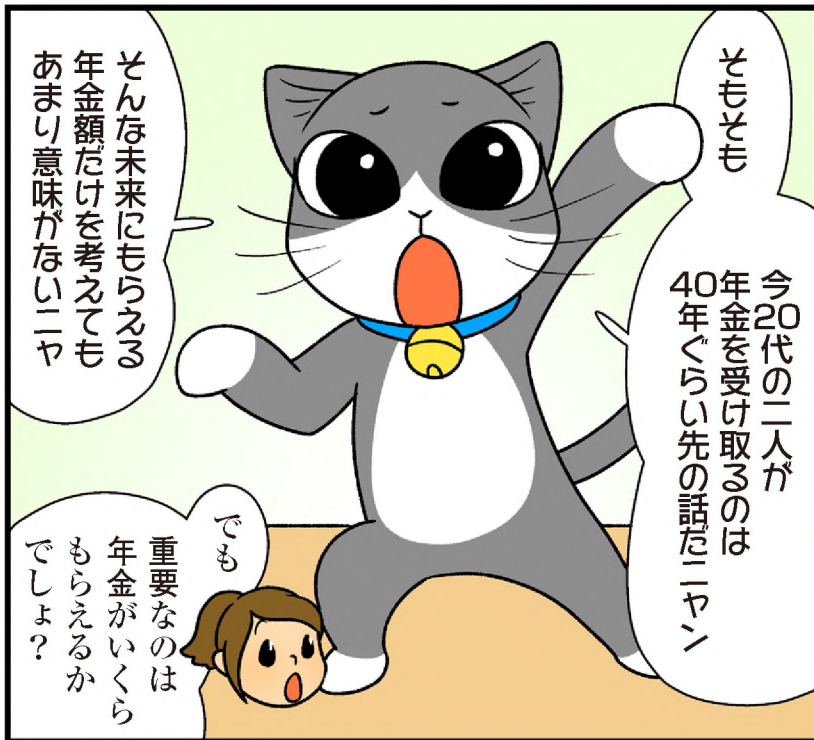
うん…いくらだろう？



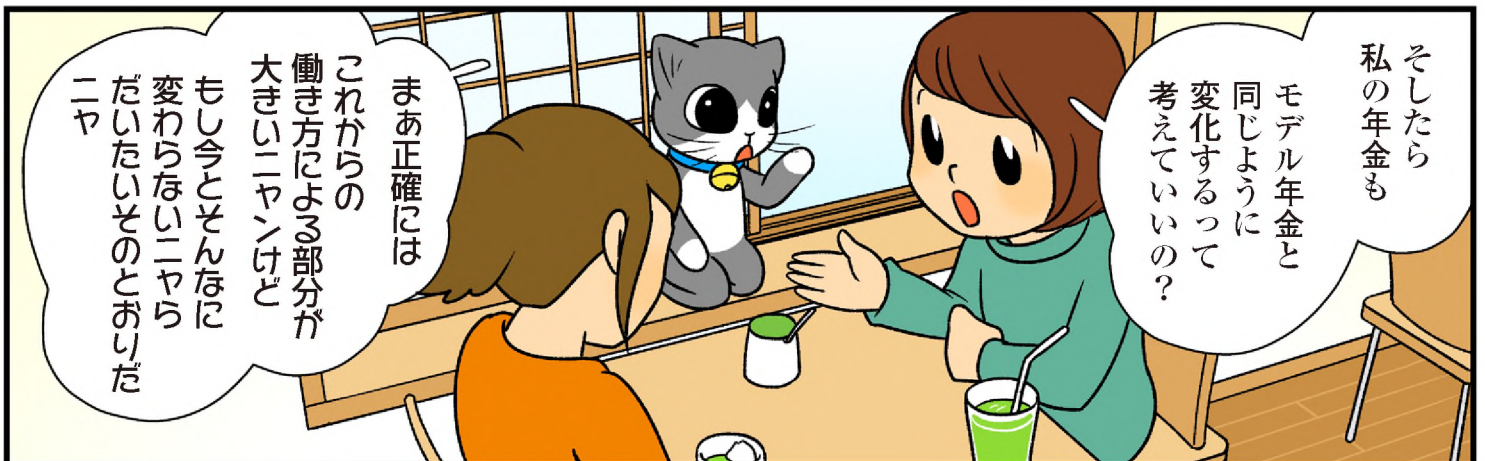
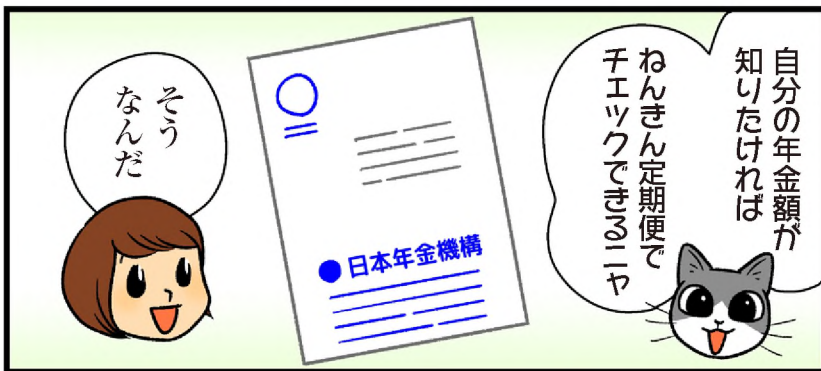
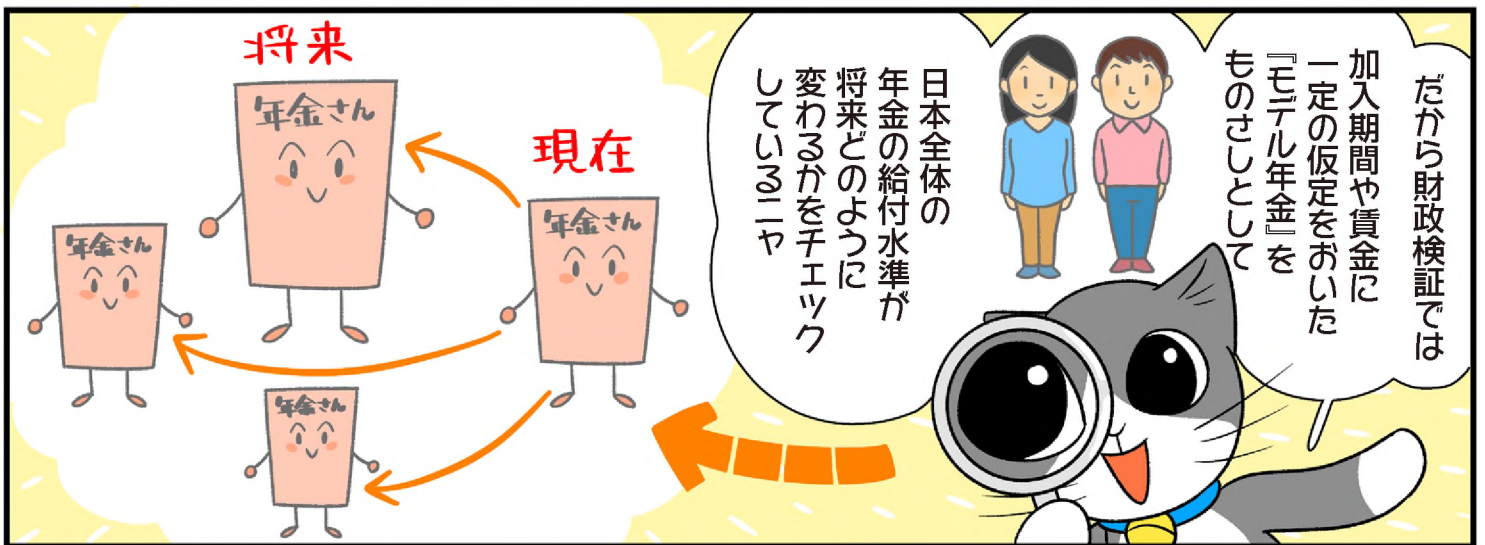
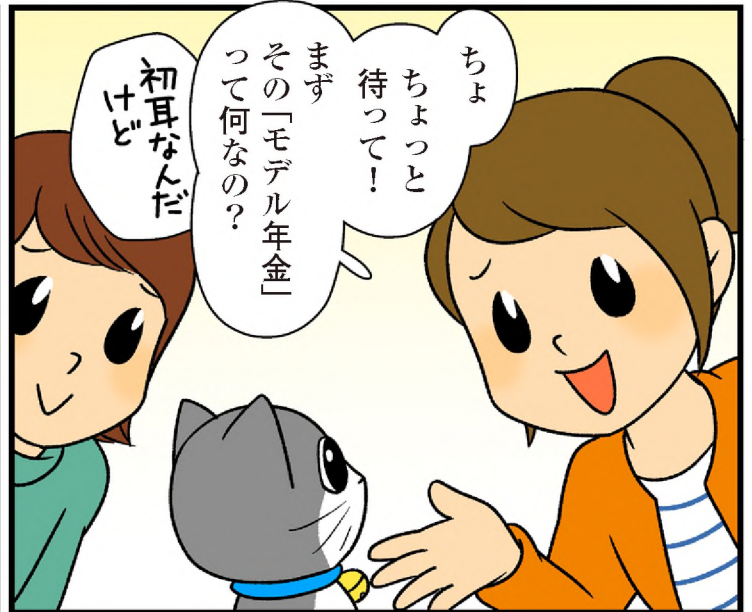
もしかしてその財政検証で私の年金額も分かるのかな？

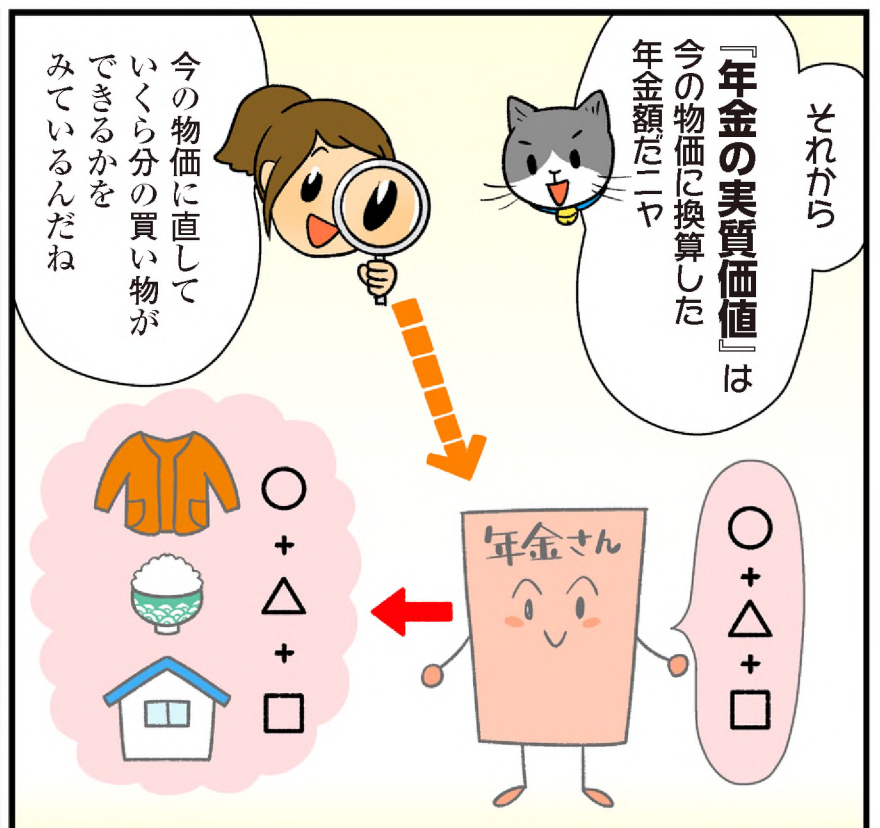
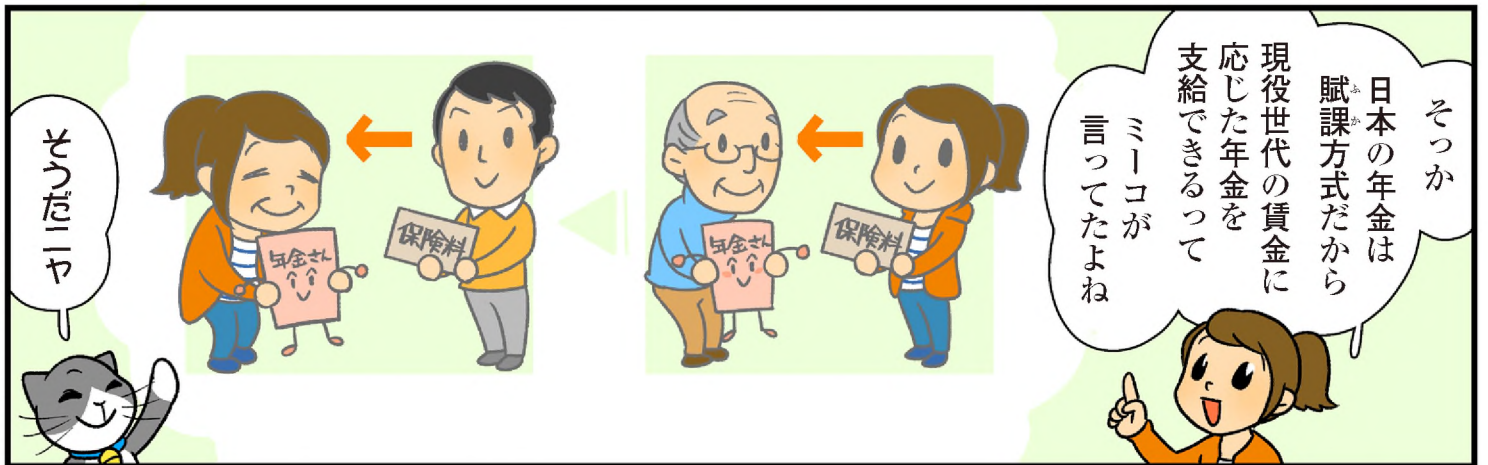
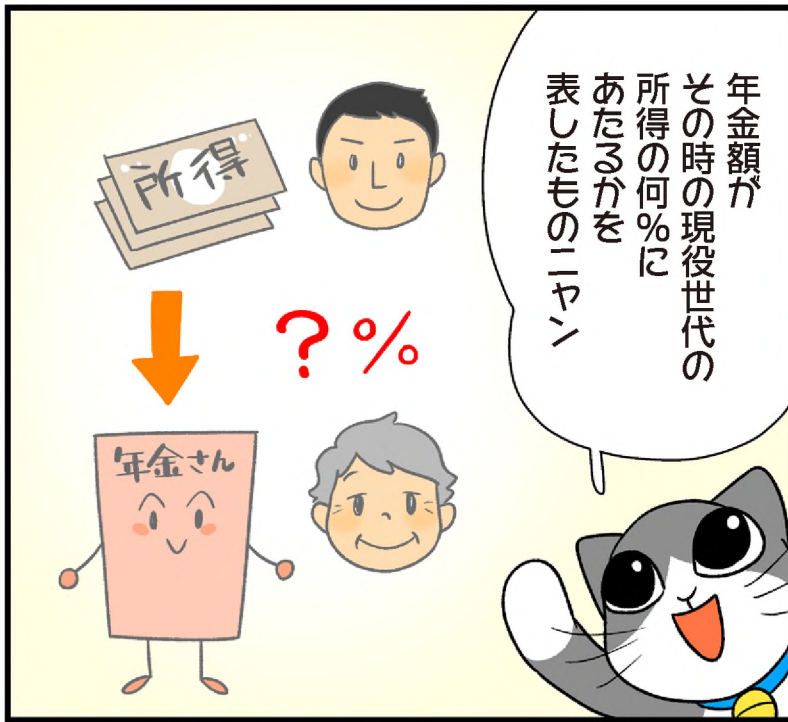
い…いくら!?

※詳しくは4、7話を参照



※詳しくは別話を参照





※詳しくは口話を参照

所得代替率が変わらなくても…

現役世代の賃金

もらえる年金額

『賃金の実質価値』
つまり
「今の物価に換算した賃金」が
上昇すれば

所得代替率が変わらなくても
『年金の実質価値』は上昇
するんですよニャ

現役世代の賃金も
将来は変わって
いくニャー!

結局
その『所得代替率』と
『年金の実質価値』は
将来どうなるの？

で

二人とも
大正解!!

そっか
『年金の
実質価値』は
今の物価に
直したら年金額は
どのくらいになるか

『所得代替率』は
そのときの
現役世代の所得
(≠生活水準)
と比べた
相対的な水準は
どのくらいかを
見ているんだね

0%

やっぱり
少子高齢化で
下がるのかな？

次の話で
説明する
ニャー

※詳しくは10話を参照

A.09

財政検証では、将来の年金額がその時の現役世代の所得の何%を示す「所得代替率」と、将来の年金額を現在の物価に換算した「年金の実質価値」、この2つをチェックしている。





Q.10

少子高齢化が進んだら将来の「所得代替率」や「年金の実質価値」はどうなるの？

※所得代替率については別の話を参照

ねえミーコ
所得代替率って
どのくらい
下がるの!?

所得
↓
?%
年金

財政検証の結果を見ると

少子高齢化で
所得代替率が
下がるみたい
だね

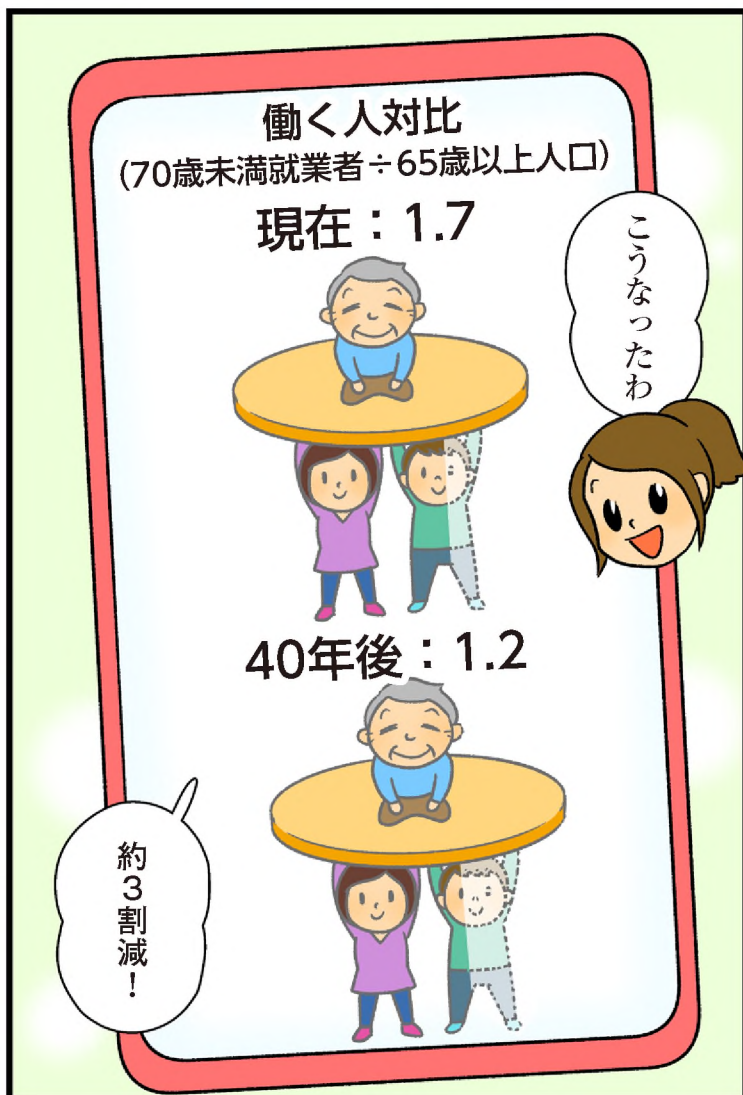
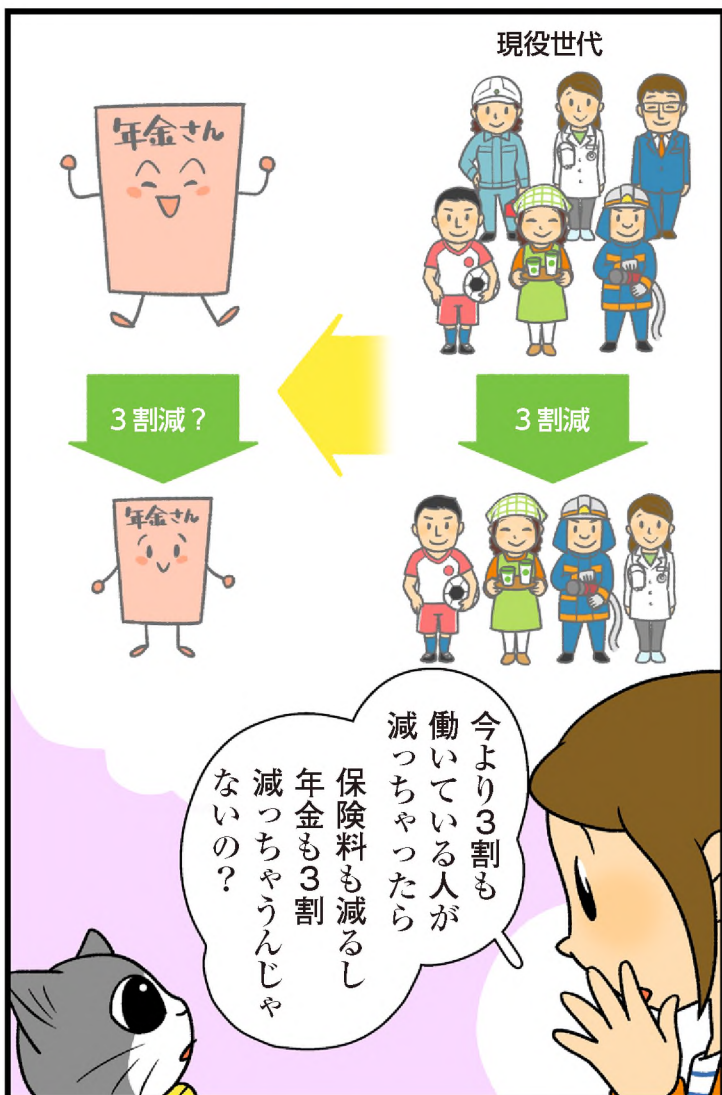
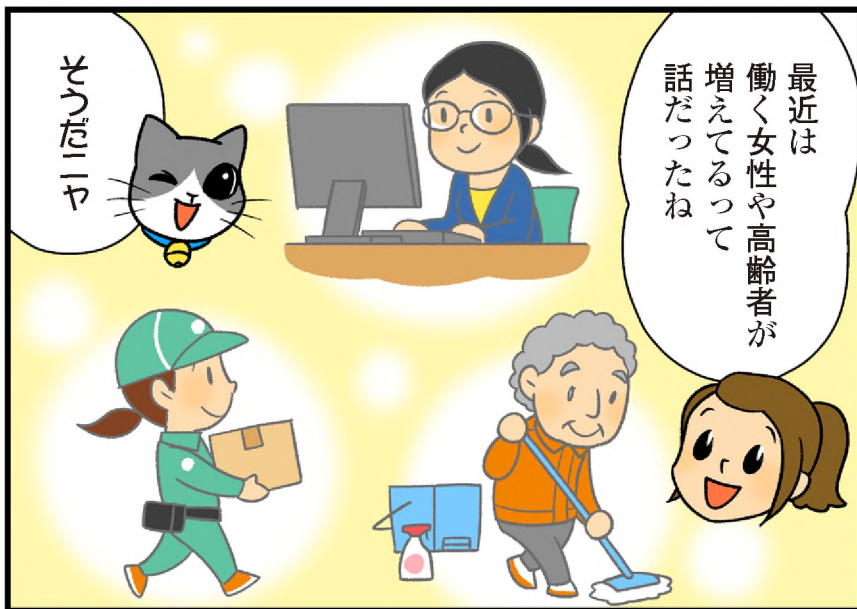
人口比
(20~60歳 ÷ 65歳以上)
現在：1.7

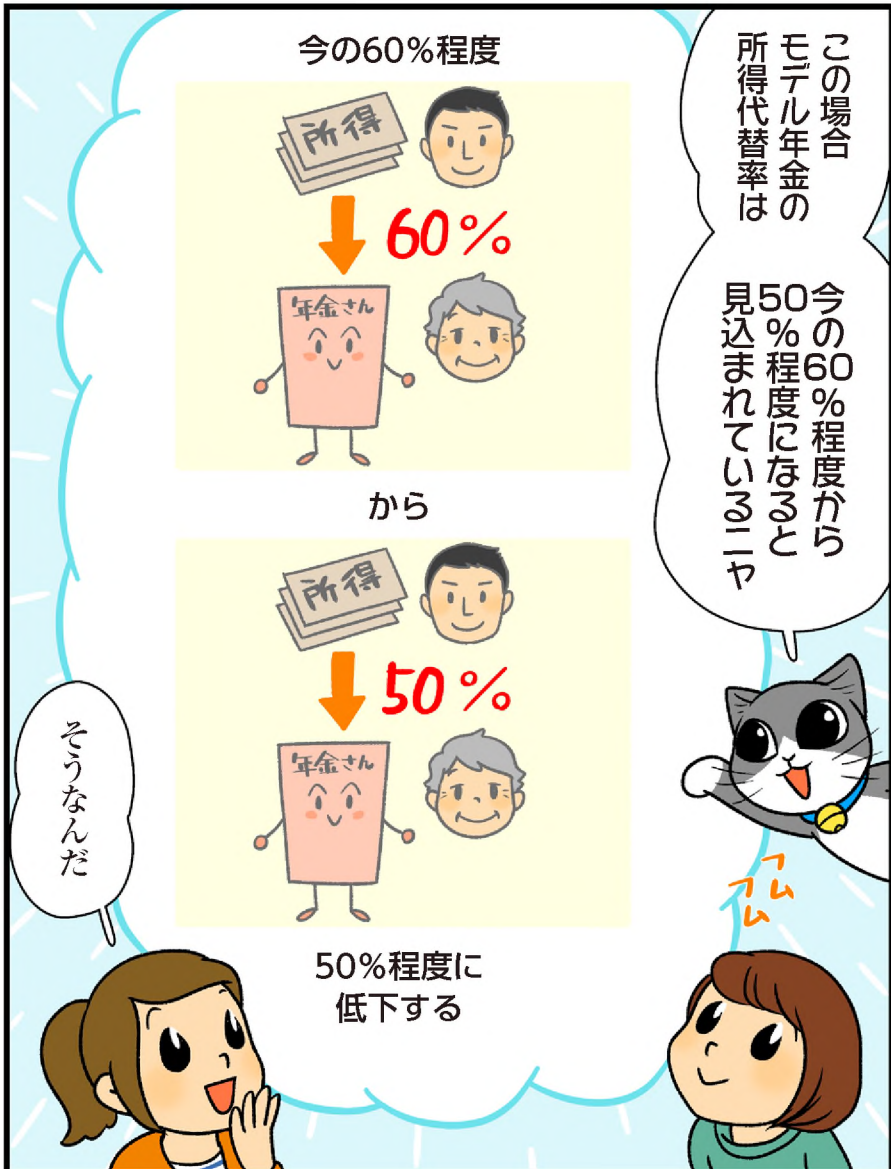
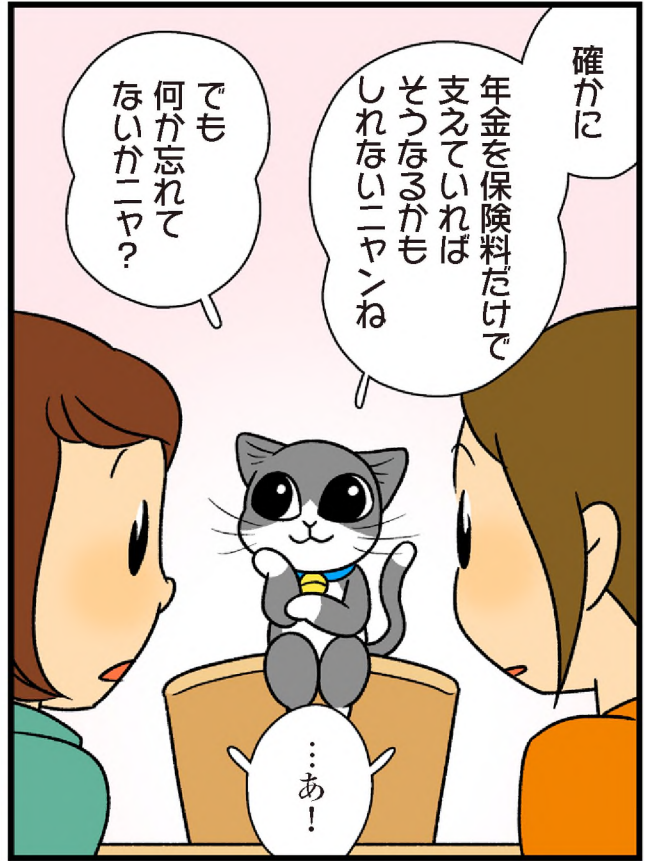
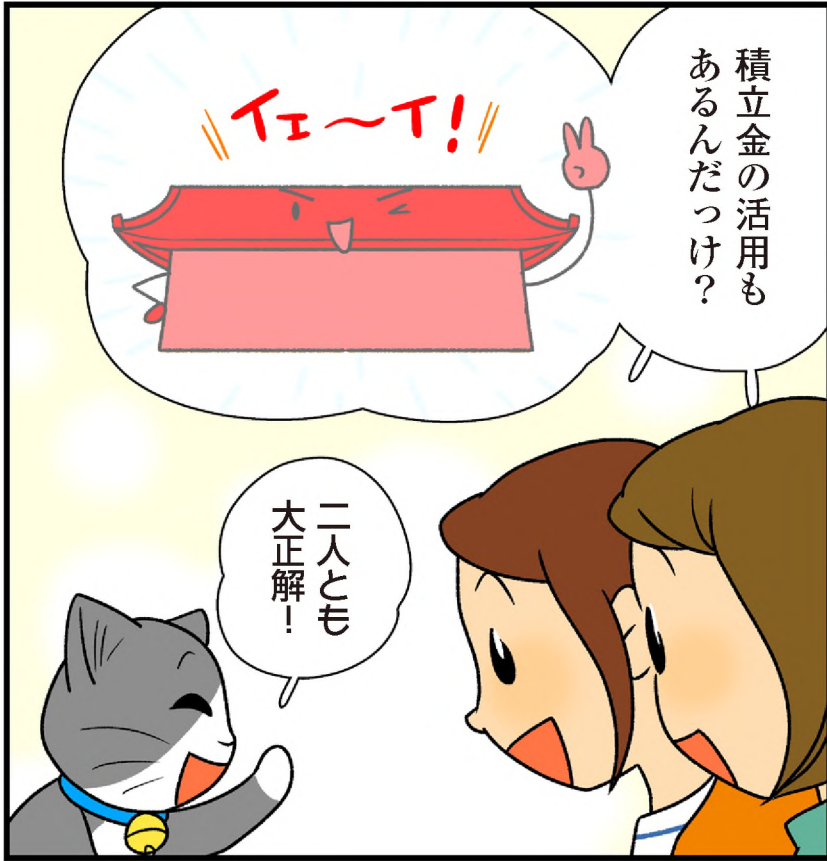
40年後：1.1

計算すると
こうなる
ニヤン!

じゃあ
少子高齢化に
注目して
所得代替率の
将来の見通しを
見てみるニヤン!

まずは
現役世代が何人で
1人の高齢者を
支えることになるかを
調べてみるニヤン!







年金の
実質価値は
どうなるの？

将来の所得代替率は
約2割減で
済みそうなことは
分かったんだけど

少子高齢化が
進んでも

所得代替率が下がっても…

年金さん ← 所得

年金 ↓ アップ 賃金 ↓ アップ

年金さん ← 所得

年金 ↑ アップ 賃金 ↓ アップ

となる場合も

所得代替率は
あくまで
現役世代の
所得に対する
相対的な割合だ
ニヤン

だから
現役世代が豊かになって
実質賃金^{*}が上がれば
所得代替率は
下がっても
年金の実質価値は
維持されたり
上がったたりすること
もあるニヤン

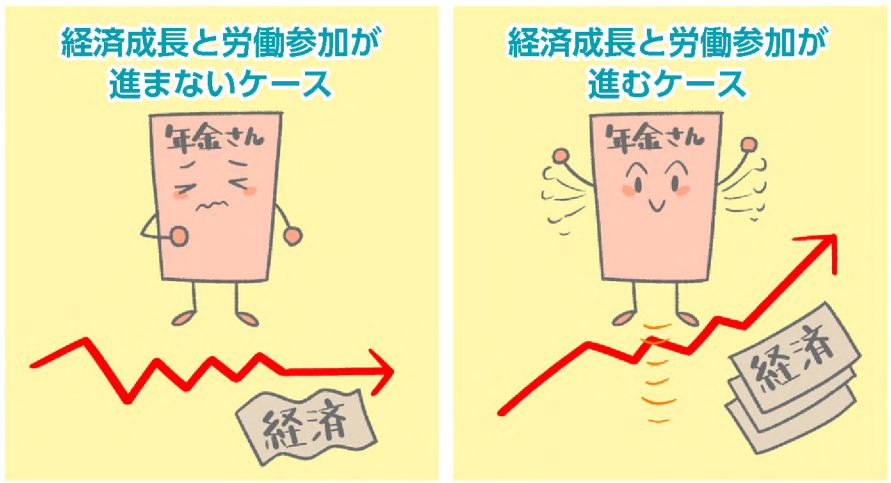
※物価の変動を考慮した賃金のこと



ちなみに
財政検証の試算では
どうなってるの？



なるほど
現役世代の
賃金次第
なのか



などなど…



財政検証では
色々なケースを
想定していて
それぞれのケースでの
試算結果を示している
ニヤン



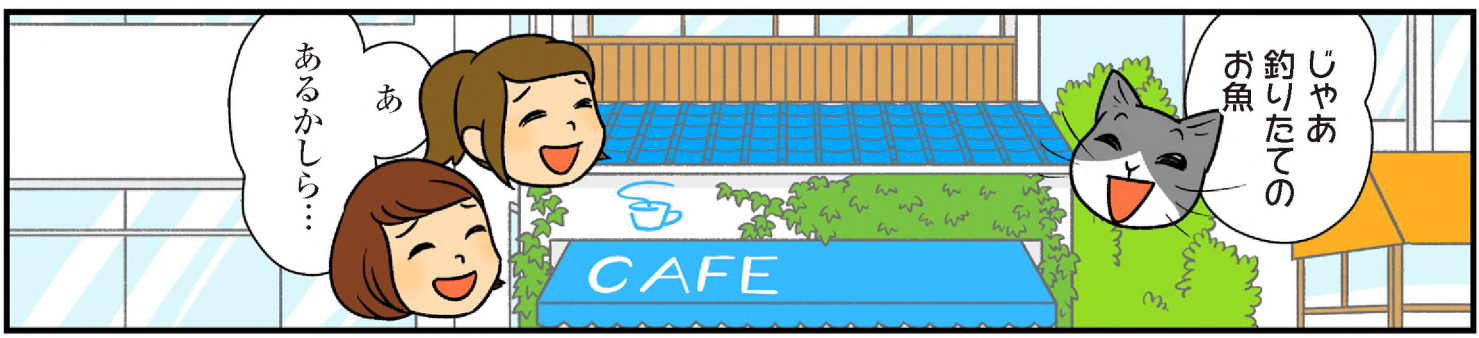
勉強に
なったら

ミーコ
好きなの
注文して
レクチャー代よ



そうだ
ニヤン!

つまり
経済が成長して
より多くの人が
働ける社会を
作っていきけるかが
カギってことね



あ
あるかしら…

じゃあ
釣ってたの
お魚

A.10

「所得代替率」は、経済成長と労働参加が進む場合、2割程度の低下にとどまる見通し。「年金の実質価値」は、現役世代の実質賃金が上がれば、維持されたり上がったりすることもある。

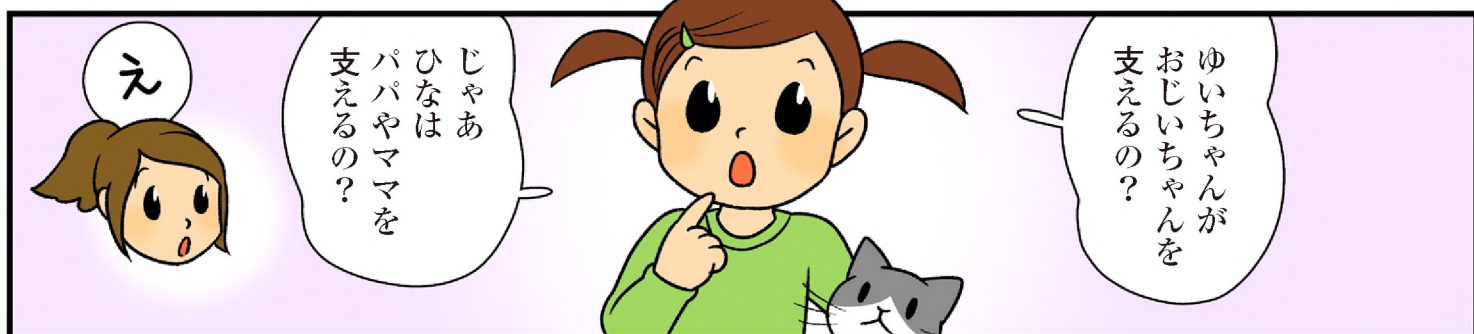
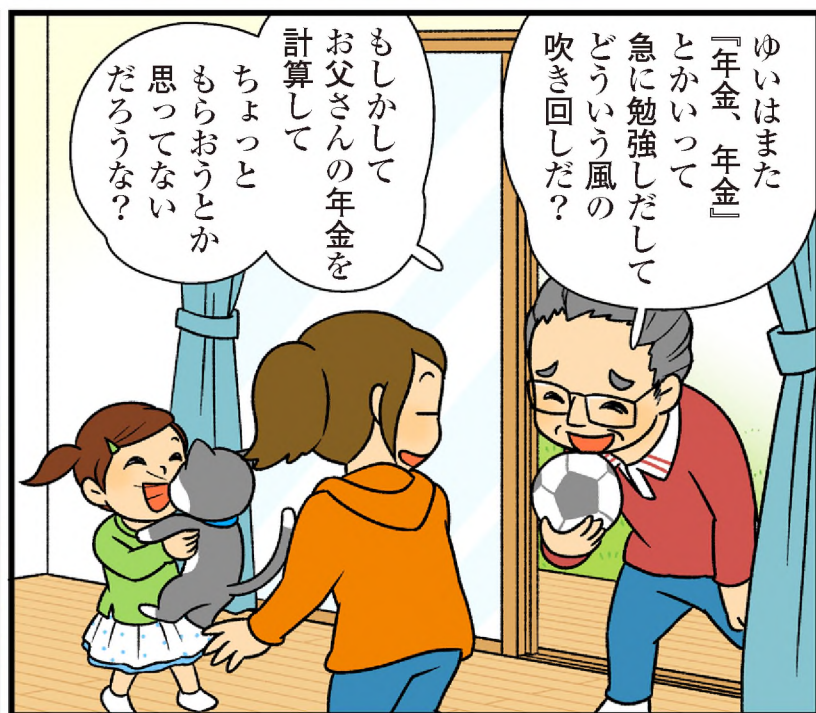
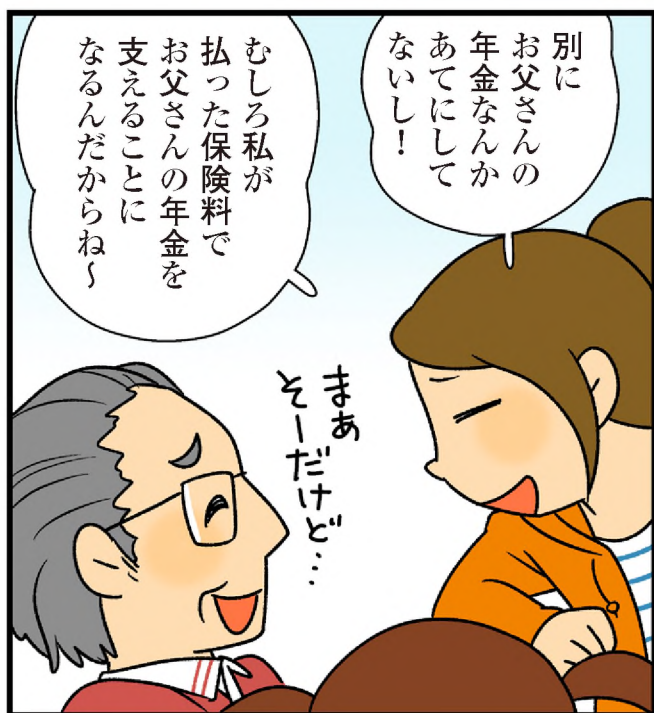
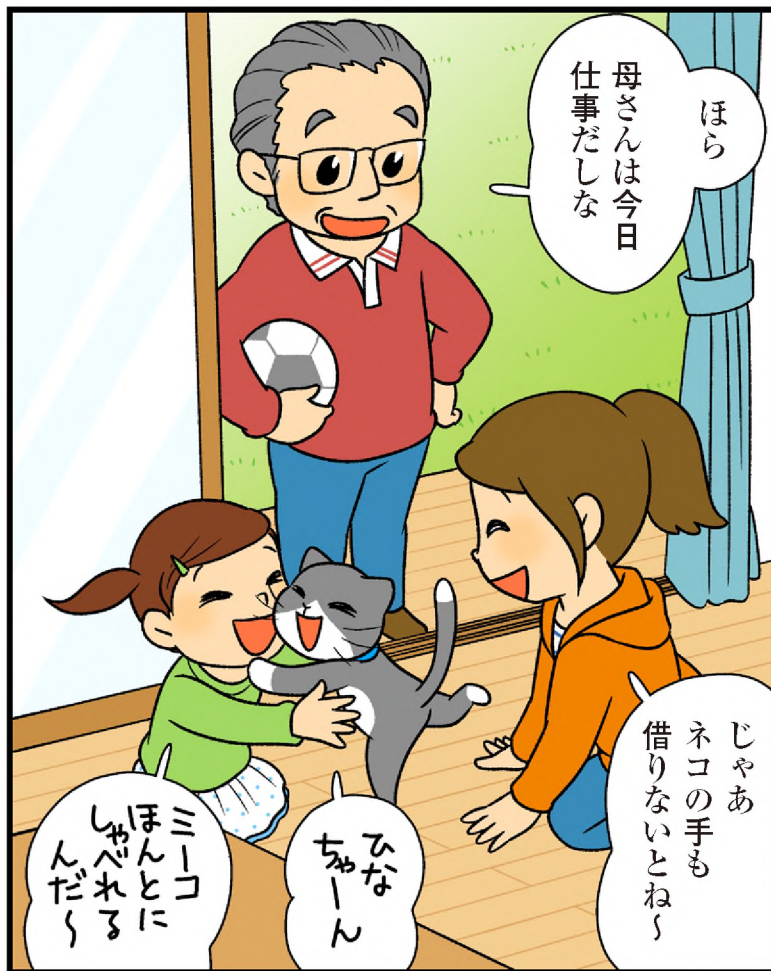




Q.11

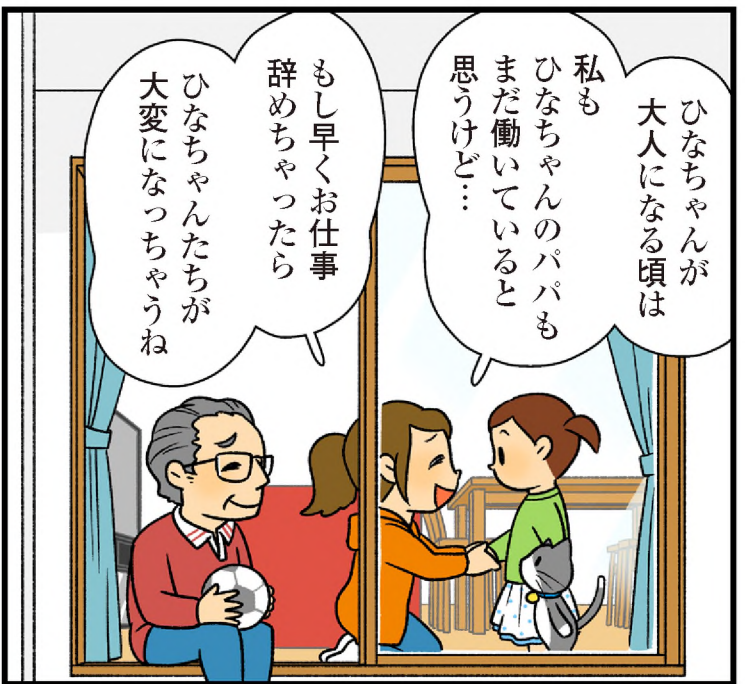
年金制度を支えるために、現役世代はもっと働かなきゃいけないの？





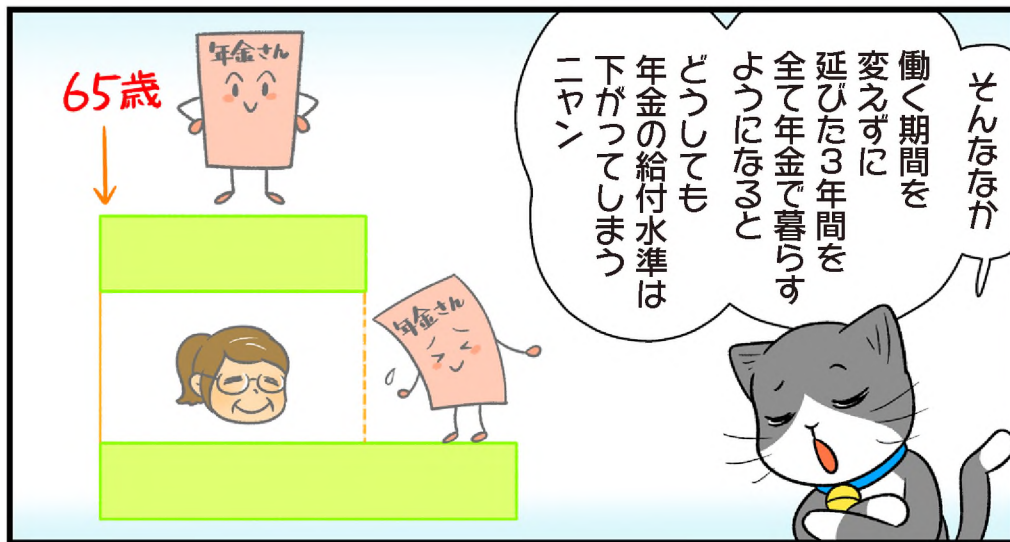


長く働くことは
より若い世代と一緒に
高齢化した社会を
支えていくためにも
重要なんだニヤ



ひなちゃんが
大人になる頃は
私も
ひなちゃんのパパも
まだ働いていると
思うけど...

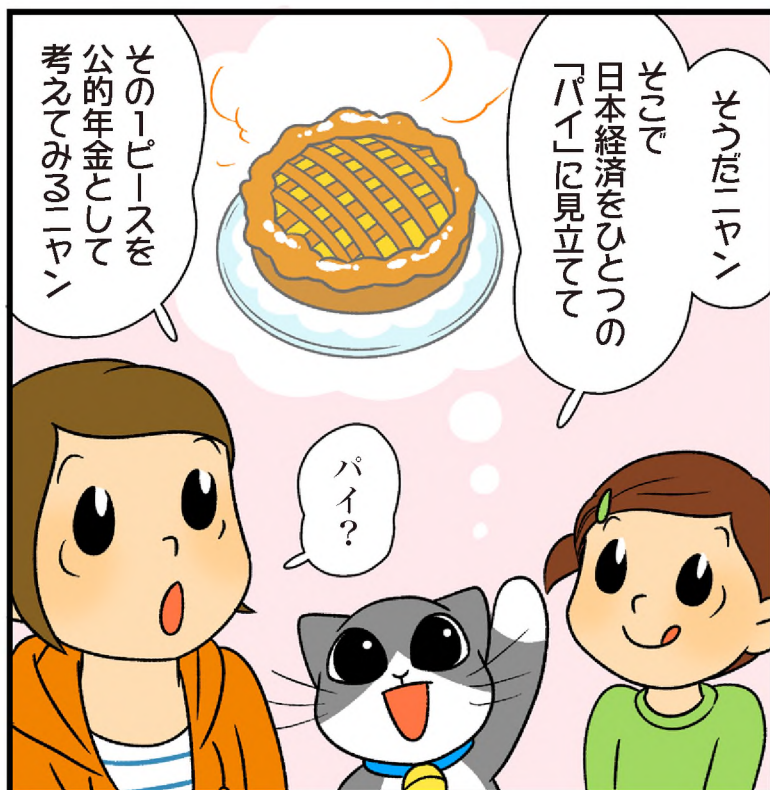
もし早くお仕事
辞めちゃったら
ひなちゃんたちが
大変になっちゃうね



そんななか
働く期間を
変えずに
延びた3年間を
全て年金で喜らす
ようになる
どうしても
年金の給付水準は
下がってしまう
ニヤン



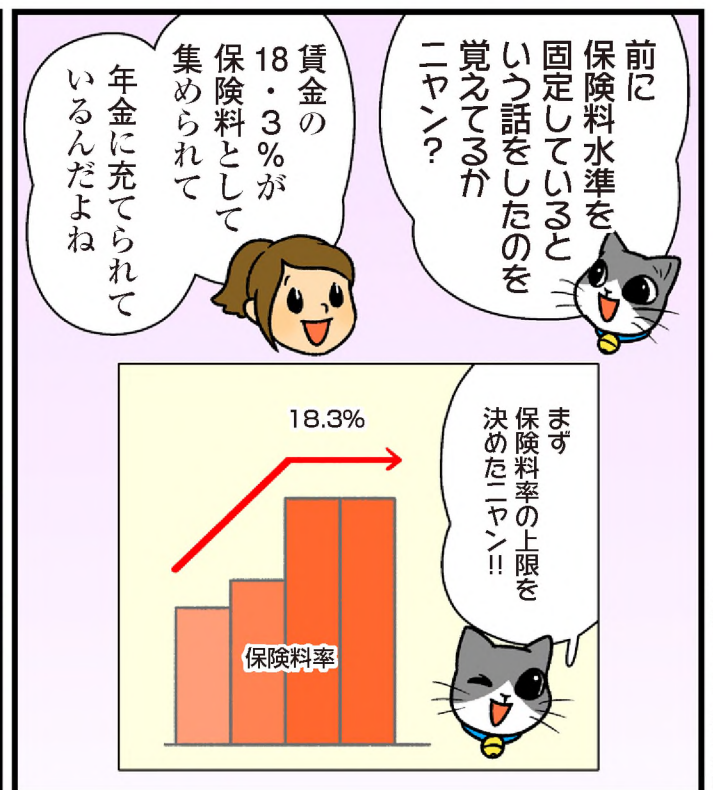
ユイちゃんが
65歳になる
ころ
65歳の余命は
今より約3年
延びる見通しだ
ニヤ



そうだニヤン
そこで
日本経済をひとつの
「パイ」に見立てて

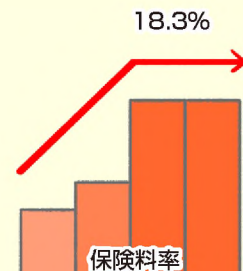
そのピースを
公的年金として
考えてみるニヤン

パイ？

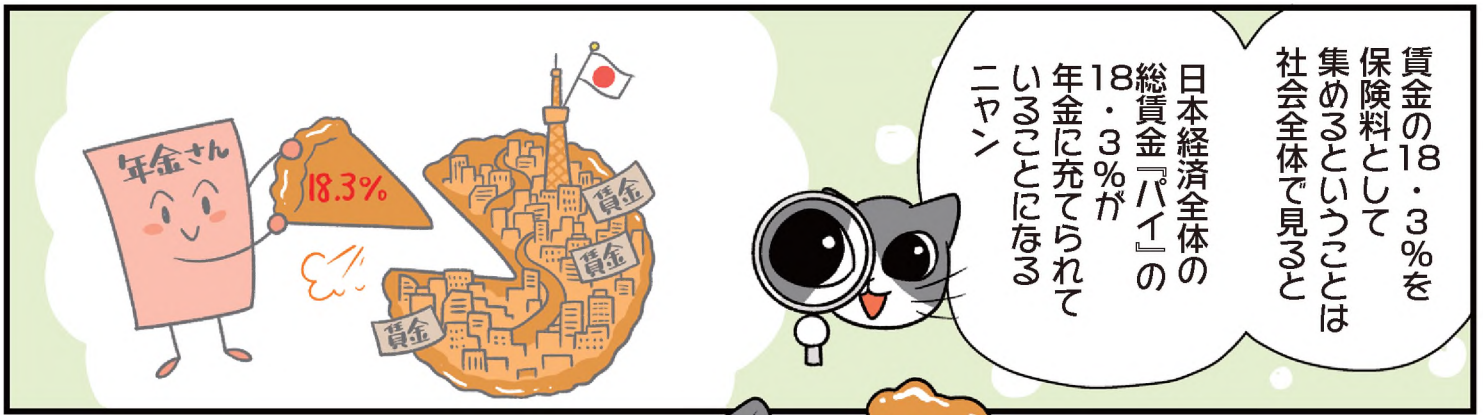


賃金の
18.3%が
保険料として
集められて
年金に充てられて
いるんだよね

前に
保険料水準を
固定していると
いう話をしたのを
覚えてるか
ニヤン？



まず
保険料率の上限を
決めたニヤン!!

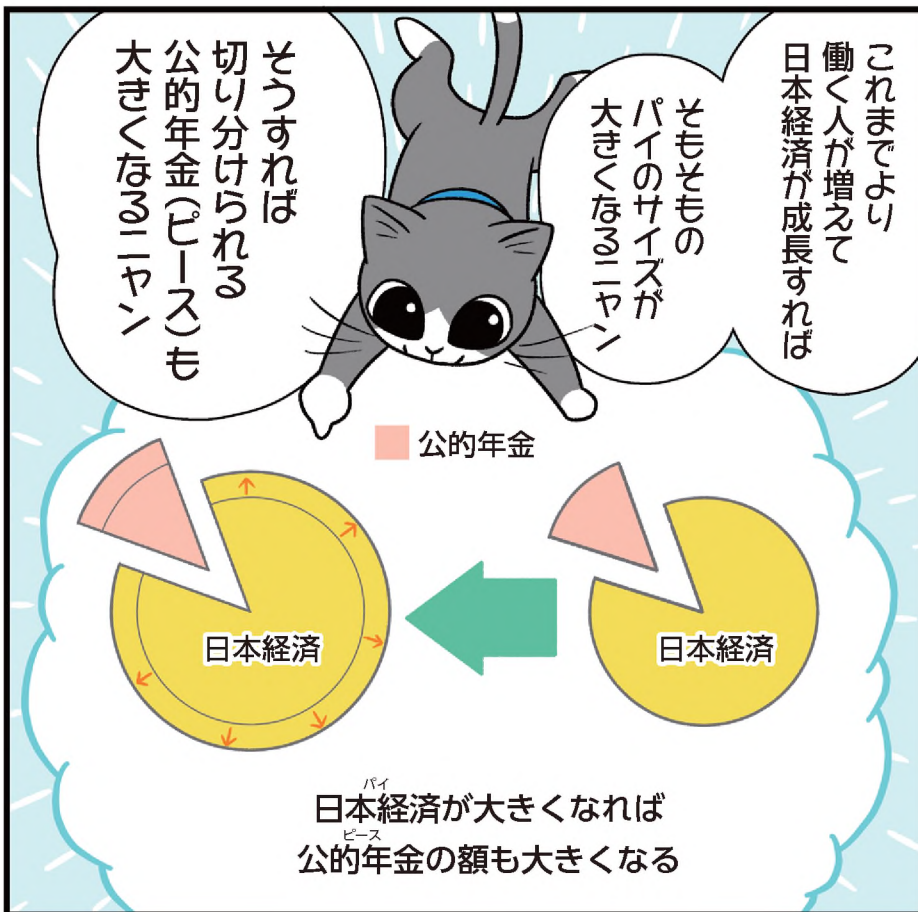


賃金の18・3%を
保険料として
集めるということは
社会全体で見ると
日本経済全体の
総賃金『パイ』の
18・3%が
年金に充てられて
いることになる
ニヤン



つまり
保険料を固定
するってことは
年金に
振り分ける
パイの割合は
1ピース分
変わらず

高齢化が進んでも
若い世代の負担は
これ以上増えない！
とうとうパイ
なニヤン

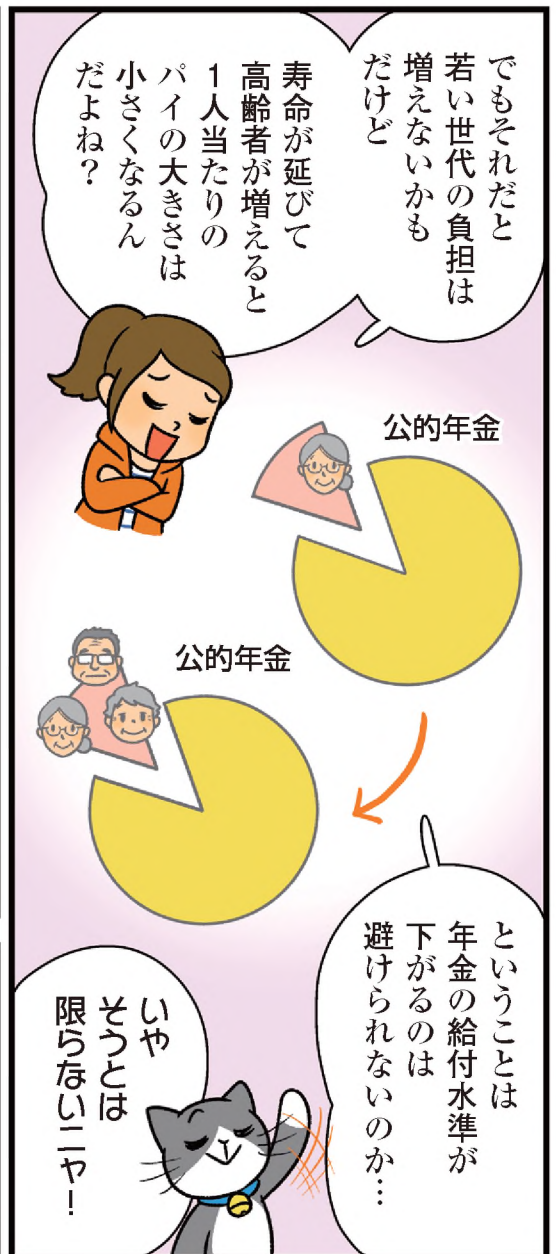


これまでより
働く人が増えて
日本経済が成長すれば

そもそもの
パイのサイズが
大きくなるニヤン

そうすれば
切り分けられる
公的年金(ピース)も
大きくなるニヤン

日本経済が大きくなれば
公的年金の額も大きくなる



でもそれだと
若い世代の負担は
増えないかも
だけど
寿命が延びて
高齢者が増えると
1人当たりの
パイの大きさは
小さくなるん
だよな？

ということは
年金の給付水準が
下がるのは
避けられないのか…

いや
そうとは
限らないニヤ！



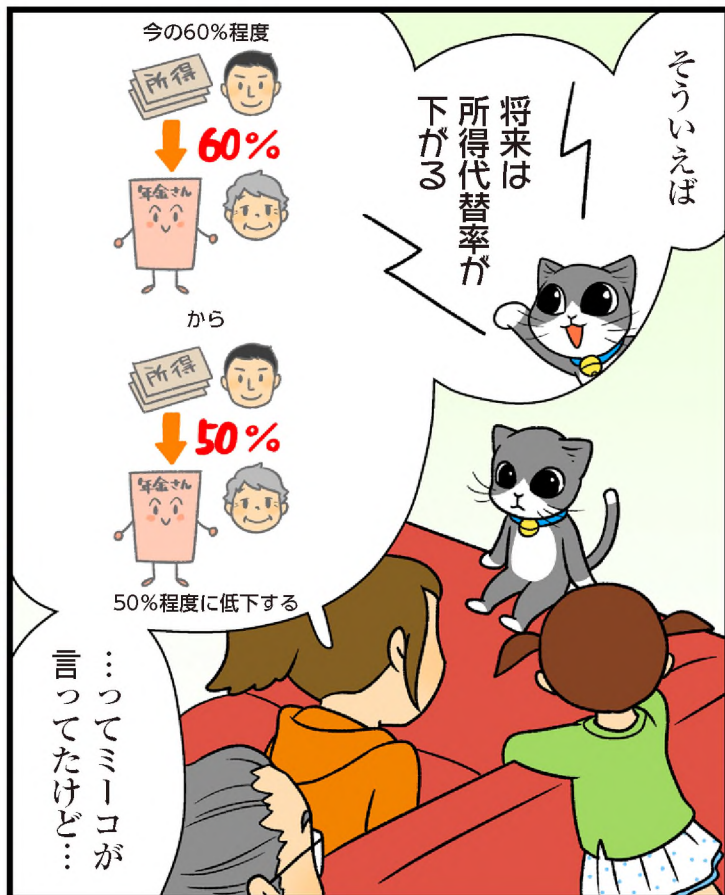


おじいちゃん
おばあちゃん
孫に何か
買ってあげる
こととかも
できなく
なっちゃう
のかな…



それって
私たちが
高齢者になった
ときの年金は

現役世代の
この子たちの
収入に比べると
だいぶ少なく
なっちゃうって
ことだよ



そういえば
将来は
所得代替率が
下がる

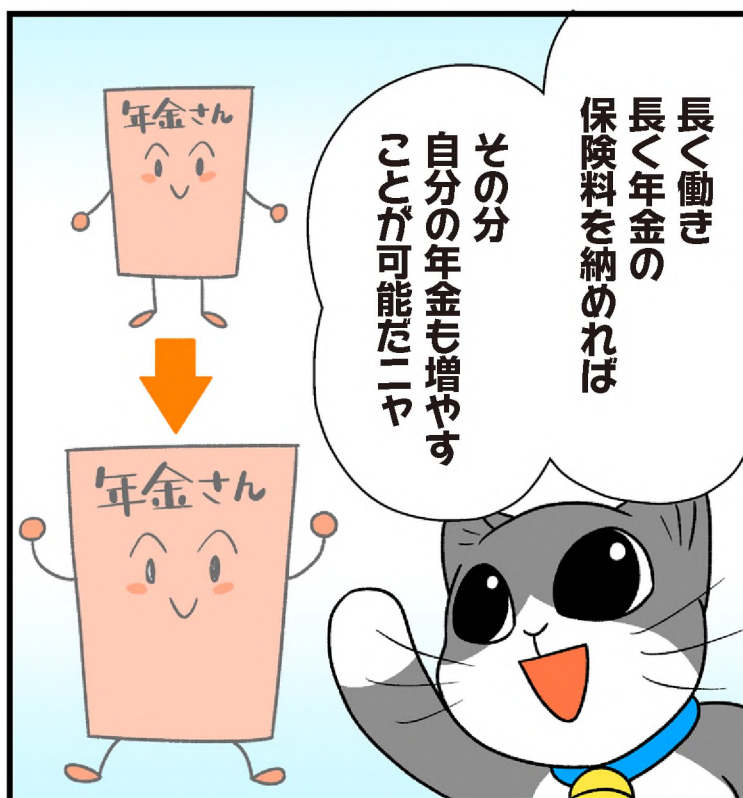
…ってミューコが
言ってたけど…

※詳しくは10話を参照

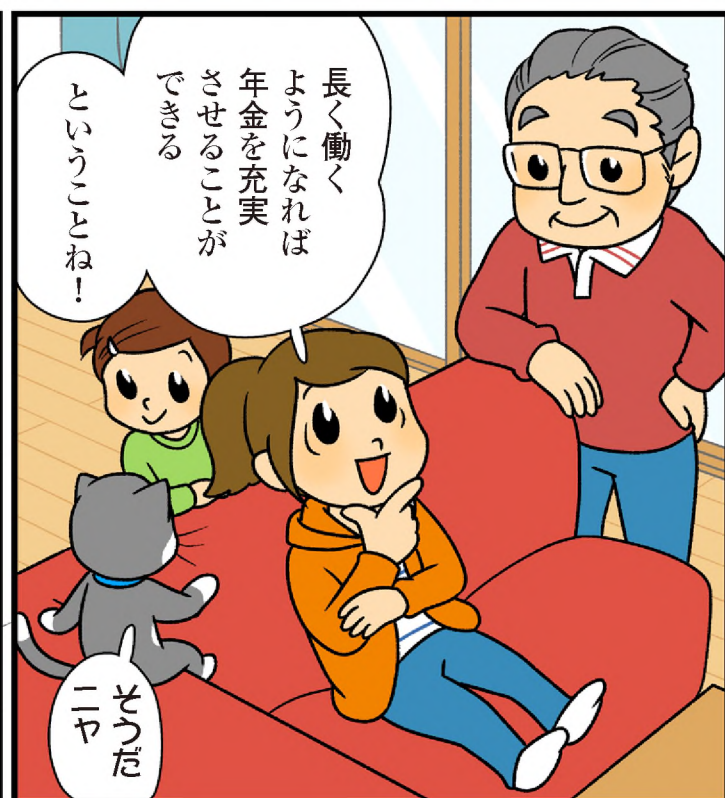


それは
働く期間が
今と変わらない
場合だニヤ!

あ…

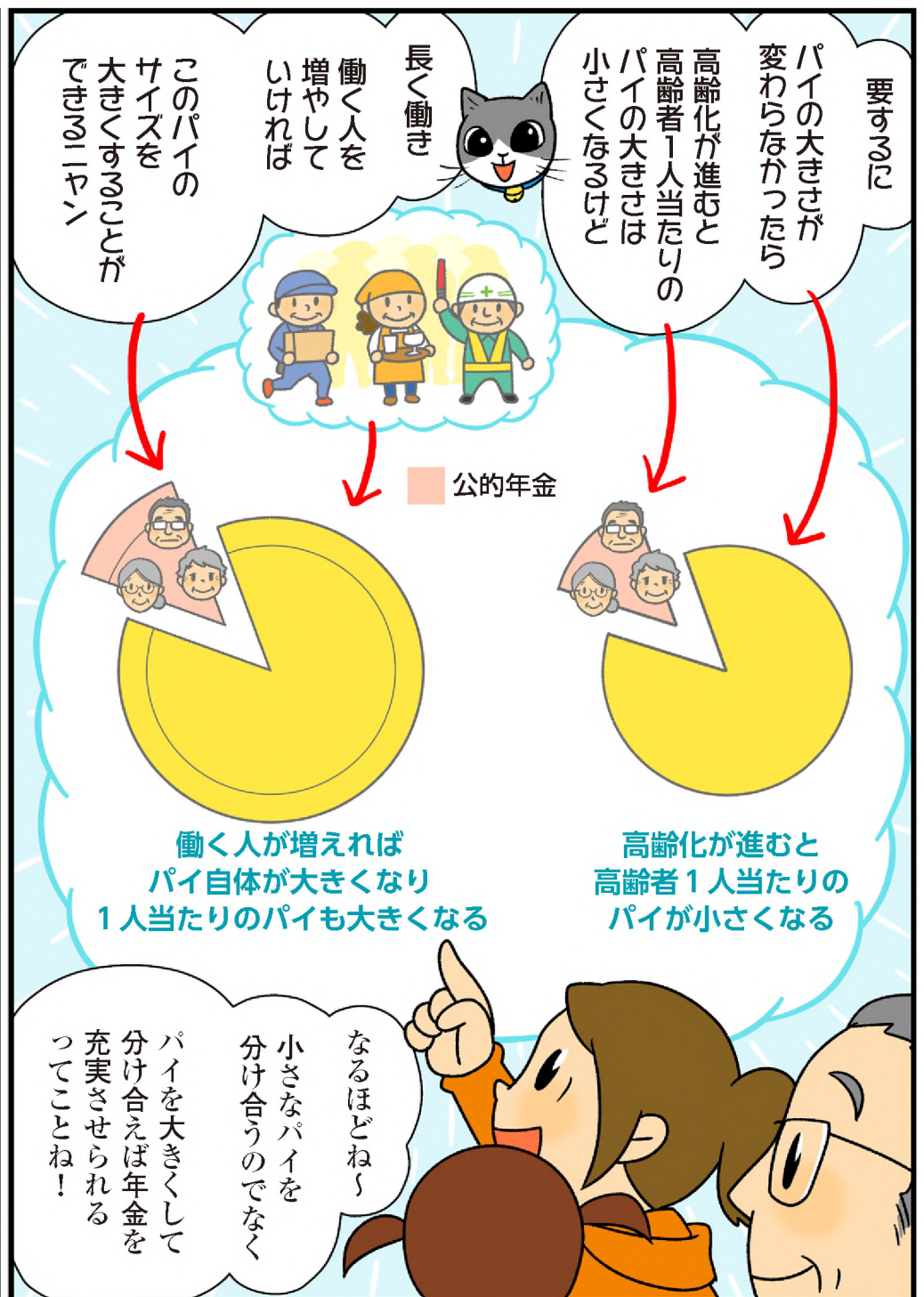
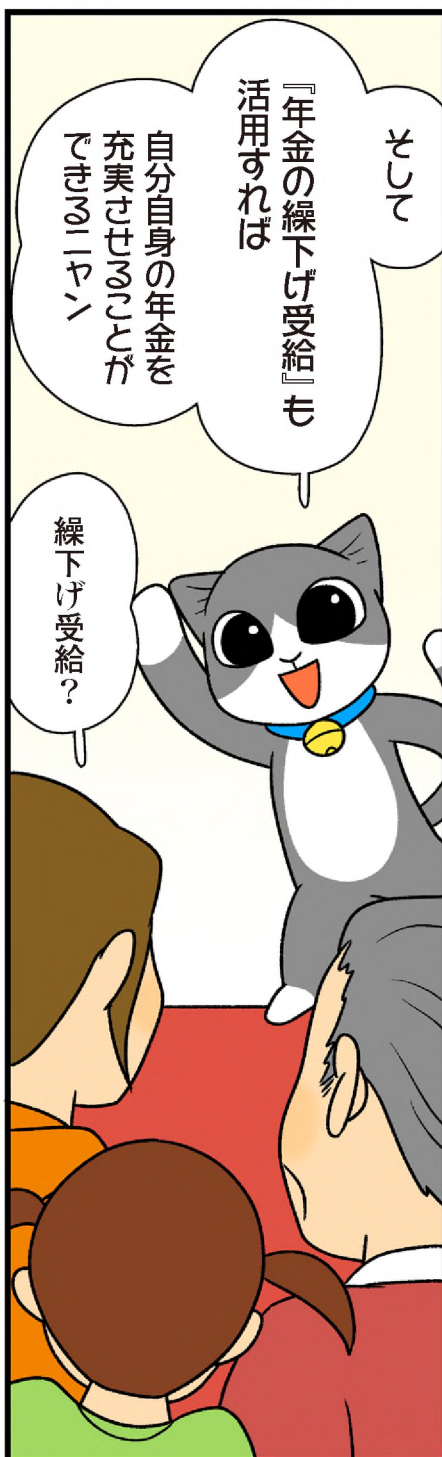
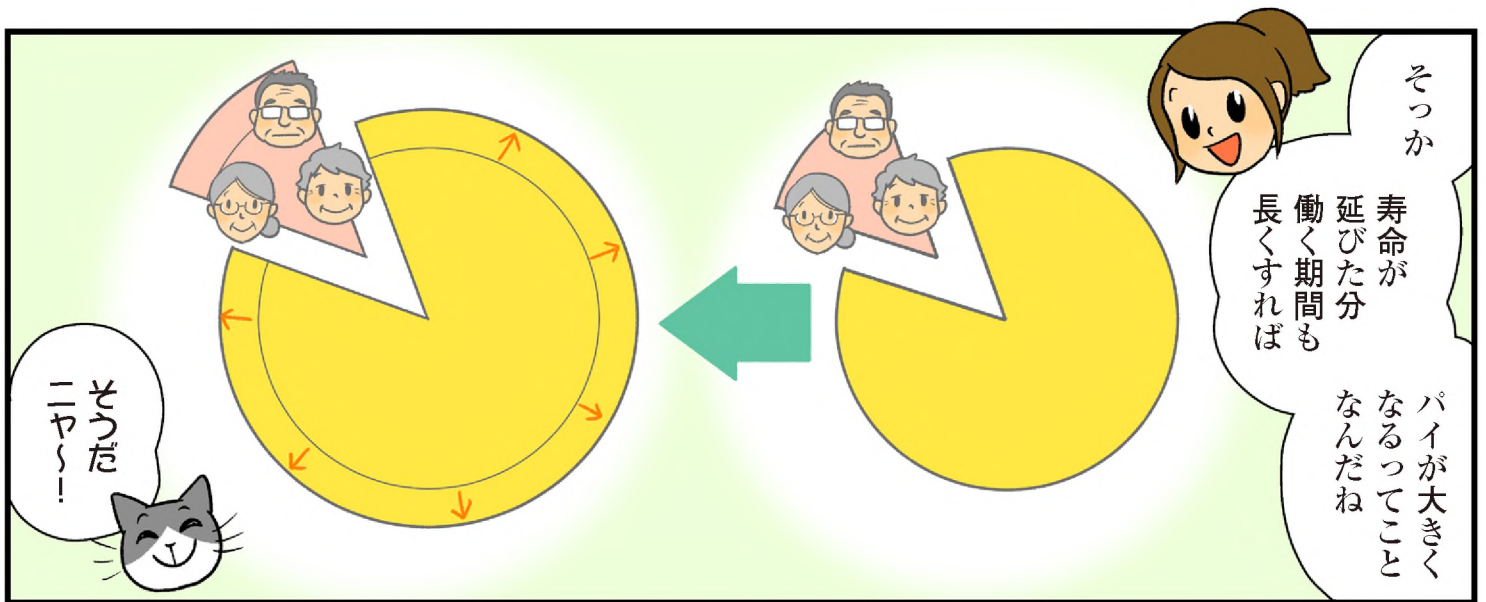


長く働き
長く年金の
保険料を納めれば
その分
自分の年金も増やす
ことが可能だニヤ



長く働く
ようになれば
年金を充実
させることが
できる
ということね!

そうだ
ニヤ

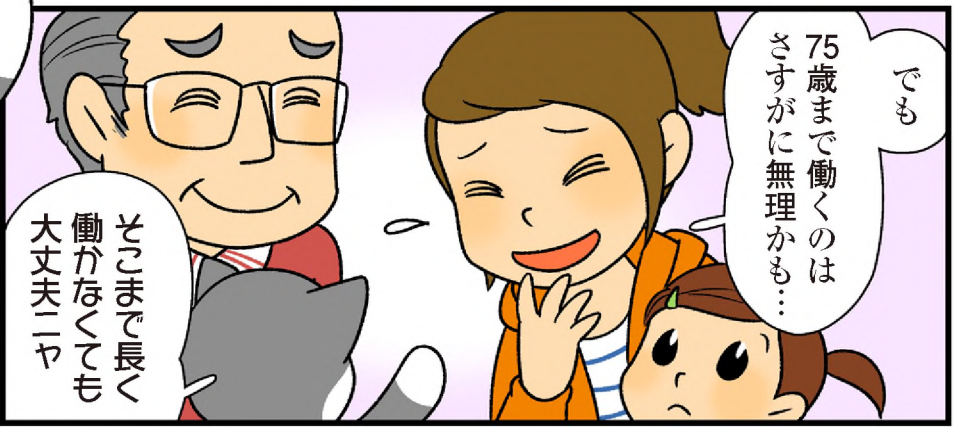


- 年金の受給開始年齢は原則65歳だが、最大75歳(2021年度までは70歳)まで繰り下げることができる
- 65歳に達した月から1カ月繰り下げごとに、受給額が0.7%ずつ増額
- 75歳まで繰り下げると受給額は最大で84%の増額



財政検証でも試算しているけど
長く働いて、60代後半まで受給開始を遅らせれば

今より高い所得代替率を確保できる見通しだーヤ



でも75歳まで働くのはさすがに無理かも…

そこまで長く働かなくても大丈夫ーヤ



それなら長生きする楽しみが増えるかも!

長生きしてたくさんオモチャ買ってね

ハハ…



お母さんもお母さんも60歳過ぎててもまだ元気に働いてるし私も60歳過ぎてても働けるかも!

そうしたらひなちゃんの子どもにも何か欲しいものを買ってあげられるかなあ

ありがとう!

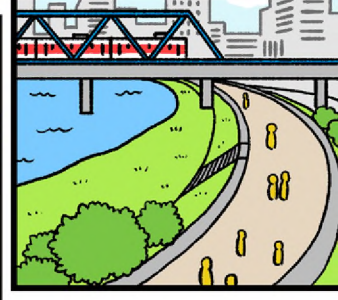
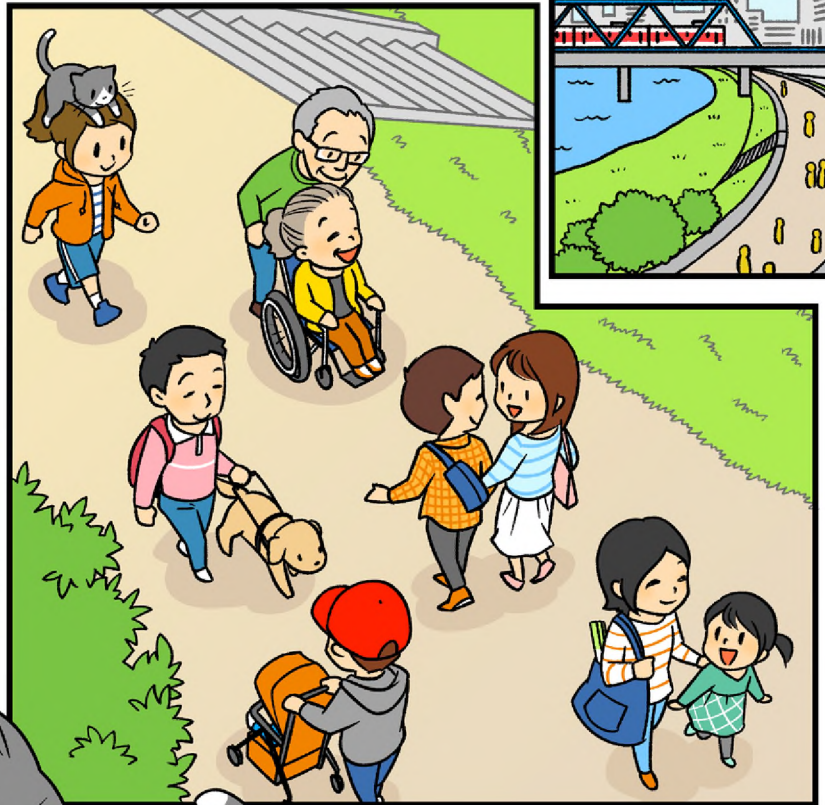

A.11 寿命が伸びるなか、より多くの方が長く働ける社会を作れば、将来の自分たちの年金を充実させることができる。





Q.12

年金制度はいまの仕組みのままがいいの？

こうやってみんなが笑顔でいるのを見ると
安心して暮らせることがいかに大切かってしみじみしちゃうよね

そうだニヤ

みんなが安心して暮らせる世の中になれば
より笑顔が増えてより豊かになるニヤ



自分の未来のためにもいい社会を創っていききたいね

そうニヤンね!!



年金なんて自分には関係ないずっと
未来の話だって思ってたけど
知れば知るほど
結局
未来の年金はこれからの「社会」をどう創っていかんだなってわかってきたよ

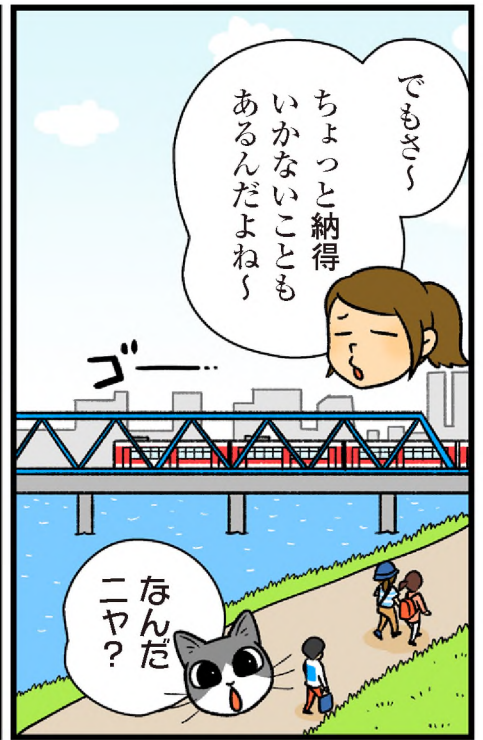


ちゃんと
制度を検討して
いるのかしら!?



厚生年金に
加入できる人が
増えると年金が
充実するなら
もっとみんなが
加入できるように
すればいいんじや
ないの?

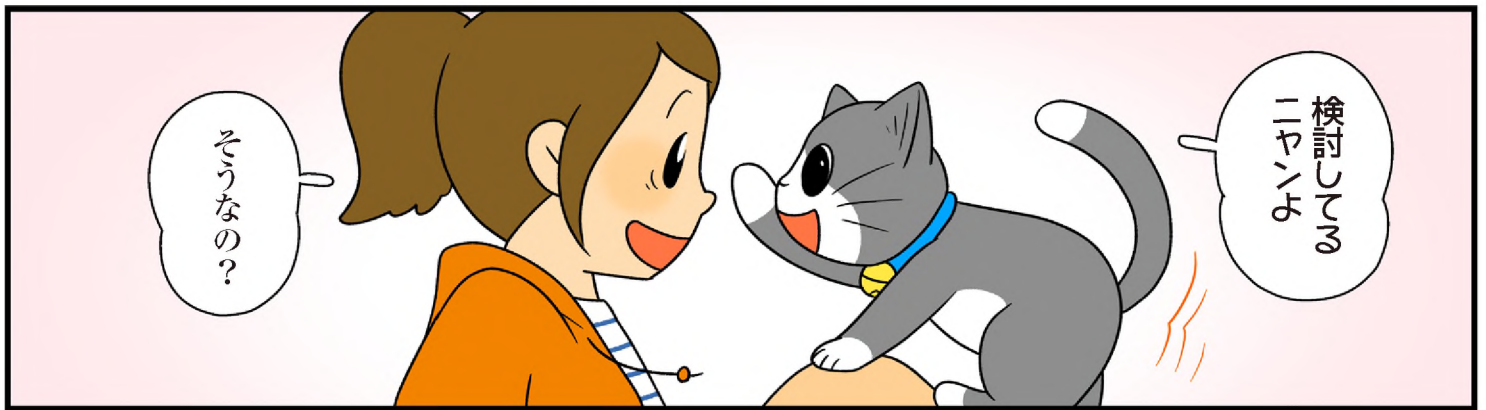
ふむふむ



でもさ
ちょっと納得
いかないことも
あるんだよね

ゴ—

なんだ
ニヤ?



そうなの?

検討してる
ニヤンよ



それを
『オプシヨン
試算』という
ニヤン



「もし年金制度が
変わったり将来の姿は
どうなるか」
という観点で
新たな試算を
してニヤ

そうなんだ

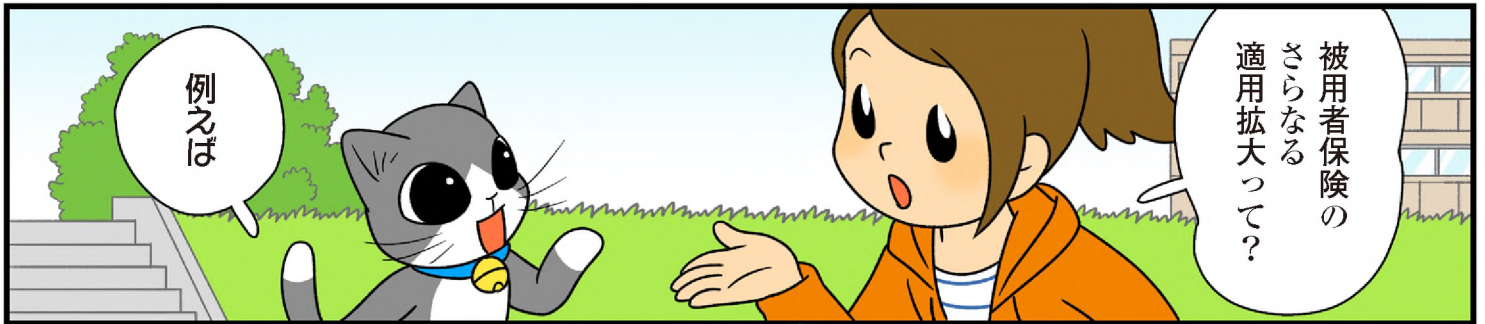
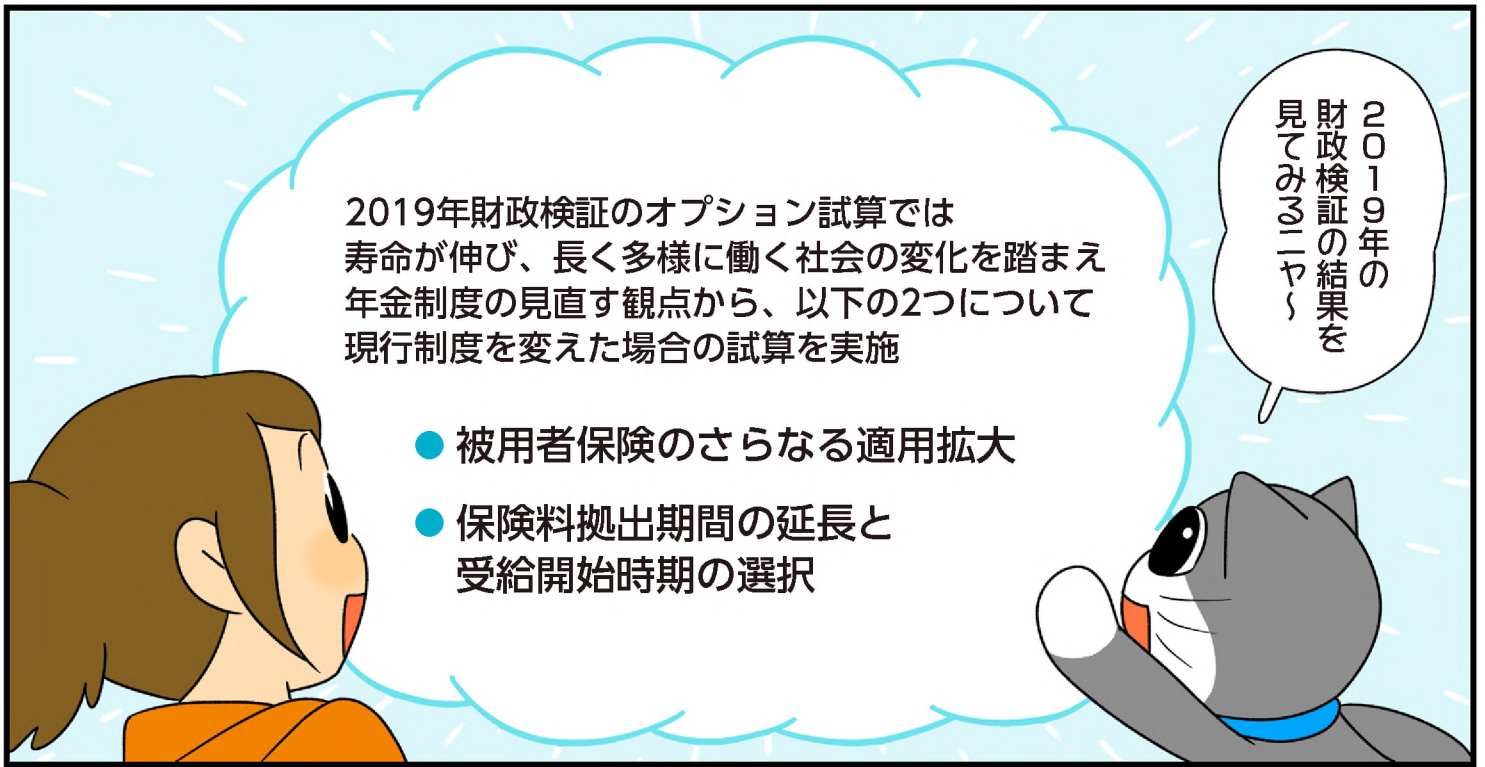


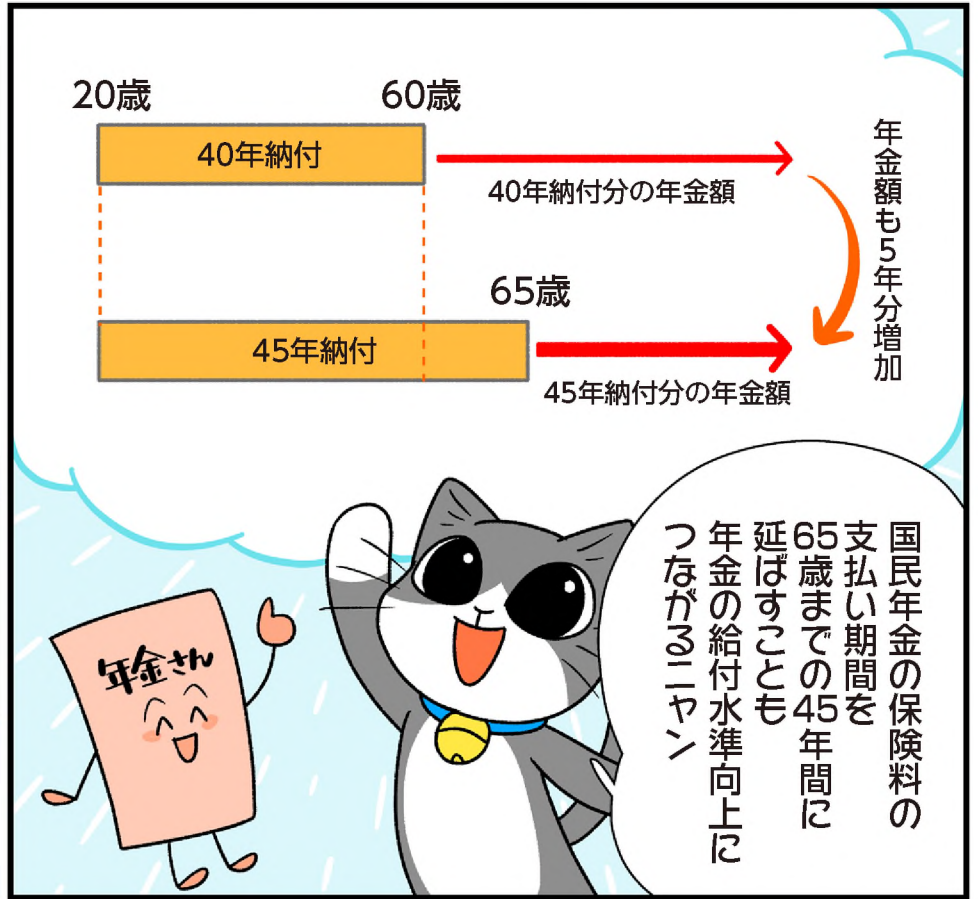
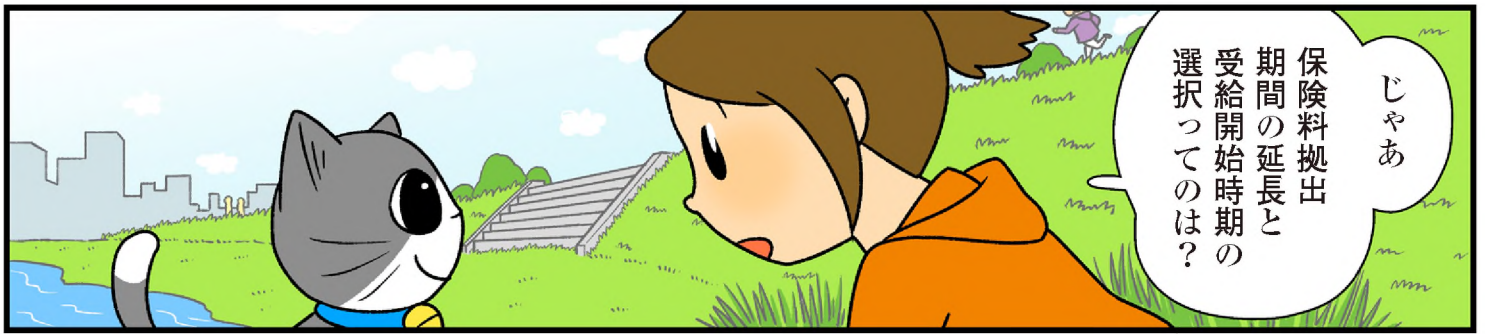
財政検証で
一緒に行って
いるニヤン

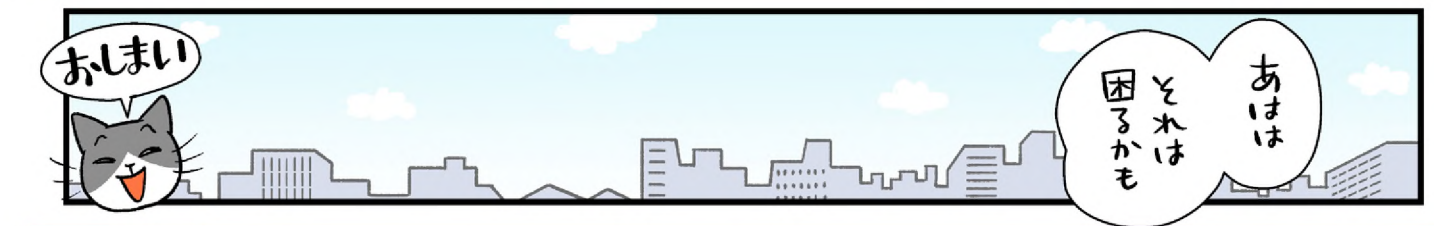
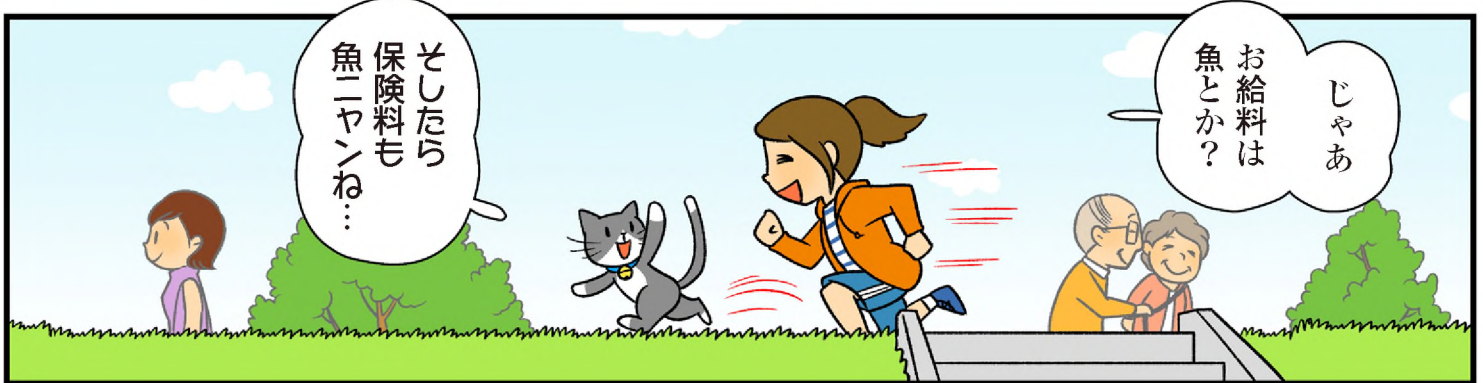
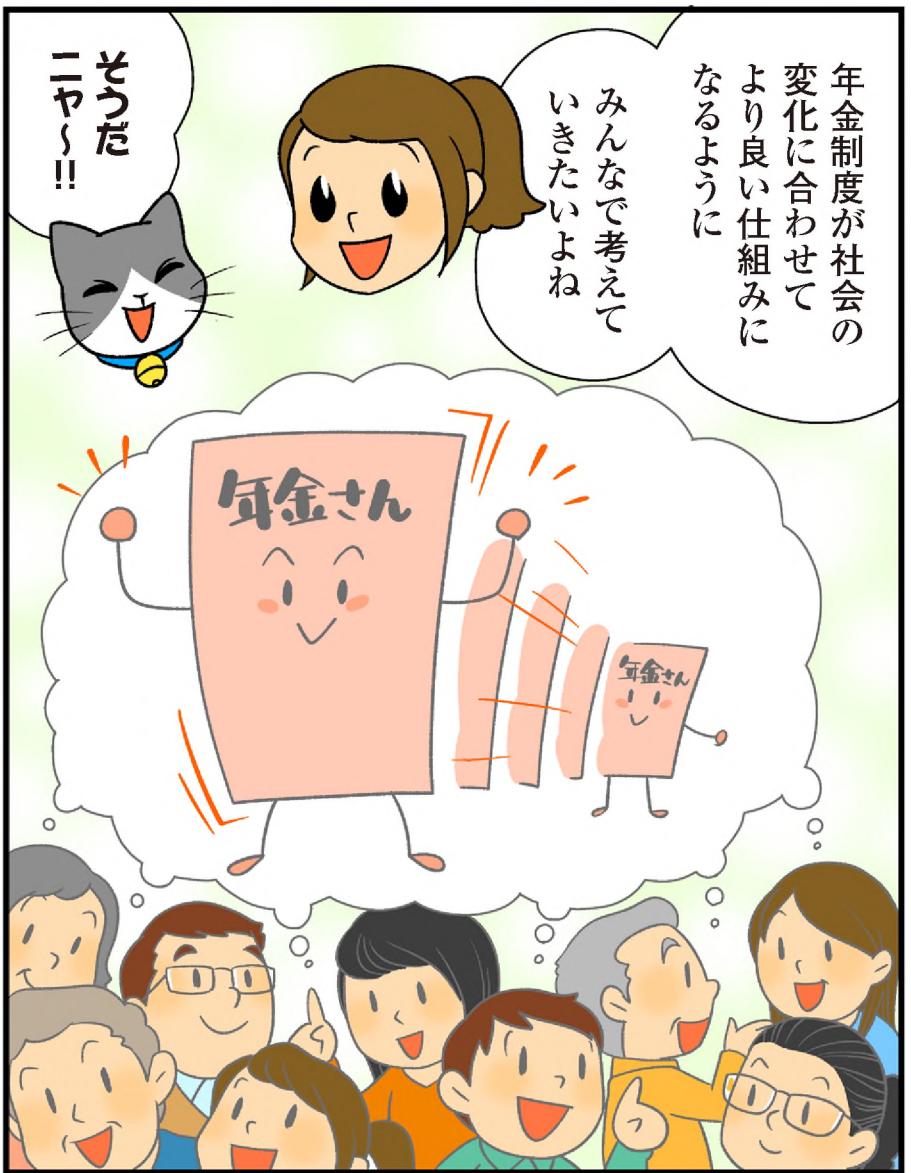
公的年金の
定期健康診断ね

年金さん

※詳しくは7話を参照







A.12

これからも社会が変化していくなかで、より良いものにするためにも、年金制度に（これからの見直しにも）関心を持ってみんなで考えていこう。

